

同生活を營んで居ることを理解せしめ、その共同生活の方面から公民科教材の説明をすることである。従来は、法律に關する解釋は、權利を主張し、權利を擁護する爲めのものとしてあつたのであるが、今日は社會の共同生活の方面より説くやうにし、即ち法律は義務を主張し、權利は義務を擁護する爲めのものであると説くやうに變つて來て居ると云ふことを聞くのである。さう云ふことからこの度の公民科教授要綱を作る時にも、特にこの點に注意されたのである。例を申せば「戸主」と云ふ題の細目に「戸主の務と戸主權」と云ふのがある。是は戸主の務めを完ふする爲に、戸主には戸主としての權利を與へて居ると云ふ説き方をして行かうと云ふ爲に、かう云ふ書き方をしたのである。又「親族」と云ふ題目の所で「親の務と親權」と云ふのがあるが、これも、親としては子を養育し教育する務めがあるが、その務を完ふする爲に、親に對して親權を與へて居るのであるといふやうに、義務の方面より權利を説くやうに、教授要綱の用語上にも注意して戴きたいのであるから、その考で公民科の教材を取扱つて行くやうに注意して戴きたいのである。所有權の如きも、昔は絶對の仕配權を持つて居るといふ思想があつたが、今日は自分の所有物に對しても、之を濫用するとか、或は適當に利用して居らぬことになる、社會はそれを許さぬやうに

なつて來て居り、今までの絶對の仕配權と云ふやうな考から離れて來て、社會に對し、自分の持つて居つた物を適當に利用しなければならぬと云ふ風に變つて來るのである。即ち公民科の教材を取扱ふには、社會の共同生活の方面から考へて説明すべきことである。

第三には公民科の教材を取扱ふには、歴史的の關係を注意すると云ふことである。教育は文化の傳達擴充にあるのであるから、世の中が進むに従つて、文化が段々に發達擴充して來、また擴充して行くのである。公民科の教材を授くる上に於ては、その文化の發達に關係のある教材は、發達的に取扱つて行くやうに注意することである。例して云へば、親族と云ふ教材を取扱ふには、大抵の教科書に、親族は民法に於て血族は六親等まで、姻族は三親等までであると書いて居るが、かういふ説き方では公民教育の目的を達するに遺憾がある。民法の講義であればそれで宜いかも知れないが、公民教育に於ては我が國の家と云ふものの發達から家族制度のことを説き、而して明治時代に民法を定める時に、親族の範圍を斯く決めたのであると説くのである。即ち親族と云ふものは民法に定められて居る所の範圍に止まるものでなく、矢張り我が國古來からの習慣に従つて、親族關係の變遷を説かねばなら

ぬ。本家別家の親族關係は、我が國家族制度の上からは、幾代経ても本家は矢張り本家とし、別家は別家として、お互に親族關係を持続してゐるのである。斯う云ふ點は、歴史的に説くと、生徒の頭に明瞭に這入るのである。然らば何故に民法を定める時に六親等とか三親等などを決めたかと云ふと、法律を決める場合には、我が國の古來の習慣に従ふやうにはしてあるが、餘りばんやり決める譯にいかないで、この邊の範圍として決めたものだとのやうに聞いている。その他戸主、戸籍に關することも、古來の風習より説明すべきものがあり、我が郷土、我が町村、自治制度、憲法制定の由來、産業組合、銀行の制度、農會、行政制度、教育制度、國防、國交、交通等歴史的に發達をして居り、公民科の教材の中には、以上のやうに歴史的關係ある教材が少くないから、かかる教材は發達の順序を追ふて取扱ふやうにし、以て一層本科教授に興味あらしめ、將來の發達をトせしむるやうにし、以て社會文化の傳達擴充に意を注がしむるやうにして欲しい。

第四は公民科の教材には實際生活に必要な事項を擧げて居るが、之を教授するには、社會的事實に基礎をおいて理論や解説に偏せざることである。我々の實際生活を社會的に言ふと、大部分は法律的生活と經濟的生活となる。尙政治上の

生活もあるが、これも實際上のことになると法律に關する生活といつてもよい。故に公民科の教材の中には、法制經濟に關する事項が少くないが、併しこれ等を教へるのは、法律經濟の理論を教へ解説を興ふる趣旨ではなく、今日の我々の實際生活には、法制上の事項經濟上の事項が澤山にあるのであるから、その事實を擧げて十分に之を理解せしめることが目的である。かくして共同生活に對する責任を十分盡すことが出來得られるやうに指導することが目的なのである。その理論、解説等の理窟に關することを教ふるのが本旨でないのだから、この點に注意して戴きたい。

第五は公民科の教授をなすには、生徒並に教師の經驗を土臺にして教授を進めて行くこと。即ち經驗の範圍より問答しつつ教授を進めることが最も大切である。まだ經驗せない事項でも、實例により或は圖表を示す等により、生徒の經驗界を基礎にして生活化するやうに教授せねばならぬ。然るに、大抵は講演式の教授に流れ、かくては、公民科教授の徹底を期することが覺束ないのである。生徒の經驗して居る事項は、先づ以て生徒にその事柄を述べしめるやうに問答的に教授を進めて行く、或は教師の經驗して居る事項は、その經驗を述べて、生徒の理解を助けるや

うにすることに依つて、始めて本科教授の目的を達することが出来るのである。然るに甚だしい所になると、國語科の教授と何等差別がないと思はれるやうに、本を讀まして居るに過ぎないのを見ることがある。この點は特に注意をして戴きたい。

第六はその市町村の自治生活、職業生活に土臺を置いて教授して行くことである。前章に既に述べたやうに、補習教育の眼目は市町村の自治民としての教育で、自治民としての根柢のある市町村民を作ることが大切であるから、公民科を教授する時には、常にこの點に注意して指導するやうに注意し、以て益、其の市町村を愛し、其の市町村の開發振興のために協力し貢獻するところあらしむるやうに、本科教授の基調をここにおかねばならぬ。

以上六つの事項は、公民科教授の方針として大切なことであると考へる次第である。

三 農業科教授の方針

實業補習學校に於ける農業科の教授の目的は、農業教育の本旨を徹底せしむるにあり、小學校の農業科の教授は、農村生活を理解せしむることが根本の趣旨であらうと思ふ。この點に於て兩者に多少の違ひがあると思ふ。然らば農業教育の本旨

を徹底すとは、如何なることかと云ふと、農業の社會的任務を知らしめ、農業生産上の知識技能を授け、農業經營上の知識を與へ、農業に依つて地方及國家に貢獻し得る實力のある人を教育するにありと思ふのである。然らば農業の社會的任務とは何ぞやと云ふことであるが、今其の要點を申せば、農業の社會的任務は、第一は農業は人類生活の根源であつて、人類に對して始めて生活の根據を與へ、生活の安定を與へて呉れたものである。人類生活の根源の職業が農業であると云ふことは申上げらるまでもないのである。農業の發明以前には、我々人類は遊牧の民となつて、山野に水草を追ふて生活して居つたが、農業の發明があつて、始めて定住することとなり、一ヶ所に住居をすることになつて、部落を生じ、町村を生じ、國家を生ずることになつたのである。さうして定住して以來は、農業によつて生活の資を得ることが出来たので、我々人類の生活に於て餘裕を生ずるやうになつて來た。即ち農産物を收穫し、それを貯藏して生活し行くことになつたが爲に、茲に人類生活に餘裕を生ずることが出来たので、音樂とか、圖畫とか、文學とかいふもの、即ち藝術が發達して來、又文字が發明せられたので、學問が發達して來たのである。又農業を營みて一ヶ所に定住するやうになつて來ると、生産物と云ふものは、その住居して居る場所に依

つて異なるやうになつて来る。茲に於て他の部落との交換と云ふことが行はれるやうになつて来る。他の部落との交換が行はれるやうになつて来ると、交換の世話をする人が生ずるやうになつて来る。即ち商業者が生じて来たのである。交換の媒介をなすのを商賣する人が出来る。各得意な仕事をして品物を作り、この品物に依つて自分の望みに従つて物を求めることが出来るやうな事になつて来た爲めに、各その得意とする所の手細工品を作るやうになつて来たので、茲に工業を営むものが生れて来た譯である。それで農業が發明せられてから、商業も工業も發達し、之に従つて色々の職業が發達し、遂に今日の文化が發達して来たのであるから、農業は文化の根源であり、社會發達の維持者であると考へて宜しいのである。

農業は文化の發達の源である許りでなく、農業と云ふものは最も生活の安定して居る職業であるから、社會に動搖を生ずるやうなことは、農業生活をして居る人が大勢であつた場合にはないのである。そこで其の國の農業を土臺にして發達した文化、即ち其の國土に生れた文化を維持し發展せしむる要があるのである。これが即ち其の國の文化である。日本帝國の文化は日本帝國の農業を土臺にして發達した、我が國土より生れた所の文化である。英吉利帝國の文化は英吉利の國土よ

り生れたものである。故に農業が繁榮して居れば、繁榮して居るだけその國の土地から生れた特色のある文化が維持せられ、益、盛んになるやうになつて来るのである。我が國の歴史を見ると、農業の盛んな時代は帝室の盛んな時代であり、或は國民の愛國心の盛んな時代である。それを逆に申せば、我國の皇室の非常に繁榮しました居た時代が即ち農業の盛んな時代であつて、又國家の最も隆昌なる時代であつたことを示して居るのである。さればその國の文化を永遠に維持し、益、盛んならしむる爲には、農業は最も大切なるものであるから、之を衰へさせぬやうに努めることが大切であることは、信じて疑ひのないことである。

以上に述べたやうに、農業は總ての職業の中で最も安全なる業務である。其の安全なる所以は、詰り食ふて生きて行くに要する物資を生産する仕事で、この物資が豊富であれば、生活が安定し得られる譯である。商業工業の如きは利益を得ることが多い時もあれども、景氣不景氣に仕配せられることが非常に多いのであるから、農業の如く安定なる仕事と申すことは出来ないのである。この安全なる仕事に従事する農業者が、我が國の如きは多數を占めて居るのであつて、農業が榮えて居れば、事實に於ても社會の安定を維持して行くことが出来る。先年東京横濱を中心と

して大震火災がありました時に、その大震災に出會ふた所の人々は、農村に避難した爲に、兎に角社會の安定を保つことが出來た譯である。あの時に、若し農村が健全でなかつたとしたならば、あの多數の避難者を入れることが出來なかつたらう。さうしたらどんな不祥が起らないとも限ることは出來ない。この事實に鑑みても、農村の健全なる發達と云ふことが非常に大切なものであることを考へられる。

尙具體的に我が國の現在の立場から考へて見たならば、農業は如何なる地位にあるか、我が國民の糧食を供給する上から見ても、或は最も良い軍人を供すると云ふ上から見ても、或は軍隊に必要な馬を供すると云ふ上から見ても、或は農業と云ふものが色々の廢物を使用して價値のあるものに變化して生産すると云ふ點から考へても、如何に農業は國家に取つて重要であるかと云ふことを考へることが出來る。又我々の住んで居る町村の上から見ても、その町村は農業に對し、如何なる關係を保つて居るかを調べしめる等によりて、農業の社會的任務がどこにあるかを十分に知らしめ、更に農業の生産上の知識技能を高めしめ、是までよりは、總ての生産には其の收穫を多く得る方法を授けると共に、農業を愛し、土に親しむの精神を涵養し、勤勞を喜ぶの習慣を與へ、農業者たるの人生觀を得しめ、趣味的に農業

に従事するやうに導かねばならぬ。尙農業科の教授に於ては、作物の教授に於ても家畜、養蠶、其の他の教授に於ても、多收穫を眼目として教授すべきは勿論であるが、更にその多收穫したものを、上手に調製し又は加工して、之を有利に賣捌く方法を研究せしめねばならぬ。

斯様に教授して、地方の爲に國家の爲に盡す所の人を作るのが農業教育の目的である。要する所、農村生活を理解せしめ、農業に依つて國家社會に貢獻する人を教育することが農業教育の目的であると思ふのである。この農業教育の目的を徹底するやうに教授することが農業科教授の根本方針である。さてこの根本の心掛を以て、農業科の教授をするには、如何なる方針でなすべきかを順次述べやう。

第一は農業科の教授をなすには、先づ教材の研究を體験的になすことである。出來るなれば補習學校の農業科を教授する教員は、その教ふべき教材は、栽培飼育自ら實地に經驗したもの、實驗的教材は一度實驗して見て後に、之を教へるやうに致したいのである。即ち體験した教材を教へることにより、教授の効果は一層擧がるのである。併し學校を卒業したばかりの農業科受持教師に向つて、體験したことをだけ教へよと申したら、是はまだ體験したことがありませぬから體験後に教へよ

う、是もさうであり、是もさうでありとなつて、其の教授すべき教材は少くなつて、二年の間は教授より體驗に努めて居らねばならぬと云ふことにならう。それでは困るから、そこで體驗的と云ふ言葉を使つたのである。體驗的に教材を研究するといふ方法は、先づ書物等によつて教材を十分に調査した後に、経験を積んだ人に就いて體驗の話をして聞いて體驗したと同じ気分になる。即ち又書物を調べるにも、是なら實際にやつて行けると思はるるまで研究し、或は本を讀んで見れば、讀んだ丈では、之を實際に行ふには覺束ないやうな氣持がする場合は、體驗を積んだ人を尋ね、十分に疑問とするところを訊いて、諒解した後、即ち自分で経験したことのあつた様な氣持で教授すると云ふ風にして行かねばならぬ。

養成所の生徒諸君もここに居られるのであるが、卒業して、それぞれ赴任して行かれたならば、養成所で自分は總てのことを研究して來たと云ふ様な態度を取ることなく、態度を取つても宜いが、農業は氣候、風土に左右せられることが多いから、その村の篤農家、或は老農、或は熱心家を、校長又は村長等より聞き、さう云ふ人々に挨拶に行く、私は今度補習學校の専任教員となつて參つたものであります、是迄は教員養成所で研究して來ましたけれども、御承知の通り、農業は氣候風土に左右

せられることが多いのであるが、この村の氣候風土に就ては一向心得て居らぬので、第一に本村の農業に就いて色々研究したいと思ひまして、校長さんから承ると、この村で米作の研究で米を作ることの上手なのは貴殿であらつしやるといふので、今日はこの村の農業を研究して行く上に於て、米作其他に就いて教へて戴かうと思つて參つたのであります。と言ふと、訊かれた人も、多分是迄はかやうに禮を厚うして訪問した人は餘り多くなかつたらうし、自分が熱心に研究して居たことを教へて戴きたいと言はれるので、大に喜ばれて、さうですか、貴方のやうないい心掛を持つた先生がこの村には未だ一遍も來たことがないが、實にいい心掛を持つてゐらつしやる。本度の若い先生は感心な方だと、自分の是まで経験して居たことを熱心に説いて聽かせる。それを聽いて、尙疑のある所は突込んで訊いて、その方々が二十年か三十年の間研究したことを、一晚の中に、ちやんと懐に入れてしまふ。教場に臨んだ時には、矢張りそのことを言ふのである。私はこの村に専任の教師となつて來たが、農業は氣候風土に左右せられるのであるから、養成所に於て研究したことを、其のまま教授しては、實際に合はぬこともあることと思はれる。實際に合はぬことを教へても詰らぬと思つたので、昨日誰某さんを訪問して尋ねた所が、

多年熱心に研究せられただけであつて、良くやつて居られる。あの方に就いて話を聞いて見ると斯う云ふ譯である。成程それがまた學理に合ふて居る。ああ云ふ方は學問の方より研究したのではなく、經驗の上から研究されたのであるが、その結果は學問の上より見ても批難の點がない。熱心ほど偉大な力あるものはない。この村の何々の農業を調査して見ると、まだあの方のやうな風にやつて居らないが、あの方のやうに改めて行くやうに努めて行かねばならぬ」と云ふ様に、他人の經驗を土臺にして話して行くと、今度は生徒が成程と思つて、今度の先生は偉いぞ、どうも來ると早速ああ云ふことを調査して、我々に良いことを教へて呉れる、と云ふ譯になるが、自分が經驗せぬことを、本にある通りに教へようと思つて教へると、生徒は經驗を持つて居る生徒ですから、飛んだことが起ります。

一昨年私は或縣から各郡一校の優良補習學校に付、郡内における教員を集めて、實業補習教育指導研究會を開催する故、其の指導講師にとの依頼を受けて、出張致し其の會場となつた學校に行つたが、其の會の行事は、朝早く農業の授業を一時間やつて、それに對して會員の質問批評あり、次にそれに對して私が話をし、午後は實業補習教育に關し一般民衆に對する講話をすると云ふ會であつて、それは丁度一

昨年二月頃であつた。その時或る補習學校で專任の教師の研究授業を見たが、その題目は溫床で、教材は溫床を設置して早春本圃に植付くるに用ふる茄子苗の仕方である。教材は、教授する時としては、丁度よい時期で適切な教材であつたのである。前時間に溫床の構造までのことを教授してあり、この時間には、溫床の設置より苗を育てるまでの教授であつたが、前時の復習もしないで、直ちにその後を續けて教授して居る。さう云ふことも缺點であるのですが、その教授をして行くのをちつと聽いて居ると、十五分か二十分も経たぬうちに、この教師はまだ自分で溫床を設置して苗を育てたことがないと云ふことを感じた。若しその生徒の中に溫床を設置して苗を育てたものがあつたならば、私と同様に感じたらう。先生はまだ苗を作つたことはない」と、心の中では笑つて居るに違ひない。この授業が終つて色々の批評がありました。後、私が今日の授業を土臺にして講評を試むる譯であるが、この時に私は教授は體驗的になさねばならぬと、ここで初めて體驗的と云ふ言葉を使ひましたが、教材は體驗的に研究した事柄でなければ、教授は徹底を缺き効果も薄くて駄目である。生徒は經驗を持つて居る生徒である。その生徒を指導して行く上には、教へる者が本當に體驗して居るでなければならぬ。併しながら、總て

の事柄に體驗を持つことは六ヶ敷のであるから、體驗したことの無い事柄を授けるには、先づ教師は其の教材を體驗的に研究して、體驗したと同様な氣持になつて、確信を以て教授をなし得られるやうに致さなければならぬ。」と云ふことをその時お話したのである。若し體驗的な教授をせずして、體驗せぬことを授けた場合には、生徒の中に體驗した者があると、直ぐに教師の注意の足らぬことを發見して、はア先生はまだ作つたことがないなア、家畜の教材であれば飼つたことがないなアと云ふことになる。これは一つは生徒の經驗を省みないで教授してゐるために、教授が、生徒の實際生活より離れてゐるために、かかる教授ともなつてゐると思ふ。生徒はまだ經驗したことがなければ氣の付くこともなからうが、經驗あるものなれば前申したやうなことになる。教場では何も云はないでも、歸りには、今度の先生も駄目だぞと言つて歸るものもあらう。かかる評があるやうでは、教授の効果を擧ぐることは出来ない。生徒が一時間出席すれば一時間出席した丈の甲斐ある教授をなすやうにせねばならぬ。これがためには教材を體驗的に研究することが大切なことの一つである。

第二は、農業科の教授は、必ず生徒の經驗及研究を尋ねつつ教授するを旨とする

ことである。補習學校の農業科を教授する場合には、生徒の研究經驗した事柄を訊きながら教授を進めて行くやうにすることが、生徒の生活に即した教授をなし得らるので、最も大切なことの一つである。所が我々が學校に於て學んだ時は、先生から講演式の教授を受けたものですから、教師となつて補習學校の生徒に教授する時になると、自分が學んだ時のやうに講演式の教授をするやうになるのであると思ふが、是は特に注意をして戴きたい。私は先年東京府西多摩郡多摩村の多摩農業補習學校で、東京府下の農業補習教育研究會があつた時に、招かれて參つたが、その時の研究教授の教材は馬鈴薯の種薯用栽培の教材であつた。詰り春の馬鈴薯の種薯をどう云ふ風にして作るか、秋馬鈴薯を作つて春の種薯にすると云ふ教材である。それは、その村には春の馬鈴薯の種薯を作ることが十分に出來てゐない爲に、他の地方から澤山の種薯が這入つて來る、それが最近では段々値段が高くなつて、高い時は一貫匁一圓、極く安い時でも五十錢もすると云ふ譯で、薯代を拂ふ金が多くなつたので、そこで種薯栽培のことを研究して、學校で實際にやつて見たことを土臺としての教授であつた。生徒の中にも二三種薯を作つて居つた者もあつたので、その生徒のやつて居る狀況を尋ね、先生が自分でやつたのと、生徒の經驗を比較し

ながら教授を進めて行つたものですから、實に良い教授であり、又生徒も非常に得る所が多かつたやうに見えたのであつた。生徒の経験と先生の経験した事柄と、びつしりびつしりと結び附いて、私はその教授を見て是でなければならぬと感じたのであつた。

第三は、農業科の教授は地方の實際に基き教授をすることである。實業補習學校の教育の地方化實際化すべきことは、前既に述べたことであるが、農業補習學校に於ては、それが最も大切なことである。農業科の教材の研究は、地方の實際に付、十分に之を調査することが大切なのである。地方の實際を十分に調査し、その實際を土臺として教授の歩を進めて行かねばならぬ。かくすることが、體驗的の教授を全うし、経験を土臺とした教授ともなり得らるのであるから、教授に望みて教材を研究するときには、一通り地方の實際に就きて調査を試み、教授が地方の實際に適切なやうにせなければならぬのである。

第四には、農業の進化發達に注意することである。是は、公民科の教授方針の所に於てその歴史に注意することと云ことを申したが、それと同じことで、例を以てすると、苗代なら苗代と云ふものを教授する場合に、昔は通し苗代であつて、粃種子を

播くには、之を苗代田一面に播いて居つたのである。それが後には短冊形の苗代となり、その短冊苗代に於ける苗の育て方が、今日では折衷苗代になつたとか、或は何式の苗代になつたとか言ふやうな風に、次第に發達して來た跡を追うて進んで教授するやうに注意する。或は麥の種子の播方などに付ても、昔は麥の種子を播くには、蒔溝を作るに、鍬の先を横にして使ふたので、蒔溝を狭くして居つたが、今日には蒔溝を作るには、鍬を平らにして使ひ、成るべく廣く蒔溝を作るやうな風に變つて來た。或はその麥の種子を播くのに、唯種子を播いて居つたのであるが、近來その種子を播くに播種器を用ゐるとか、或は堆肥と下肥とを練つて、その練肥の中に麥の種子を入れて播くことも行はれて居るとか何とか、その昔栽培して居つた方法より發達して今日まで來た經路を話し、尙研究したならば一層良い栽培法もあらうと、生徒が自分共も將來進んで研究して、それ以上の良い方法を研究して見ようと思ふ精神を養つて行くやうに導き、然る後に現在に於て最も良いと認められてゐる方法を授ける。兎に角かやうに、栽培、飼育、其の他農學に關する事項を發達的に取扱ひ、現在に於て最も進んでると認められてゐる知識技能を授くべきことが、農業科の教材には相當あるのである。所が實際教授を見ると、教科書に書いてある現在の事

項のみを授けてる風が少くないのであるから、この點もまた大いに注意を望む一つの事柄である。

第五は、農業科の教授は、常に農業經營の改善に注意することである。農業の經營に關することは、第四章に於て委しく述べた次第であるが、是等の經營に關する事項は、獨り農業經濟の時に於て授くるのみならず、生産技術に關することを授くる時に當りても、常に機會に應じて之を授くるやうに注意せねばならぬ。種苗の事を授くる場合には、優良な種苗を購入するには如何にすべきか、品種を統一するは何故か、栽培飼育の教授に當りても優良な生産物を得るは何故か、配合肥料購入の利害、調製荷造を如何にすべきか、生産品の販賣を如何にすべきか、其の他農業組織の改良のこと、共同經營の事なども機會ある毎に教授し、尙家庭實習及部落實習等に於ても、實地に之を行はしめ、進んでは、部落の農事の組合、農會、産業組合と連絡して、是等農業經營上に關すること、特に共同經營に關することを行はしめ、以て地方の振興を期するやうに致したいのである。

四 家事科の教授方針

家事科は、家政を擔ふ婦人の養成を目的とするのであるから、修身公民科と連關

して、女子の教育上大切な學科である。故にこの學科を受持たる教師は、深く意を用ひ、單に家事の知識技能を授けるといふことに偏することなく、地方生活に適切な婦人の養成といふことに眼目を置いて教授せなければならぬ。それに就いては、教材の選擇が適切でなければならぬことは、前章に述べた通りであるが、また教授すべき教材に就いても、其の内容が地方生活に適切なものでなければならぬ。されば農業科と同じく、地方の實際を研究して教授することが第一であり、第二としては、其の教材は教師の體驗的のものでなければならぬことは勿論である。第三は、家政の改善即ち生活改善を眼目として教授すべきは云ふまでもない。第四は、生徒の經驗を尋ねつつ教授することである。福岡縣に行つたときに、宗像郡神興校で家事科の教授を見たが、教材は住宅といふ題で、その日の教材は住宅の間取に關することであつた。豫め各生徒には、新聞紙大の西洋紙又は古新聞紙に、自家の住宅の間取りの平面圖を書いて持ち來らしめ、教授の時には、其の持來らしめた圖に就いて、住宅の附近のこと、方位、各建物の配置、間取りを説明し、改善意見を述べさせた後に、他生の質問及批評をなさしめ、最後に教師が批判し、次に他生の住宅に及ぶといふ教授であつて、以前に或所で同じ住宅の間取の教授で、玄關、茶の間、主婦の間、主人の間、書

齋、子供の間、應接の間、女中部屋、臺所、風呂場、何々といふやうに、教科書本位の教授を見たことがあつたが、これと對照して、面白く感じたのである。また最近山形縣大石田女子公民學校で、割烹教授を見たが、其の日の割烹すべき教材に就き、一々家庭に於ける生徒の經驗を聞き、注意を與へた後に實習せしめたのを見たのであつたが、實業補習學校生徒のやうに、常に家庭生活に於て經驗してゐるものに對しては、以上のやうに、生徒の經驗を土臺にして、之を尋ねながら教授すべきは論を待たないことであるが、今日の教授が、往々生徒の經驗、生徒の研究を無視してゐるものがあるのは、大に遺憾な次第である。

第二 教授の主眼點と教授案

一 教材の研究と教授の主眼點

教授上各學科目の主眼點を決めるには、教材を研究して、この教材に付ては如何なる點に主眼點を置いて教授すべきかを、第一に攻究して戴きたいのである。特に地方に關係ある學科目の教材、即ち農業科、家事科、公民科等に付ては、地方の實際情況を調査研究したる上、其の研究に基きて、其の教材のどこに主眼點を置くべきか

を決めるやうに注意する。今農業に付き、地方を研究して其の教授上の主眼點を調べて見ると、次の三點に歸するやうに思はれる。第一は、農業科の教材には、地方の實際を調べて見ると、既に正しく學理に適ふやうに行はれて居るものがある。かかる教材を授くるには、如何なる點に主眼點を置くべきかと云ふと、其の正しく行はれて居る事項に對し、學理上の根據を十分に與へると云ふことに注意をして、教材を取扱つて行けば宜しいと思ふ。例へば田植と云ふ教材を教授するので、地方の實際を調査して見ると、大體正しく行はれて居る。即ち株間を調べて見ても宜い、一株の本數も大體適切である。又植方が正條植になつて居る。然らばこの地方の田植は現在の通りで大體宜しい。斯う云ふ風になつて居つたとしたならば、それに對しては學理上の根據を與へると云ふ考を以て教授すれば宜いのである。そこで生徒の經驗を基調として教授するため、生徒に尋ねて見る。今日は田植に就て研究しやうと思ふが、先づ第一にこの地方の田植はどう云ふ風に行れて居るかを研究しようと思ふが、株間はどうなつて居ますか……君の所はどうだ「私の所はかやうにして居ます」君の所はどうだと訊いて、生徒が答へると、それで宜しい、「一株の本數はどうなつて居るか、生徒二三名に聞く……それも宜しい。植方はどういふ風にしてる。」正條

植にして居ります」それで宜しい。皆さんの答へを聞いても、また地方の實際を調べて見ても、皆さんの述べた通りに行れて居り、學理上から攻究してもそれで宜い、別に改良すべき所はないが、然らば皆さんに少し訊いて見やう。何故正條植にするのか。或る生徒は既に學んで居たので正しく答へる者があるかも知れぬが、未だ學んで居ねば、或は正條植にするに米が多く取れるからであります」と答へるかも知れない。何故米が多く取れるかと言ふと、正條植にして居るから……と答へやう。そこを訊いて居るのだ」ときくと、何故か分らぬものもあり、或は想像して言ふ者もあらう。そこで學理を説明して學理上の根據を與へる。又田植の時に皆さんの家では深植にしないで淺植にせよと言つて居るが何う云ふ譯かと訊いて見る。分らない時には、その學理を理解せしめるために、深植の害を圖でも書いて説明して、淺植にするに直ぐ發育するが、深植にするに其の根が直ちに發育することが出來ないで、更に上方の節から根を生じて後に生長するから、發育が從つて遅れる。そこで淺植にするのであることを教へる。この場合に實物でもあれば、尙それを示して説明する。生徒は、成程さうか、それで阿母さんがさう云ふことを始終言うて居るのだな」と考へる。中には宅に歸つて一つ兄さんを試して見やうと云ふので、兄さんに又それ

を説明すると、「お前はどこからさう云ふことを聞いて來たか」昨夜補習學校で學んだ」さうか、僕もそれでは今晚から行かう」と云ふ譯で、一晚行けば一晚だけ、如何にも自分共が賢くなつたかの如く感ずるやうに、教授して行かねばならぬ。これが實業補習學校の教授上大切なことである。

第二は、地方の實際を調査して見ると、正しく行はれてゐない事柄がある。さう云ふ事項の教授上の主眼點は、それ等の事柄が、學理上から研究すると、實に不合理であることを十分に了解せしめた上、之を改善せねばならぬといふ考を十分起さしめ、尙家庭の實習に於て、これが改善事項を實行せしむるといふまでに、教授の徹底を期し得るやうに力を用ゐねばならぬ。

第三は、地方の實際を見ると、まだ知らないもの、行はれて居らないものがある。例へば病害の豫防驅除に關すること、或は害虫の豫防驅除に關することなどの中には、往々にして未だ地方で知らずに居る事柄がある。例へば胡瓜のべト病の如きは、陽氣のためであつて、病氣のためであることを知らない地方が少くない。かかる場合に、之を教授せんとするときは、先づ生徒に尋ねる。「胡瓜の葉が梅雨後に下方より赤くなつて枯れるが何故か、陽氣のためである」と父兄のいつてるやうに病害

にかかつてることを知らぬやうな答をしやう。かかる場合には、此の地方では、皆さんの答へられたやうに陽氣のためと云つてゐるけれど、これはペト病といふ病氣にかかつてゐるためである。されば、この病氣にかからぬやうに、豫防驅除をすれば、之を防ぐことが出来る。都會附近の農家では、之が豫防を實行してゐるために、永く胡瓜を收穫して多くの利を收めてゐる次第であれば、本日はこの胡瓜のペト病に就き研究し、此の地方でもこの病害を豫防驅除するやうに致したいものであると云ふやうに、之が教授上の主眼點を決めて教へて行き、尙學校の實習地に胡瓜を栽培して居れば、これを實地に行ひ、更に之を家庭にまで行はせるやうにする。

要するに、農業の教材に付て、地方の實際を調査して見ると、教授上の主眼とすべき點は、この三つの範圍を出ないやうに思ふ。それであるから、教授上教材を研究するときには、この三つの範圍に就いて研究してその主眼點を決め、そこに力を入れて教授すれば、大體は宜しいと思ふのである。

二 教授上の順序と教授案

教師は、かく教材を研究して教授上の主眼點を考へたならば、其の教材を實際に教授する場合に於ける教授上の順序を考へて、其の教授の實行案を立てねばなら

ぬ。これは即ち教授案であるが、實業補習學校では、この案を考究することが、一層大切である。何となれば實業補習學校は、教授時數が普通の學校より少く、其の生徒は職業に従事してゐるもので、疲勞せる心身を捧げて勉強に當り居るのであるから、教師は其の教授をなす前に於て、教材を研究し、地方の實際を調査して其の主眼點を決めることは勿論、之を教授するには生徒の經驗を尋ねながら、如何なる順序に教授すべきかを考へて、其の教授を進めて行く順序を豫め定めおくことは、生徒の思想をまとめる上より見ても、短い時間に確な知識を與ふる上から見ても大切なことである。然るに、教授に經驗の少い教師の教授中には、往々順序の立つて居ない教授を見ることがあり、容易に理解を與ふることの出来る教材を、却つて説明を前後し混雜してなすために、六ヶ敷感せしめるばかりではなく、興味を喚起することもなく、趣味も乏しく、確實に理解せしめたか如何かと思はれることが、しばしば見られるのであるから、かかる教員に對しては、校長又は教務主任教諭などが指導して、教材の研究方法を知らしめ、地方の實際をも調査せしめて生徒の經驗を察せしめ、順序正しく生徒に尋ねながら教授を進め、自然と系統的に順序正しく教授し得るやうに注意すべきは勿論、教師自身も亦、進んで教授の方法に關して研究し、以て順序正

しき教授をなすやうにして、生徒の理解を容易ならしめ、正確な知識を授けるやうに注意して案を立つることが大切である。

第三 教授の準備

教材に就いて前節のやうに教授の主眼點を決め、教授上の順序を定めたならば、之が教授に關する準備をなさねばならぬ。而して之が準備には、教師の主としてなすべき準備と、生徒になさしむべき準備とがある。これがまた教授上大切なことである。之が準備を怠つては、やはり成功した教授をなすことが困難であるから、忽にしないやうにして欲しい。教師の準備としては、先づ教授上必要な教具を整へることに骨を惜まぬやうにして欲しい。例へば教授上に必要な、産業上、其の他の統計圖表に關するやうなもの、或は種子、肥料種々の生産物、昆蟲病害等の標本のやうなもの、なるべく教師自ら作成して利用すべく、或は學校に備付けてある標本、繪畫、圖表等に關しても、之が利用を怠らざるやうに努められたい。教授を見た後に器械標本室を見ると、戸棚の中に利用すべき器械標本あり、又利用すべき掛圖等のあるのを見ることがあり、教授中にはこれ等の備品あるを知らずに居ることなどが往々

あるのであるから、特に注意して欲しい。又實驗する時には、一度實驗したことも、一寸試して見て注意に注意をし、十分に準備せねばならぬ。私が或る所に參つた時、肥料の三要素の成分の實驗の教授を見たことがあるが、藥品から實驗用具までの總ての物をちやんと準備してあつて、教授にかかつたが、愈々實驗にかかると、教師が引出しを開けたり、こちらの戸棚を見たり、あつちへ行つたり此方へ行つたりしてゐる。はア、アルコールランプを點すマッチを忘れたな、それを搜して居るのだな』と思つて私は見て居つた所が、一緒に來て居つた學校の先生が、それに氣が附いて、マッチを持つて來てやつたので、その實驗が出來たが、あの時マッチの準備があつたらば、尙一層立派な授業が出來たであります。大勢で見て居り晴れの授業であり、教師の方も立派な授業をやらうと思ふて居られたらうが、マッチの準備を缺いて居たが爲めに、少し工合が悪くなつた。それであるから參觀者があると否とに拘らず、周到なる用意を爲すことが、大切なることである。最近に福岡縣の實業補習學校を見て來たが、その視察した學校には、何れも教師の製作した掛圖類及蒐集した標本が澤山あつたのを見、且つ其の教授を見ても、準備が行届き、よくもかく努力したものと感じてあつたが、其の教授もまた生徒の研究經驗を基礎とするもので、何

れも範とするに足るものであつた。要するにこの成功は、平素より教授上の準備に、十分の努力を拂つて居た結果と思ふ。

次に、教授上生徒に準備せしむべきことを述べやう。即ち生徒に豫め調査せしめて置くべき問題があれば、豫めその調査をなさしめて置く。又次の時間に必要なものあれば豫め命じておく。例へば次の時間に麥の黒穂に付て教授する場合に、豫め次の時間には麥の黒穂の研究をするから麥の黒穂を持つて來いと云ふやうに、準備をなさしめる如き類である。ただ實業補習學校の生徒は、それぞれ職業に従事しているもの故、生徒に對して無理と思はれるやうな準備をなさしめてはいけない。要するに教師も生徒も、出来る丈周到なる準備を整へて教場に臨むやうに努力することが大切である。

第四 教授の方法

一 教授の様式

教授の方式は、小學校の上級に於ける各學科目の教授の方式と大した違ひはないが、唯職業に従事し、社會生活にも相當の經驗を経て居り、年齢も小學兒童よりは

長じてる青年のことであるから、これ等の點に鑑みて、小學校に於ける教授の方法を應用して、青年に適切なる方法をとるやうにして欲しい。

一般に教授の様式としては問答式、示教式、或は示範式、或は講演式と云ふやうなものがあるが、是等の様式は補習學校の教授に於ても、教材に依つてそれぞれ採用すべきことと思ふが、補習學校では多くは生徒の研究したことや、經驗したことを土臺にしての教授であるから、大體に於て問答式によりて教授する教材が多いことと思はる。併し實驗をやらせるとか、實習を實地になさしめる時には、教師は先づそれをやつて見せて、この通りにするのであると云ふやうに、先づ手本を示して行はしめるから、示範式も採用する場合がある。又畫を書いて示すとか、或は實物を示すとか云ふ風にして教授をする場合があるから、示教式もまた用ひられる。又教材によりては講演式に依り、主ら生徒の感情に訴へて教授することもあらう。故に一般教授法にある様式は、教材によりては盡く之を利用して行かねばならぬことと思ふのである。

二 教授の方法

教授の方法は、學科の教授は普通は三段教授の方法に依つて行ふてよい。即ち御

承知の通り、豫備教授、整理の三段教授の方法でよろしいと思ふ。實習の如きことを教授する場合、或は作業を教授する場合には、この頃能く言はれて居る所のプロジェクト・メソッドを採用して宜しいと思ふ。プロジェクト・メソッドは、御承知の通り第一階段は目的、その次は計畫、その次は遂行、その次は批評、この四つの階段を経て教授を終ると云ふことになつて居るが、目的と云ふのは、生活の單位を一つの教授の目的とする。即ち生活上有用なる題目を採りて教授の目的とすると申して居る。即ち實習教授の場合で申して見ると、麥の種子播きといふことは、矢張り生活の一單位を目的として居る。之を生徒に實習せしむる時には、その目的に依つて生徒に麥の種子を播くことに對する計畫を立てしめる、その計畫は教師と生徒と問答し乍ら立てても宜しい。或は生徒が上級生であつたならば、自身で計畫を立てさしても宜い。計畫を立てたならば、その計畫に依つて作業を實行せしめる、之が即ち遂行である。而してこの計畫に依つてなした仕事が出来上つたならば、その結果を互に批評する。次に教師が講評する。これが第四階段の批評であつて教授を終るのである。これが即ちプロジェクト・メソッドの教授法であつて、實習や作業に依る教授には、結構な方法であると思ふ。

第十章 實業補習學校實習の改善

第一 農業科實習

一 實習教授要目と實習曆(實習教授細目)

農業補習學校の實習で研究すべき第一の問題は、實習要目と實習曆に關することである。

(一) 實習教授要目 實習要目とは、前期の一年二年には何々の實習、後期の一二年には何々の實習をなさしめ、研究科には何々の研究をなさしめるといふやうに定めおく、或は家庭の實習には何々、學校の實習には何々をなさしめると云ふことを、前期後期の各學年々に應じて決め、尙研究科の生徒には何々を研究せしむると決めたものが實習要目である。或は實習課程表とも稱して居る。

(二) 實習曆(實習教授細目) 實習曆と云ふのは、その學年々に於てなさしむる所の實習題目に付、時期即ち各月の上中旬の區分別にして、特に指導上注意すべき事柄を調べて記入したものである。其の指導上注意すべき事柄といふのは、新た

に着手する事柄のやうな時期を遅れてはならないやうな事柄、即ち移植とか、播種とか、何作物生育調査、袋掛とか、温床設置とか、鶏卵の孵化着手とか云ふやうな事柄であつて、斯う云ふ事柄を、四月上旬には何の種子を播く、下旬ならば何の種子を播く、五月には何の苗を移植する、六月中旬には何作物の生育調査をするといふやうに書いて置く。さうすれば種子を播くと云ふことに依つて、教師は種子の準備を怠らぬやうに注意する。或は作物の發育の調査など、期日に遅れぬやうに注意する。或は鶏の卵を孵化させると云ふことであれば、何時頃孵化させるかと云ふ大體の考へを定めて置いて、その時を誤らぬやうに氣を附ける。或は果物の袋かけ、桃や梨の果實に袋をかけることを定めて置くと、その袋の準備を怠らぬやうになる。或は温床の設置をいつ頃までに行ふときめおくと、それまでにその材料を用意しておかねばならぬ。かやうに種子を播くとか、移植とか、新たに何か仕事をやらせると云ふやうな事柄、其の他見學旅行、競技會、品評會等の如き行事も、實習曆の中に豫定しておくといふやうに、其の學校に於て實習指導上必要な事項を、月の上中下旬に分ちて記載しておくのである。而して之を日常に目撃するところに掲げおくと、生徒指導上非常に都合が宜いのである。然るに地方を廻つて見ると、この實習曆が餘り

に綿密過ぎて居るのを見ることがある。總ての作物、總ての農業上の事項に付て、月の上中下旬に配當して、害虫驅除から除草に至るまで記入してあるのがある。是も悪いと申す譯ではないが、餘りに詳しく書いて置くと、唯の飾り物になつてしまふ虞がある。故に實習曆は、其の學校で、生徒指導上眞に必要な事項のみを記入するやうに致したいと思ふ。かくの如く其の學校生徒指導上の注意となるものなれば、教師は座右において常に重寶なものとして、かやうに本當に役に立ちて飾物とならないやうなものを拵へて戴きたい。

次に示す家庭實習指導細目は、静岡縣磐田郡三川校に於て實施してゐるものであり、其次に掲げてゐる實習教材配當表の例は、愛知縣寶飯郡御津南部校のものであるが、形式を異にしてゐるので、實習要目又は細目等編成の參考までに示すことにした。

家庭實習指導細目 (静岡縣三川公民學校)

四	三	二	一
日	集	張	出
二十三日	十五日	十一日	一日
學校召集	學校召集	學校召集	入學式
見取	大谷	友永	壹川
上旬一回	上旬一回	中旬一回	中旬一回
下旬一回	下旬一回	下旬一回	下旬一回
豫	備	調	査
一、	二、	三、	四、
穀種配布需給調査	麥作生育狀況調査	實習地臺帳整理	本年度經營方針樹立

實 習 題 目			五 月		
上 旬	中 旬	下 旬	日 集 召	日 張 出	見 取
苗代切り返シ 棚竹ノ交差 桑園施肥中耕土寄	苗代整地 瓜類浸種 茶園施肥土寄	春蠶掃立 粗種下種 胡瓜定植	一日 學校召集 七日 學校召集	山川田會	見取
果樹園施肥 果樹病害豫防 玉葱施肥中耕	粗種浸漬 里芋芽出植付 薑ノ植付	苗代肥料施用 西瓜直蒔 茄子移植	上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回	山川田會	見取
春蒔白菜蒔付 甘藍施肥中耕	菜豆金時豆蒔付 馬鈴薯中耕施肥	越瓜直蒔 蕃茄移植	上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回	山川田會	見取
項 要 導 指	項 要 導 指	項 要 導 指	查 調 備 豫	查 調 備 豫	查 調 備 豫
一、果樹病害豫防法指導 二、桑園枝尺蠖蟲驅除法 三、桑茶園元肥配合法 四、苦鹽汁選實地指導 五、乾田式苗代仕立方指導 六、茶園害蟲病害豫防法 七、越瓜蒔付方指導 八、西瓜蒔付方指導 九、苗代肥料施用方	一、甘藷ツルサシ方指導 二、益蟲保護器設置及ビ之レガ取扱ヒ方實地指導 三、瓜類施肥法指導 四、本田肥料配合法 五、越瓜、甜瓜摘心法指導 六、ベト病炭疽病豫防法 七、浮塵子苗代期驅除法 八、花粉媒助法 九、肥料成分算出法指導	一、本田肥料配合法 二、桑園害蟲豫防驅除 三、胡瓜ベト病豫防 四、ブドウ炭疽病豫防 五、苗代巡視指導	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査

實 習 題 目			五 月		
上 旬	中 旬	下 旬	日 集 召	日 張 出	見 取
落花生蒔付 南瓜定植 早蒔豌豆收穫	茄子定植 春蒔白菜間引 甘藍、玉葱追肥	本田畦畔塗 上族準備	一日 學校召集 七日 學校召集	山川田會	見取
蕃根定植 蠶糞整理	採桑後株ナホシ 苗代管理	桑園蠶象豫防 南瓜摘心第一回	上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回	山川田會	見取
項 要 導 指	項 要 導 指	項 要 導 指	查 調 備 豫	查 調 備 豫	查 調 備 豫
一、本田肥料配合法 二、桑園害蟲豫防驅除 三、胡瓜ベト病豫防 四、ブドウ炭疽病豫防 五、苗代巡視指導	一、甘藷ツルサシ方指導 二、益蟲保護器設置及ビ之レガ取扱ヒ方實地指導 三、瓜類施肥法指導 四、本田肥料配合法 五、越瓜、甜瓜摘心法指導 六、ベト病炭疽病豫防法 七、浮塵子苗代期驅除法 八、花粉媒助法 九、肥料成分算出法指導	一、桑園蠶象豫防 二、南瓜摘心第一回	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査

實 習 題 目		六 月	
上 旬	下 旬	日 集 召	日 張 出
春蠶收穫販賣 本田崩畦 豌豆蠶豆收穫	馬鈴薯收穫 本田植付 本田代播	二十九日學校召集	山川田會
甘藷蒔苗 秋蒔甘藍收穫 苗代採卵	草花定植 本田元肥施用 越瓜南瓜摘心	見取	見取
秋蒔玉葱收穫 麥ノ收穫	苗代採卵 西瓜追肥土寄	上旬一回 下旬二回 上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回	見取
項 要 導 指	項 要 導 指	查 調 備 豫	查 調 備 豫
一、甘藷ツルサシ方指導 二、益蟲保護器設置及ビ之レガ取扱ヒ方實地指導 三、瓜類施肥法指導 四、本田肥料配合法 五、越瓜、甜瓜摘心法指導 六、ベト病炭疽病豫防法 七、浮塵子苗代期驅除法 八、花粉媒助法 九、肥料成分算出法指導	一、桑園蠶象豫防 二、南瓜摘心第一回	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査

實 習 題 目			六 月		
上 旬	中 旬	下 旬	日 集 召	日 張 出	見 取
春蠶收穫販賣 本田崩畦 豌豆蠶豆收穫	馬鈴薯收穫 本田植付 本田代播	浮塵子驅除(苗代後)	二十九日學校召集	山川田會	見取
甘藷蒔苗 秋蒔甘藍收穫 苗代採卵	草花定植 本田元肥施用 越瓜南瓜摘心	苗代後整地移植	見取	見取	見取
秋蒔玉葱收穫 麥ノ收穫	苗代採卵 西瓜追肥土寄	苗代後整地移植	上旬一回 下旬二回 上旬二回 下旬一回 上旬二回 下旬一回	山川田會	見取
項 要 導 指	項 要 導 指	項 要 導 指	查 調 備 豫	查 調 備 豫	查 調 備 豫
一、甘藷ツルサシ方指導 二、益蟲保護器設置及ビ之レガ取扱ヒ方實地指導 三、瓜類施肥法指導 四、本田肥料配合法 五、越瓜、甜瓜摘心法指導 六、ベト病炭疽病豫防法 七、浮塵子苗代期驅除法 八、花粉媒助法 九、肥料成分算出法指導	一、桑園蠶象豫防 二、南瓜摘心第一回	一、桑園蠶象豫防 二、南瓜摘心第一回	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査	一、麥收穫期調査 二、玉葱收穫期調査 三、甘藍收穫期調査 四、苗代品評會下調査 五、螟蟲發生狀況調査

實 習 題 目			月 七		
旬 上	旬 中	旬 下	日 集 召	日 集 召	日 集 召
畦畔ノ草刈 夏蒔胡蘿蔔蒔付 本田第二回除草	秋蒔種子注文 堆肥積ミ替エ	越瓜收穫初メ 甘藷耕作	七日 學校召集	六 日 學校召集 二十七日 學校召集	七日 學校召集
螟蟲驅除 麥ノ調製	胡瓜茄子收穫 春蒔葱定植	甜瓜收穫初メ 桑園土寄施肥	出 張 日	出 張 日	出 張 日
本田ノ追肥 糞、里芋施肥中耕	夏大根收穫 本田除草	本田除草 桑園害蟲驅除	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友
上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回
指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項
一、稻生育調査 二、青物市況調査 三、排水ノ状態 四、肥料市況(追肥)	一、本田追肥施用法 二、越瓜南瓜摘心法 三、茄子、蕃茄摘心法 四、越瓜、西瓜追肥施用法 五、安全式石油乳劑調製	一、秋蒔蔬菜種子需給調 二、大暑期調査(稻作) 三、蔬菜設計書調査 四、紫雲英種子豫約	一、二百十日ノ稻生育調査 二、先進地視察下調	一、西瓜ノ熟期 二、甘藷栽培法 三、竹林經營法 四、西瓜ノ採種法 五、茄子ノ採種法 六、越瓜ノ採種法 七、果樹夏季剪定 八、冷床ノ作り方	一、稻生育調査 二、青物市況調査 三、排水ノ状態 四、肥料市況(追肥)

實 習 題 目			月 九		
旬 上	旬 中	旬 下	日 集 召	日 集 召	日 集 召
誘蛾燈設置 西瓜收穫初	小豆收穫 薑除草施肥 竹林除草	結球性白菜下種 大根地整地	三 日 學校召集 十七日 學校召集	三 日 學校召集 十七日 學校召集	三 日 學校召集 十七日 學校召集
實施表整理 變色莖拔取	夏蒔甘藍移植 三番茶摘採	甘藷除草中耕 果樹夏季剪定	出 張 日	出 張 日	出 張 日
最終除草	胡蘿蔔除草施肥 甘藷蔓返シ	變色莖拔取	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友	見 谷 永 友 友 友 友 取 谷 永 友 友 友 友 田 會 間 永 友 友 友 友
上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回	上旬一回 中旬一回 下旬一回
指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項	指 導 要 項
一、西瓜ノ熟期 二、甘藷栽培法 三、竹林經營法 四、西瓜ノ採種法 五、茄子ノ採種法 六、越瓜ノ採種法 七、果樹夏季剪定 八、冷床ノ作り方	一、驅蟲藥品調製 二、蚜蟲驅除法 三、カブラ蜂驅除法 四、猿葉蟲驅除法 五、結球白菜施肥法 六、玉葱蒔付方	一、二百十日ノ稻生育調査 二、先進地視察下調	一、驅蟲藥品調製 二、蚜蟲驅除法 三、カブラ蜂驅除法 四、猿葉蟲驅除法 五、結球白菜施肥法 六、玉葱蒔付方	一、二百十日ノ稻生育調査 二、先進地視察下調	一、驅蟲藥品調製 二、蚜蟲驅除法 三、カブラ蜂驅除法 四、猿葉蟲驅除法 五、結球白菜施肥法 六、玉葱蒔付方

目 題	
旬 下	旬
蒨葎草蒔付 玉葱甘藍覆除去	夏葱收穫
壬生菜京菜間引 紫雲英蒔付	體菜間引
項 要	
七、甘藍蒔付方 八、秋茄子多種法 九、大根白菜間引方	

目 題 習 實			月 十	
旬 下	旬 中	旬 上	日 集 召	日 張 出
果樹園ノ下ニ綠肥蒔 水稻早生調製	葡萄採收販賣 白菜施肥 茶園施肥	蠶豆蒔付 梨ノ採收 大根施肥中耕 玉葱施肥 水稻早生刈取初	一日學校召集 十八日同 二十九日同 十六回夜間召集	見谷取 大友永 友永永 川會間 山田
麥蒔付(畑)初		ザイトウキッサン蒔付 心喰蟲豫防驅除 大根間引	同上 同上 同上 同上	同上 同上 同上 同上
項 要 導 指			查 調 備 豫	
桑園花園肥料配合 家庭實習地坪刈			水稻生育調査 肥料定價調査 麥作設計審査 裏作設計審査	

目 題 習 實			月 一 十	
旬 下	旬 中	旬 上	日 集 召	日 張 出
米ノ調製 桑園手入	水稻晚生刈取 玉葱苗施肥 大根收穫	水稻中生刈取 靱拔落シ 黑穗病豫防 甘藍移植 本田鋤起 靱ノ乾燥 稻架ノ準備 麥蒔準備	三日學校召集	見谷取 大友永 友永永 川會間 山田
	麥ノ蒔付 晚生大豆收穫	稻架ノ準備 麥蒔準備	同上 同上 同上 同上	同上 同上 同上 同上
項 要 導 指			查 調 備 豫	
紫雲英施肥			家庭實習地坪刈 麥蒔法整地 麥蒔法蒔付 裏作肥料配合法 甘藍苗ノ良否判別方	

實 習 題 目			二 月	
下 旬	中 旬	上 旬	日 集 召	
茄子蒔付 果樹施肥	茄子苗場製作 時無大根蒔付	春蒔野菜苗床準備 京菜收穫	五日學校召集 十一日同 十五日夜間召集	見取 大谷永 友間會 川田
麥ノ施肥中耕	春用高苜蒔付	麥ノ踏壓土入 蒔藁ノ定植	同上	同上
胡瓜ノ蒔付	胡瓜苗床作り	麥ノ中耕施肥	同上	同上
指 導 要 項			豫 備 調 査	
養鶏獎勵 甘藷施肥法			麥作實習地第二回巡視 甘藷生育狀態調査 玉葱生育狀態調査	
溫床蒔付方 玉葱施肥法			溫床作り方 藁製品(加工法)	

實 習 題 目	
下 旬	旬
甘藷切干製造	
堆肥切り返シ	
要 項	
麥踏壓方 甘藷加工法 大根加工法	

實 習 題 目			一 月	
中 旬	上 旬	日 集 召		
麥第一回土入 鶏舎ノ手入土換	大根切干製造 麥ノ施肥	十八日學校召集 二十八日學校召集 十二日夜間召集	見取 大谷永 友間會 川田	同上
甘藷施肥	白菜收穫 土當歸定植	同上	同上	同上
促成茄子蒔付	藁細工	同上	同上	同上
指 導 要 項			豫 備 調 査	
溫床踏込方 麥ノ土入方			麥作第一回巡視 視察地下調 養鶏戸數羽數調	
甘藷苗ノ見別方 同苗ノ移植方			養兔獎勵 郡外視察	
依裝指導 米調製指導			玉葱苗ノ良否見分方 同苗移植方法	

實 習 題 目			三 月
上旬	中旬	下旬	三日學校召集 十五日同 二十日同 十五回夜間召集
上旬	中旬	下旬	出見 張友大 日川益永 田會同
上旬	中旬	下旬	各一回 各一回 各一回
指 導 要 項			豫 備 調 査
溫床管理 養豚獎勵 果樹冬季剪定 促成栽培地臨地指導 果樹病害豫防 桑苗接木法 鷄卵雌雄鑑別 母鷄孵化法 人工孵化場見學			養豚戶數頭數調 溫床框數調 麥生育狀態調 溫床發芽調

實習教材配當表 (愛知縣御津南部實業補習學校)

月	普通作物	園	桑 樹	農製加工	測 量	雜
四	麥土寄 黑穗拔取リ 甘藷床入レ	夏大根 手入 蔬菜園除草、豌豆支柱、甘藷、苺、施肥、中耕、土當歸施肥 收穫 款冬、分葱 枇杷摘果袋掛、果樹園手入、菊根分ヶ、花卉類手入レ	中耕施肥 結束解除			堆肥積ミ換ヘ 肥汲ミ 校舎内外大掃除

月	五	六
	苗代見學 黑穗拔取リ 甘藷床手入レ	麥刈取調製 大豆下種 甘藷挿 苗代害蟲驅除
	下種 刀豆、豇豆、茄子定植 手入 甘藷假植、馬鈴薯除芽中耕、南瓜、越瓜等ノ定植、瓜類追肥、葱頭撻曲、牛蒡施肥、苺、トマト、追肥 收穫 豌豆、蠶豆、款冬、梅、苺、春播 二年子大根 桃、梨摘果袋掛、菊挿木、花卉類手入レ	下種 胡蘿蔔、大豆 定植 葱、甘藷 手入 一般蔬菜追肥中耕、南瓜、西瓜敷 收穫 馬鈴薯、甘藷、葱頭、草苺、枇杷、梅、苺 バラ挿木、チヌーリップ等球根類貯蔵
	株直シ 桑樹下種 接木手入	桑園中耕 施肥除草 害蟲驅除 實生手入 補植 接木手入 施肥
	櫻花漬	ジャム及 ゼリー 梅干漬 胡瓜甘藷 漬
	堆肥、手入、切返 シ、草刈、肥汲ミ 觀賞木手入レ 道路修繕	草刈 堆肥製造 道路修繕 觀賞木手入レ 肥汲ミ

月	七	八	九
普通作物	麥類調製 甘藷摘心 蔓返シ除草	米麥害蟲驅除 甘藷蔓返シ	
園	下種 美濃早生大根、蒔移植 手入 春播甘藷、瓜類除草、茄子、害蟲 驅除、トマト、里芋、薑敷草中耕、 胡蘿蔔、牛蒡、土當歸施肥 收穫 茄子、胡瓜、南瓜、葱頭、夏大根、 菜豆、豇豆、トマト、桃採集、馬鈴薯 綠枝剪定、球根類手入貯藏	定植 葱 下種 方領、宮重、聖護院、練馬、白菜 等ヲ初ム 手入 葱施肥、土寄、蒔蔓切り、蔬菜園 除草 收穫 西瓜、甜瓜、冬瓜、南瓜、梨、葡萄 夏咲草花採種	定植 分葱、葱 下種 燕青、大根、白菜類、甘藷、葱頭、 牛蒡、葱、蒔藜草 手入 大根、白菜類、間引中耕、施肥 收穫 美濃早生大根、薑、里芋、南瓜、柿 秋播草花下種
藝	桑摘ミ 桑園除草 勢力ノ弱 キ物刈取 リ	桑摘ミ 桑園除草 青草敷	桑園除草 桑摘ミ 實生手入 レ
農製加工	蒔漬 越瓜漬		里芋莖乾 茄子漬ケ
測量			
雜	堆肥製造 草刈リ 肥汲ミ 校内外大掃除 委託實習 二硫化炭素燻蒸 道路修繕	堆肥積ミ換ヘ 草刈 海草集メ 道路修繕	草刈 海草集メ 肥汲ミ 校内外大掃除 道路修繕

月	一	十	十一	十二
普通作物	麥中耕鎮壓 土入	麥鎮壓土入	甘藷收穫 大小麥下種	麥鹽水選 麥奴豫防 見學手傳
園	手入 二年子大根、豌豆、蠶豆、中耕施肥 收穫 葱、小松菜、白菜、蒔藜草 果樹ノ害蟲驅除	手入 蒔藜草、蠶豆、小松菜、豌豆 收穫 大根、白菜類、葱 花卉果樹類霜除ケ	定植 甘藷、玉葱、京菜移植 手入 蒔藜草、小松菜施肥、大根類間引、 土當歸施肥土覆ヒ 收穫 白菜、大根、燕青、牛蒡、薑、里 芋、貯藏、胡蘿蔔、柑橘 花卉類假植、霜除	下種 蒔藜草、蠶豆、豌豆、二年子大根、 小松菜 手入 一般蔬菜手入、蒔移植、甘藷假植、 大根白菜類中耕施肥 收穫 里芋、美濃早生大根、柑橘收穫初 春咲球根類植込ミ、根分ケ
藝	桑園害蟲 驅除	桑樹結束 中耕根サ ラヘ	桑園結束 除草	桑園中耕 實生手入
農製加工	水飴 餡 蒔蒚	淺漬 澤庵漬 甘酒 大根切干 甘藷切干	白菜漬物 砂糖漬 麵漬 千枚漬	牛蒡薑味 噌漬 拔菜漬
測量		平板測 量 三斜法		圓板測 量
雜	枯草集メ 太繩、サン俵作り 校内外大掃除 委託温床踏込ミ手 入レ、溝浚ヒ	藁作業、サン俵 細繩、依編ミ 校内外大掃除 道路修繕 溝浚ヒ	堆肥積換ヘ 枯草集メ 道路修繕	堆肥手入 肥汲ミ 觀賞木手入 豚糞去勢 道路修繕

月	普通作物	園	藝	桑樹	農製加工	測量	雜
二	麥中耕鎮壓 土入	下種(温床) 茄子、胡瓜、南瓜、西瓜、薯蕷、葱頭、甘藍定植	夏秋蠶專 用桑園 株刈 中耕 貝殼蟲驅除	味噌 醬油製造 所見學	堆肥製造(廢物ヲ利用シテ) 肥汲ミ 菘編ミ 細 委託温床踏込ミ 播種 道路修繕 溝浚ヒ		
三	麥中耕土寄 土入	下種(温床) 南瓜、トマト、牛蒡、甘藍、葱類 手入 玉葱、甘藍、豌豆、款冬、二年子 大根 收穫 菠薐草 果樹類接木剪定及ビ施肥	接木	精米見學	觀賞木手入 堆肥積換へ 委託果樹類剪定施肥		

二 學校に於ける實習

實業補習學校の學校内に於てなさしむる實習の問題は、常設の農學校的の補習學校の實習に就いて論するのではない。常設の農學校的のものは、是は農學校と同様に學校に於てなるべく多く實習し得られるやうに計畫を立てて行かねばなら

ぬものと思ふが、本章にはそれではなくて、夜學本位、一週一日本位といふやうな、常設的でないところの普通の農業補習學校に於ての實習に就て述べやうと思ふ。

(一) 併設小學校實習施設の完備 一般的の農業補習學校は、大抵は小學校に併設してゐるのであるから、第一に其の併設小學校に於ける實習施設の充實完備を計るやうに努めて戴きたいと云ふことである。高等小學校の農業科は、前年度から特に重視せられるやうになつたが、之を機會にして、小學校農業科の設備を充實して、小學校に於ける農業科の教授及び實習の指導が、本當に價値あるものに致したい。今日は各府縣共、小學校農業科の施設は、數年前より餘程よくなりつつあるけれども、尙遺憾の點が少くないのであるが、私が見たところでは、兵庫縣下小學校の農業科施設經營が、全國で一番進んで居るではなからうかと思ふのである。農村の小學校であれば、堆肥舎、農具舎、農具を備へて居らぬ小學校は殆どないと云ふ程であつて、その上に豚を飼つて居る小學校が非常に多い。是は農家の副業獎勵にもなるが、學校で之を飼うて居るのは、主として立派な堆肥を作る目的の方が多いのである。何れの府縣の小學校でも堆肥の原料が乏しいので、草を刈つたり、學校の掃溜を集めたりして堆肥を作ることゝ努めて居るが、兵庫縣の小學校では、その上に豚を飼

つて居ると良い堆肥が作れると云ふ譯で、豚を飼ふことが行はれて居る。その上に鶏を飼つて居り、尙牛迄飼つて居る學校は縣下に三四十校にも昇つてるといふ。兵庫縣には但馬牛と言つて、名高い牛が縣の北の方に産するが、それ等も關係して居るかも知れませぬが、小學校で牛を飼ふまでに進んで居る。即ち今日縣下で優良補習學校の併設して居る小學校には、補習學校と共用に牛までも飼うて居るのが多いのである。その中でも兵庫縣飾磨郡八幡村の小學校及び農業補習學校に於ては、多年小學校農業科の方面に於て、實習設備の充實に骨を折つて居り、今日では小學校としては立派な施設を持つて居るやうな状況になつて居る。農業教室もあり、收農舎もあり、農具舎もあり、堆肥舎もあり、肥料溜場もあり、尙鶏舎もあれば、豚小屋もあり、牛小屋もある。而かもその飼うて居る牛はホルスタインの純粹種で、乳を生徒が搾つて居り、日曜日などは小學校の先生は男の先生でも女の先生でも、當番になつた生徒を相手にして乳を搾つて居る。尙コンクリートの温床が五六框もあり、硝子室もあつて、その中に葡萄花卉等を栽培し、胡瓜、メロンなども作つて居る。設備の方も、先づ小學校としては十分である。更に實習地の方に行つて見ると、尋常四年から實習地があつて、見習地と云ひ、男女の兒童共、土に親しましめ農事に馴れしめて居る。かくて

高等小學に進めば、農業の實習地を經營することになり、尋常科よりその學年の受持の教員が、その實習地の經營を指導することにし、而して、補習學校の専任の教師の方が、小學校の方まで兼ねて之を指導すると云ふ風に、如何にも農村の小學校らしい氣分がする。その上に農業の補習學校があつて、これ等の設備を利用して、教授をなし、時に實習をなさしめ、専ら家庭實習に力を入れて居る。この小學校に於ける是等の設備は、學校に於ける實習地の収入は、村の方では、學校の方で實習經營より得た収入を積んで、農業の設備に自由に使用して宜いと云ふことにして居るので、實習地の収入は特別會計のやうな風にして居り、その金で永い間に今申したやうな設備の完成を見たのである。斯う云ふ小學校補習學校があると、やがてそれを眞似る村も出来る。或は奮起する校長及び専任教員も増加する。いふ次第で、兵庫縣下には、八幡に劣らぬやうな設備を有して居る學校が、随分あるやうに思ふ。又淡路島にも見られるが、特に三原郡の方にさう云ふ學校が多いやうである。かやうに兵庫縣の小學校の農業實習施設と云ふものが、他府縣よりは餘程充實して居るやうに思ふのであつて、農村の小學校の特色としては、この八幡の小學校位の施設經營があるやうにならなければならぬものではなからうかと思つて居る。最も一時に立

派な施設をなすことも出来得られないでせうから、次第に農村の小學校らしき施設經營が出来得られるやうに、盡力を願ふ次第である。

(二) 學校實習地——研究指導地 季節的農業補習學校の實習地としては、農業教師の研究を主として生徒を指導するに用ひる研究指導地と云ふものを設けて戴きたい。是は高等小學校の實習地の側に設けても宜しいが、さう広い面積は入りませぬ。例へて申すと、稻の作り方で斯く斯くの栽培法が一番宜しいと云ふものがあるれば、それをやつて見る。或は麥の廣播法をこの地方に擴めやうと思へば之を研究的にやつて見る。或は其の地方で未だ作つて居ない良品種あれば、之を作つて其の出来榮えを見る。又は新作物が出来るかどうかを試作して見るのである。世間には可笑しい所がある、昔からこの村には大根が出来ないと云ふので、大根は出来ないものだと思つて居る。これは静岡縣で聞いたのである。所が補習學校の農業の専任教師が大根が出来ないと昔から言うて居るが、眞に出来ないか試して見やうと、先づ學校の實習地の傍に作つて見たら、立派な大根が出来た。大根はこの村でも出来るぞと喜んで、その年の品評會に學校で作つた大根を出品したが、村の人は學校で作つた出品であるけれど、この村には昔から大根は出来ないからとて、學校で作つ

たものとは承知せぬ。そこで専任教員の方は、翌年は作つたのを見せねばならぬと考へ、翌年は自信があるので、少し廣く作つて、生徒の家庭にも種子をやつたりして作つたが出来。不思議なこともあるものだ、専任の先生が来て大根が出来るやうになつた、大根が出来るやうな村になつたと云ふ譯であるが、さう云ふことは、野菜などに付ては往々あることである。葱を今まで作つたことのない村とか、或は白菜などは見たこともない村などもある。さう云ふ村に之等を作らしめやうとするには、果して出来るかどうか、先づ教師の確信が要る。出来ないと思ふては頭を破つて行くには、教師自身が先づ試して見た確信の力によらねばならぬ。新しい栽培法、新しい作物、新しい品種等は之を作つて、研究して經驗を積むと同時に、それが相應に良い成績であれば、適當の時、生徒をその場所に招集し、その成績を示して、實地に指導する爲に設くるものであつて、是は是非補習學校の農業専任教員の方にやつて戴きたいと思ふ。若し教師自身のみで手不足の場合は、生徒を補助として行ひ、又は熱心な青年を指導して行はしめて見ると云ふやうに致したい。

(三) 學校に招集しての實習 普通の補習學校の學校に於ける實習地としては、主として前述の研究指導地だけでよいと思ふ。併し度々生徒を招集して實習をな

さしめ得る學校、又は毎週一日或は二日の晝間教授の學校であれば、學校に生徒の實習地を設くる方は勿論よいのであるが、生徒の實習地を設けても指導上困難な學校では、強ひて之を設くるの要がないと思ふ。これ等の學校では先づ研究指導地位でよろしく、小學校の實習地及び其の他實習設備の充實を望んで居る。實地に實習せしむべきことは、家庭實習又は部落實習に於て行はしむるやうに致したいと思ふ。かやうに補習學校には、主として生徒になさしむる實習地を設けないとしても、生徒を時季に應じ、晝間又は夜間に、學校に招集して、なさしむべき實習もあるのであるから、此の如きは適當な季節に應じて招集して指導するやうにして欲しい。例へば桑苗及び果樹の接木取木のやうなものは、其の接木取木の節に學校に招集し、實地に教授して實習せしめた上にて、それを家庭の實習としてなさしめる。その他挿木のやうなことは、學校に招集してやらして、之を家庭に及ぼして行くやうにする。その他、農家の副業として廣めやうとする竹細工を練習させるとか、或は麥稈細工を練習させるとか、其の他手工的の實習をさせると云ふやうなことが、そここの學校に行はれてるのを見て、さう云ふ事柄は、學校に招集して實習せしめて宜

いことと思ふ。その他は家庭實習或は部落の共同實習に於て行はしむるやうに骨を折つて戴きたいのである。私は到るところで農業補習學校の生命は家庭實習にありと云ふことを屢、申して居るのであるが、何卒家庭實習に重きを置いて實習せしむるやうに、指導して戴きたいと思ふのである。

三 家庭實習

(一) 家庭實習の種類 家庭實習の種類は、前期の生徒には、一坪農業的の仕事をなさしめ、後期の生徒には、一般的にはその町村に於ける主要作物の栽培を主としてなさしめる。最も作物以外に主要なる農事のある町村では、その主要な農事に付きて之を一般的になさしめるが、進んで高等科或は研究科に進んだならば、その主要農事に力を用ひしむるは勿論、其の地方部落の状態に應じて、その部落部落に發達の見込ある農事に就いて、家庭に於て研究せしむるやうにすれば宜い。即ち後期の生徒の方は、その町村の主なる作物、田であれば米作、麥作畑であれば蔬菜、地方によりては桑樹、果樹、茶樹と云ふやうなものに就いて行はしめ、其の他養蠶でも、養鶏でも、養豚でも、外に適切なものがあればなさしめて宜いと思ふ。高等科又は研究科の生徒には、主要農事の外、その部落部落の農業状態を考へて、生徒に依つて、或は養

鶏の研究をなさしめ、或は促成栽培の研究、或は苗木の育て方の研究、或は果物の栽培を研究せしめる。その研究により次第に夫等の農事を、その部落部落に發達せしめるやうに、その地方の農業状態を考へて指導する。これは必ずしも養鶏、作物の栽培とは限らないのである。養豚、養蜂、養魚、牛馬の飼育、養蠶等は勿論、農産加工や製造に關することでも、固より宜いのである。

(二) 家庭實習の指導法 家庭實習の指導方法では、第一に設計書の指導が大切で、設計書に就いて、生徒の父兄の諒解を得ることが大切である。設計書の指導方法は、前期の生徒に對しては、學校で適切な設計書を作り、教師よりその設計書を教へ、之によつて實習せしむるやうにして宜いと思ふが、後期の生徒に對しては、主要な作物に付て、學校に於て標準の設計書を生徒と問答しながら一通り作り、設計書の作り方を教へ、尙その上に稲作であれば稲作肥料標準表を、麥作であれば麥作肥料標準表と云ふものを、地方の實際を調査して、肥料の種類、分量、配合法等、色々のもの十通りも二十通りも、その村の田畑に實際に施用し得られると思ふもの、即ち瘠せて居る土地、或は肥えて居る土地、或は肥料を多く施す場合、或は少く施す場合などに適するやうな、色々の標準のものを作製し、それを謄寫版にて印刷して生徒に

與へ、生徒には、學校で教へられた設計書と、渡された施肥標準表とを土臺にして、家庭實習設計書の作製を父兄に相談せしめ、其の栽培すべき土地に對するものを作らしめ置き、次に教師は其の家庭に行く時日を通知しおいて、その日は成るべく父兄にも居つて貰うやうにして訪問し、父兄と生徒との案内で其の家庭實習地を實地に見て決定し、前作物(現在の作物)の生育状況を見、然る後豫め作らしめておいた設計書に就いて、實地と對照し、尙從來の栽培慣習等の問答をして考究し、大體それで宜しければ、その設計書通りに實施せしむるやうにし、若し悪いと思ふ事があつたなら、是は斯う直したらどうかと相談して、設計書を訂正するやうにし、かやうにして親にも子供にも十分了解せしめ、然る後この設計書の通りに、家庭に於て實習せしめるやうに指導せねばならぬ。若しもこの設計書作製の指導宜しきを得ないと、生徒が適切な設計書を作ることが出來ず、また父兄の諒解を得ないと、設計の通りの實行が出來ないことがある。或る學校で家庭實習は農業補習學校の生命だといふから、之を實行して見たが、其の成績は思はしくない。それ程重要なものとも思はれない。といふので、私が訊いたので、どういふ風にして設計書を作らしめて居ますか、生徒に自由に作らしめ、其の設計書に基いて自由に家庭に於て實習させて

居ます。「さうですか、それは今日の自學自修の方法によるやり方かも知れぬが、補習學校ではさう自由にやらして貰つては困る。設計書を作るには、地質、地勢、氣候、作物の種類等に付考究して、栽培の方法を如何にすべきか、肥料の配合、施肥期、施肥法等を如何にすべきかと、多收穫を目標として、其の栽培すべき土地に對して適切な設計書を作らしめるやうに、指導せねばなりません。即ち稻作の設計であれば、かくかくの作り方であれば、大體に於て良い結果を得られると認められる設計書作製の指導に努めねばならぬ。尙其の設計を父兄にも諒解して貰ひ、生徒も自信を以て之を實行することに依つて、初めて効果が擧がるのである」と云ふことを申した所が、「さうですか」と言つて居つたのでありますが、往々にして設計書を作らしむれば宜いと云ふことだけで、如何なる設計書によらしめなければならぬかを深く考へて居ないやうなことに接することがある。生徒の自由に作つたものが幸に適當なものであればよいが、多くの場合には適當なものを得ることは豫期されないのであるから、積極的に適當なる設計書を作製せしむるやうに指導して欲しい。次に高等科研究科の生徒に對しては、前年度の實施の結果に鑑みて、本年度の設計をなさしめ、又は後期に準じて作らしめて、之を實行せしむるやうにする。

かやうにして作らしめた設計書により、家庭に於て實行したならば、教師は時々巡廻して行き、何か尋ねることはないか、或は實地に實行して居るところを見て、指導すべきことがあれば指導する。同時に父兄が何か相談することがあれば、之に應ずるといふ風にして、時々巡視をする。斯様に巡視をして行く便宜上、その實習地に建札を立てさせる。この建札に付ても、地方に於て色々研究して居る所が多いのである。少くも何作家庭實習地、校名、學年、氏名、面積、等を記して欲しい。尙耕種の梗概を記入すれば、申分はない。而してその成績が相當に見られるやうになつたならば、その成績の調査をするやうに致さねばならぬ。

成績の調査をする方法は、部落部落に於て、生徒相互に調査要項を與へて、生徒相互に成績を調査せしむる方法もある。この方法は私が島根縣の大東農學校に居ました際に、その學校は上級生に家庭實習を課する組織であつたが、その實習成績を生徒相互に調査せしめたことがあつたが、是は相當に効果があつたやうに思ふ。かく相互に立毛の調査をなさしめた次に、蔬菜等であれば、一坪の收穫をして、反當りの收量を調査するが、稻作と麥作とかであれば坪刈りして、直ちに扱き落さしめて出来る丈丁寧に調製せしめ、彙釋はくくりて札をつけ適當のところ乾燥せしめ、

粃と麥とかは袋に入れて、くくつて天井のやうな所に吊つておかせ。かくて農繁期が終つて愈、補習學校が始まつたならば、その袋に入れおいた粃又は麥を學校へ持ち來らしめ、それに付て、重量、容量をはからしめ、次に粃の重量と容量とにより、系數表を見て玄米に換算して、反當り玄米の收量を算出せしめる。かく成績を調べた上に、報告書を作らしめる。尙品評會を催すことにすれば結構である。

東京郊外の松澤村と云ふ所に豊島農業補習學校といふ學校があるが、この地方は蔬菜栽培を主とする所でありますから、家庭實習は主として蔬菜栽培を行はしめて、而して、春の野菜の出来る季節には春の蔬菜の品評會を催し、秋には秋の蔬菜の品評會を催すといふやうに、年々時季時季に於て品評會を催して居るが、是は非常に結構なことと思ふ。

農村などに於ての品評會は、是は單に學校の家庭實習の品評會ばかりでなく、農會などと聯絡いたし、或は在郷軍人會と聯絡いたし、豫め毎年秋なら秋、春なれば春に於て、其の町村の年中行事の一つとして、必ず品評會を催すことに決め、その出品なども、小學校兒童、補習學校生徒は何々、生徒以外の青年團員は何々、農會員は何々、と、豫め定めて置いて、責任的に出品するやうに奨勵し、以て品評會を有効に致すやうにしたいと思ふのである。

四 部落實習

(一) 圃場に於ける部落實習 部落實習を行つて居る地方は、九州及び東北方面に多い。東北は土地が廣いし、九州にも土地の廣い所があつて、部落實習をなさしめて居る學校が多いのである。土地の狭い所は主として家庭實習をなさしめて居る。尤も土地の狭いところでも、従來青年會などで試作地を設けてたところでは、之を部落實習地として共同訓練に資して居る。土地の廣い所では、専任の教員一人で家庭實習をなさしめ、一々之を指導することは困難であるので、部落實習をなさしめて居る。又生徒數の非常に多い學校では、土地が狭くても、一々生徒の家庭實習を指導するため、一人の専任教員では廻り切れないと云ふ所から、部落實習をなさしめて居る所もある。部落實習は主として圃場實習である。田畑の實習を部落で行つて居る。この部落實習の圃場に於ては、どんなことをなさしめるかといふと、それは大體學校に於ける研究指導地に於て行つて居ることと同じやうなことで宜しいと思ふ。

先きに島根縣出西農業補習學校の圃場教室のお話をしたが、これも部落實習の一つの方法である。最近に福岡縣の實業補習學校を視察したが、同縣宗像郡内の實

業補習學校には、各部落に青年の會堂があつて、青年は毎夜集つて、今日は作業日、今日は研究日、今日は讀書日、今日は娛樂日といふ風に毎週の行事を定めて修養に努めてゐるが、其の會堂の附近に圃場を設けて、其の青年會堂に集る青年の部落實習地とし、組長を置いて、經營に任じてゐる。而して實習地經營の計畫は、農業教員の指導により、青年一同に相談の上に行ふてゐることは勿論である。斯る施設は、同縣に於ては、他郡に於てもポツポツ見るのである。また宮城縣登米郡石越村の農業補習學校に行つたときに見たのであるが、同校に於ても部落實習をやらしてゐるのであるが、其の方法は他よりは少しく變つてゐる。即ち其の部落に於ける篤農家とか、在郷軍人とか、或は農學校を卒業して居る人などがあつて、部落實習の指導者として適當な人があるとき、さう云ふ人を部落實習の指導員に、學校の方から囑託いたして置き、其の部落實習地の經營に關する設計は、農業教員、部落實習地指導員、部落の生徒と集りて協議の上で作製し、之が實行に就ては、部落實習の指導員が主として實際の指導の任に當り、その部落の青年と一所になつて、其の部落實習地の經營をして居る。是も一つの面白い指導方法であると考へる。

また部落の青年の組長を設けて、部落の青年が、農業教員の指導により協議して

作製した部落實習地の設計に基き、組長が主任となつて其の實習經營の任に當つて居るものもあるが、この方法によるのが多いやうである。或は部落の青年中の最も中堅となる青年があると、その家庭實習地に相當するものを部落實習地と云ふことに致し、その青年が中心となつて經營し居り、或特別の事項に付教師が指導する場合に、その部落の生徒を其の實習地に集めて指導すると云ふやうなやり方をして居る所もある。圃場實習として現在行はれて居る例は、先づこの位と思はれるが、尙この圃場實習以外に行はれてゐる部落實習がある。

(二) 其の他の部落實習 圃場實習地以外の部落實習としては、前述の福岡縣宗像郡等の補習學校の各部落青年會堂に於ける作業日の實習は、その一つの例と見ることが出来るが、その作業は、主として繩、俵、吹、蔴細工である。次の例は、廣島縣賀茂郡板城村の農業補習學校に於けることであるが、同校では村農會と聯絡を取り、農會から農業上に使ふ器具機械、即ち發動機二臺と之に附屬する脱穀機、糶摺機械、豆粕けづり器械、水揚ポンプなどを備へ、此の外鹽水選、麥奴豫防に要する器具及び材料等を、何千圓と云ふ金を掛けて設備して貰つて居る。而して鹽水選とか麥奴豫防とかを行ふ季節が來ると、部落に於ける補習學校の生徒は、農會の方で設備

して呉れた道具を學校より其の部落に運んで行き、部落の生徒の家庭の鹽水選又は麥奴豫防を行ひ、それと同時に部落の他の農家からの依頼に應じて之を行ふやうにして居り、其の他、部落の田地に用水の缺乏する場合には、水揚ポンプを持ち行きて灌水を行ひ、或は脱穀機、収摺機械を部落に持ち行き脱穀調製等の部落實習を行ふやうにする等、板城校に於ける部落實習は、普通に行はれてる圃場實習とは、大に趣を異にしてる。本村は従來農事の進まざりし關係もあるが、これ等の事を實行すると共に家庭實習に力を入れたので、村内の農事は著しく發達したのである。他の地方に於ても、その地方の状況に鑑み、特に圃場の部落實習に限ることなく、適切なる部落實習の指導に注意して欲しい。

五 委託實習

委託實習とは、篤農家、養蠶家、林業家などの家庭、或は促成栽培を上手にやつて居る家庭などに、生徒を委託し、その實習に参加せしめて、その仕事を覚えさせると云ふやり方である。最近静岡縣濱名郡赤佐村の補習學校を視察したが、其の際同校に於ける委託實習を見たのである。即ち苗木を上手に作る人があると、その人を委託實習の指導者に頼み、その人に苗木を育てて行く方法に付、特に指導して貰ふ圃場

を設けて實習をやらして貰ふ。これは苗木ばかりでなく、その大字大字で特長ある事項に付、委託實習の指導を依頼し、委託實習地等を設けて、之を行つて居る。

また愛知縣知多郡横須賀町の横須賀實業補習學校では、委託實習を農業にもやつて居るが、農業以外に商工の生徒及び女子の生徒にもやらして居る。商工の生徒には仕事の異つた十二軒の家を選んで、生徒を二名宛交替に一ヶ月に一回一軒一軒の家に於て實地に見習はしむるやうに、十二通りの仕事に参加させるやうなやり方にして居り、女子の生徒には、主婦の方のしつかりした家庭十二軒に、月一回一軒づつ家事の見習に行くやうにして居る。男生は朝行きて夕方歸るのであるが、女生は午後の四時頃行き、泊つて翌日の四時頃まで、一日間に於ける家事の仕事、即ち臺所の仕事、お座敷の掃除、神佛を祭ることから、その家の朝から晩までの仕事を一通りなさしめることにして居る。それは十二軒の家を月に一軒に付一回宛で、一年に回るのでありますが、毎日女生徒が替つて行くので、随分世話をして行く方は、色々の變つた子供が来るから迷惑であらうが、女の子供の方に取つては、娘時代に十二軒の家に行つて寢起をすると云ふ經驗を経ることは、非常にその人の修養になるだらうと思はれる。この方法に似た商工の委託實習は、栃木縣の小山の實業補習學

校でも行ひ、相當の成績を收めてるといふことを聞いている。

二四四

六 見 學

見學は、試験場、研究所、其の他篤農家の農場等に生徒を率ゐて行き、見學せしむることは、普通に行れてるが、これを行ふには、其の見學せしむべき事項に付、十分の案を立てて見學せしむるやうに努め、時間を費した丈の効果を收め得るやうにし、教師のみの見學になるやうなことがあつてはならぬ。静岡縣磐田郡三川實業公民學校に行つた時に、見學に就き成程良いことだと感じたことがある。その見學の方法は、縣立中泉農學校で行つてる方法を真似て居るのである。今日では青年團などもその方法を真似て居るといふことを耳にしたのである。其の方法はどんな風にするかと云ふと、篤農家のところ、例へば麥の作り方、稻の作り方が上手だと云ふ方のところへ視察に行くことに決したならば、先づその指導して貰ふ事柄に付て、ちやんと豫定を作つて居ることは無論のこと、視察に行く時には、豫め先方に、稻作とか、麥作とか、養蠶とか、何々とかに付、指導して頂きたいので、何日何時頃に参りますから、その際には一時間なり一時間半なり、生徒青年團であれば青年に適當した仕事をさして頂きたい。その仕事をやらして頂いた後、何々の事項に付、御話をして頂

きたい。といふやうな見學の方法である。さうすると先方でも十人なり二十人なりものものにやらせる仕事を豫め考へて居る。その家に行つて、何か一つ仕事をやらして下さい」といふと、「それぢや除草を一時間程手傳ひを願ひませう」とか、或は「斯う云ふ仕事をやつて貰ひませう」と云ふので、その篤農家の仕事を見習ひながら、一時間か一時間半働くと、それではお話を承りませう」と云ふ譯で、話を聞くのである。是は非常に宜い方法であると感じたのである。二宮先生は人道と云ふことを説いて、人道とは此方の人も喜び彼方の人も喜びやうな行ひである。自分のみが喜んで他人が喜ばぬやうな行ひは畜生の道だと云ふことを申して居るが、見學なども何にも先方の爲になることをしないで、見せて貰つてのみ居つたら、見學者は利するところあつて喜ぶかも知れぬが見せる方からいへば閑つぶしになるから御免を被りたいと思ふやうにならう。併し今のやうなやり方であれば、見に来る人、例へば十人の生徒が一時間仕事すれば、一人の十時間分の仕事に當り、或はそれ以上に當るので、見て貰ふた農家でも、今日は青年が大勢視察に来て宜かつたと云ふことになり、青年は篤農家と一緒に働いて氣分が宜かつた、その上にあの話を聞いたが、成程あれでなければならぬと喜ぶことになる。これは、青年の訓練の上からも非常に宜

二四五

しいことと思ふたのである。

七 中堅生徒の特別指導

家庭に於ける實習に就ては、尙中堅生徒に對しては、特別に研究せしむるやうに、特に指導上骨を折つて戴きたいと思ふのである。補習學校に於ては、部落部落に於ける生徒或は青年中、特に實習に熱心なるもの、或は研究心に篤きものを選び、それ等の生徒或は青年に對し、君の部落には養鶏が盛んでないから養鶏をやつて見て欲しい。或は君の部落は野菜を作ることに熱心でないが、あの邊は促成栽培に見込があるが一つやつて見て呉れ。或は君の部落は稲作或は麥作が進んで居ないから一つこれを研究して見てくれ。或は君の地方は養蠶が盛んだが、桑樹栽培が不十分であるから、之が改良を研究して欲しい」と云ふ風に、その部落部落に應じて研究的の仕事をやらして見る。さうしてその仕事の成績が宜しいやうであつたならば、その成績を研究報告として一般の人に周知せしめるか、或はその成績を取つて補習學校生徒の教材にすると云ふ様にして、其の研究を獎勵したいのである。是が地方の農事開發に非常に効果があるのである。

以上のやうに中堅生徒に研究的の實習をなさしめやうとするには、後期の生徒

には六ヶ敷いので、どうしても高等科或は研究科を置いて、これ等の生徒又は是等を卒業した以上の力のある青年にして、始めてその成績を擧ぐることが出来るのであるから、これまで後期までとして居つた學校では、その上に研究科なり、或は高等科なりの施設をして、この研究的の實習をなす生徒を得て、家庭に於て進んで特殊の研究をなさしむるやうに致したいものである。

八 共同經營的指導

共同經營的の指導に關しては、既に第四章に於て又農業科教授の方針のところから、共同經營的の指導に注意しなければならぬことを説いたが、農村の振興上からいつても、小農經營の上から考へても、共同經營的の指導と云ふことは、實際大いに注意しなければならぬ問題である。そこで個々の家庭に於て實習せしめてる仕事に就ても、或は作業を共同經營的に助け合ふことも必要と思ふが、先づ差當り生産した品物を共同的に販賣する手段方法を指導して行くことが非常に大切なことであると思ふ。今日地方の實際を見ると、かかる共同的方法を講じて居る學校が尠くない。

兵庫縣氷上郡柏原町の實業補習學校では、家庭實習として養鶏を獎勵して居た

が、私が四年程前の二月に行つた時に、毎月六回卵を家庭から學校に持つて來させてゐる。其日は卵デーと云ふ札を掛けて知らしてゐる。而してこの併設小學校には養蠶室があるが、兒童生徒の家庭から持つて來た卵は、その蠶室で集めてゐる。専任の教員一人の手だけでは間に合はぬので、町農會の方からも手傳ひに來て、この卵デーの卵を受取つて目方を量る人と、それを個人別に記入する人と分擔して、之を受入れて共同販賣をして居る。私が初めに參つた時は、毎回十八九貫位集つたが、此頃では毎回三十六七貫、月に二百二十三十貫も販賣するやうになつたさうで、私が初めて參つた時より丁度倍の卵の量に殖えて居る。この例に依つても家庭實習の養鶏によつて、養鶏の盛んになつて行くことを察することが出來やう。柏原を見た次の日に同縣多可郡中町の實業補習學校に行き、家庭實習を見たが、その視察した部落の生徒は、家庭實習として熱心に養鶏を主として行ひ、生徒及び卒業生とで養鶏組合を作り、互に助力して鶏舎を建て、飼育法を研究し、卵や廢鶏は共同販賣の法を行つてゐる。而して共同販賣は馬關と神戸と大阪の方の問屋から毎月相場表を送つて貰ふやうにして、どちらへ送つたら利益が多いかを調べて、利益の多い方に品物を送るやうにして居たが、これに依つてこの部落の養鶏は非常に盛んになつたのである。

また奈良縣の添上郡田原と云ふ補習學校に於ても變つた方法での共同販賣をしてゐる。同校は奈良より二里餘奈良の春日山を越えて行かねばならぬ山間の村の學校であるから、村の産物としては、從來は穀類、茶、繭及び林産物等のみであつた。然るにこの村から林産物を送るために、奈良市までの索道が出來たので、農業専任の教員は、この索道を利用することに氣が付き、家庭實習で作つて居つた蔬菜及び家庭で餘つた蔬菜を學校に集めて、之を索道で奈良市に送り、着けば之を縣農會の依託販賣所に送つて貰ふやうにして、共同販賣を初めたのであるが、これが動機となつて今日では野菜の共同販賣が、山の中で出來るやうになつてゐる。

また廣島縣御調郡向島西村の補習學校に於ては、桑園で桑の葉を十分取ると同時に、何とか利用したいと云ふ所から、専任教員藤田君が、さふらの栽培を指導獎勵し、秋九月頃に、球根を桑樹の間に植付け、今日では一反歩から五十圓程のさふらんが取れるやうになつて居るが、以前は、これが販賣は仲買人に任して置いたが、仲買人に其の利益を壟斷されるので、今日では、學校が世話をして共同販賣を爲すやうにして居る。この村の隣村の向島東村に於ては、産業組合と聯絡を取つて、肥料の購入配合の共同經營をしてゐる。この村の補習學校に、農業専任の教員木曾君がその

村に赴任して、村の調査をしたら、第一に肥料の改善が必要であると云ふことが分つたので、之が改善を一の目標とし、産業組合と相談をして、組合の方で原料を買入れることとし、補習學校の生徒に、それぞれの作物作物に付、その肥料の配合を研究せしめた後、産業組合の事務所の庭に行つて、生徒をして之を配合せしめ、之を家庭に使用せしむるやうにしたのである。而してこの向島と云ふ所は、尾道市の向ひにある島であつて、尾道市内とも言ふべき程の所で、渡錢を一錢出すと直ぐさま尾道市に行ける、その船も一分間か二分間で渡れると云ふ便利の所であるので、從來は金肥は全部尾道市から買ひ入れて居つた村である。所が今日では村の農家は、全部の肥料を産業組合の方から買ふやうになつた。尤も生徒の家庭中には、その配合法を知つてゐるので、原料を組合より買入れて、自家で配合してゐるものもある。かやうになつたので、今日はどの位購入して居るかといふと、その組合で年に一萬五六千俵の肥料の共同購入をして居る。約半分は原料のまま、他の半分は配合して賣つてゐる。其の配合したものは從來のやうな配合肥料を購入するよりは、一畝に付て六七十錢の利益があるのである。その村の村長は専任教員を置く時に、村會議員などが反對したので、それでは僕の報酬を寄附するからと言つて、やつと賛成さしたが、今日

では肥料一つでも、この村では一萬圓の金を儲けて居ると言つて、村長は大喜びで大威張であつた。

愛知縣西春日井郡西春實業補習學校では、専任教員篠田氏が赴任してより、村の農業調査をなしたる上、家庭實習として個別的に試作田を設けしめたる外、耕種組合、蔬菜栽培の研究を主とする、花卉副業組合、養鶏組合を作りて、生徒は一組合又は二組合に加入し、卒業生の熱心なものも之に入り、名古屋郊外の農村としての農業の研究に努め、次第に成績を擧げつつある。其の他、靜岡縣磐田郡三川村の補習學校の部落實習の共同蔬菜園及び蔬菜市場の經營の如き、同縣濱名郡赤佐村の補習學校の生花原料の共同販賣、青森縣南津輕郡長峰村補習學校の兔の皮の共同販賣、前節に述べた板城村の補習學校の部落實習の共同經營の如き例を擧ぐると、際限がないやうに思はれるが、農會或は産業組合等と聯合して、この共同經營を行ふやうにし、或は農會、産業組合等にて行ふて貰ふやうにし、或は初めは共同經營のことゝを世話するも、後には獨立して之を行はしむるやうに指導する等、今日の地方の状況に鑑みて大に之に力を致さねばならぬ。殊に農村には生産物の販賣に關しての組織が極めて發達して居らぬのであるから、家庭實習又は部落實習より指導して、

共同販賣の途を發達せしむるやうに指導せねばならぬ。この共同販賣の途をうまく指導することが出來得られるなれば、これに依つて、農村に新たな産物が殖えて行くのである。副業が地方に餘り發達せぬのは、要する所その販路がうまく出來てゐないからである。故に實業補習學校に於ては、この點に着眼して家庭部落に於ける實習の指導が、共同經營的に進歩發展するやうに導いて戴きたいのである。

第二 其の他實業科の實習

農業科以外の實業科の實習も、農業科の實習に於けるやうに、實習教授要目細目及び實習曆等を作製すべきは勿論、その他の事項に關しても、農業科に説いた事項で應用し得らるべき事項は、之に準じて行はしむべきは云ふまでもない。故に農業科に説いたやうなことは、之を略し、參考となるやうなことを簡単に述ぶることにする。

一 水産科の實習

水産科の實習は、農業科の實習指導より一層困難の事情が多いやうである。これが發達を期するには、一に水産科教員の熱誠にまたねばならぬ。かかる熱誠の教員

ありて、初めて其の實を擧ぐることが出來るのである。

最近秋田縣に行き、由利郡平澤實業補習學校にて、水産科の狀況を見たが、大正十一年に水産科を設け専任教員をおき、現在の菊池君が此の時に専任教員となつたのであるが、漁業組合の技手を兼ね、組合の事業を指導し、地方に鮫類の多いので、組合に機械を買入れ、蒲鉾製造を初めたところ、非常に有利であり、これが動機で、其他の製造業も發展し、漁撈も従ひて有利となり、製造場數棟を建設するまでに進み、其の一棟の二階は水産補習學校の教場に充つるやうになり、生徒も、階下の製造場に於て實習をなし得るやうになり、今日は左の施設をなし得るまでに進んで居る有望の學校である。

秋田縣由利郡平澤實業補習學校水産科施設一覽 (昭和三年度)

月別	施設		
	上旬	中旬	下旬
四月		稚貝放養	
五月	○養鱈實習	魚粕魚油製造改良實習	魚油検査實驗 鰹節製造實習
六月	○鯖罐詰實習	鯖生利節製造實習	各種魚類味淋漬製造實習

月別	施 設 種 目		
	上 旬	中 旬	下 旬
七 月	(海苔)築磯作業	○機關部講習會	○船舶速力検査
八 月	石花菜改良晒方實習		
九 月	小鯉節製造實習		
十 月	○製品試食會	船舶測定實習	
十一 月	編網及び製釣實習		
十二 月			
一 月	漁業日誌配付	甲板部講習會	○漁具模型製作
二 月		船玉祭講演娛樂會	竹輪製造實習
三 月	○貯蓄及び禁酒に關する講演會	漁業組合總會及び總代會	

〔附記〕表中○印を附したるは本年新に施設せんとするもの、右の外に左記のものを適當なる時期に行ふ。

漁撈研究會 競技會 標本類製作

福島縣石城郡江名濱の補習學校も、漁業組合と兼ねて専任教員をおいてから、蒲鉾其の他の水産製造が急に發達し、今年年額百萬圓を超える狀況となり、生徒及び青年の水産實習の指導が、相當によく行はれてる學校である。

茨城縣久慈郡久慈水産公民學校は、専任教員山形君が熱心に努力し、當業者漁業組合等の後援の下に、當業者の工場を利用し、且つ縣水産試験場の器具機械を使用して、底魚利用實習及び罐詰製造の實習をなし、成績を相應に擧げてる。

愛知縣知多郡横須賀實業補習學校の水産科では、漁船と發動機船とを有し、水産専任教員は漁業部落に住居し、其の住家を水産科生の教場に宛て、漁業組合當業者とも連絡をとりて、各種の實習を指導してゐる。

兵庫縣城崎郡香住實業補習學校の水産科も、漁撈製造の設備を有して實習を指導し、範を當業者に示してゐる。

尙外にもかやうな學校はあることと思ふが、私の見聞したことのあつる學校を列擧して、水産補習教育關係者の研究の參考とする。

二 工業科の實習

工業補習學校には、通年常設の部のある學校は少くない。かかる學校には、工場を持ちて實習に力を入れてゐる。最近視察した、福岡縣三潞郡大川商工學校、山形市立實業補習學校の如きは、何れもかかる學校で、家具の製作に力を入れ、相應の成績を擧げてゐる。

夜學では東京市立の第二實業學校のペンキ科、自動車科、自轉車科、製圖科の實習、同第四實業學校の印刷科及び製圖科の實習、淺草工業專修學校の機械仕上其の他の實習等は、見たことがあるが、工業補習學校は出来る丈實習を課する工夫をして欲しい。

三 商業科實踐

商業科の實踐は、農業水産工業などとは趣きを異にしてるので、學校に於て工夫をなせば、何處の補習學校でも課し得らるることと思はれる。ただここに注意することは、其の學校に來る生徒に對して、適切なる實習になり得るやうにせられたいことである。

第三 家事科の實習

家事科を課して居る學校であれば、家事科の實習を課して居ない學校はないといふ程に、廣く實習を課して居るが、併し此の科に重きを置いて、設備の充實を圖り、實習に力を入れて居る學校は割合に少いやうである。本科は既に述べたやうに、婦人に採りては最も大切な學科であり、主婦たる性格を陶冶し、家庭の生活を改善し、生活の

趣味を向上する上にとりてもまた最も大切な學科と思ふ次第であるから、これが設備を整へ、本科に關する各種の實習をなし得らるるやうにして欲しい。實習の設備がないとしても、學校に於てなし得らるる丈の實習は努めて之を課するやうに工夫し、尙家庭に於てもなさしむるやうに工夫して欲しい。

第十一章 實業補習學校訓練の徹底

第一 訓練の目標を如何に定むべきか

實業補習教育の主眼點は、市町村自治民としての人格の陶冶にあることは、第二章に於て詳論した通りである。故に訓練の目標を定むるに就いても、この主眼點を達するやうにするに外ならない。即ち我が市町村制のよりに來りたる根源と、我が立憲政治の特質とを明かにし、以て我が國體の精華を眞に覺らしめ、以て愛郷愛國の精神を涵養し、自治共同の精神の養成に努め、健全なる國民善良なる公民たらしむるに在るのである。されば、農村の實業補習學校であれば、左の三項を訓練の目標としてよろしいと思ふ。

- 一、愛郷愛國の精神の涵養
- 二、農村生活を愛好する精神の自覚
- 三、自治協同の精神の養成

次に示したものは、東京府農業補習教育研究會に於ける答申であるが、掲げて參考の一端に供する。

協議題
農村愛護の精神を一層強からしむるため農業補習教育上特に留意すべき事項如何

答申

農村愛護の精神を涵養するには幾多其の方策あるべしと雖も、先づ郷土を理解し舊來の陋習を打破し、農業經營を時勢に適する様に改善し、進んで農村文化の向上に努め、尙方今都會に憧憬せんとする農村青年をして、農村生活に對する正しき人生觀を體得せしめ、着實温健なる思想を養ふを以て急務とす。

之が達成には農業補習教育上左の諸點に留意するを緊要と認む。

- (一) 農業補習教育上
 - 一、施設經營に關して
時勢の進運に伴ひ、農村の現状と農村青年の心理とに鑑

みて施設經營をなすこと。

- 1. 農村調査を行ひ農村計劃及び農業經營を指導すること。
- 2. 各種團體と一層密接の聯絡協調を講じ以て自己町村の理解を徹底せしめること。
- 3. 一層設備の完成を期すること。
- 4. 尙以上の外、第一回農業補習教育研究會に於ける農業補習學校の組織及び經營標準案を參照して施設すること。

二、教授訓練に關して

- 農村生活に立脚して適當なる教授訓練を施すこと。
- 1. 農業科は其の町村の現状を出發點とし、之が改善向上に貢獻する様適切なる指導をなすこと。
- 2. 公民科は現代社會を正しく理解し、農村生活を樂しむ人生觀を得しめ、以て職業に奮勵努力する信念を養ふ

四、教員に關して

- 1. 補習學校教員は農村愛護の第一人者にして、農村教育者として強き信念を有すること。
- 2. 農業教師のため住居を與へて其の町村に居住せしめ、農村計劃農業經營等を指導せしむること。

(二) 制度上

以上の如く補習教育を實施するには制度上左記の改正を必要と認む。

- 一、國庫及び府の補助を増額すること。
- 1. 設備に對する補助。
- 2. 教員俸給に對する補助。
- 二、實業指導機關を設置すること。
- (三) 教員養成機關の完備充實
 - 一、設備を完備し専任教員を置くこと。
 - 二、附屬農業補習學校を設置すること。

こと。

特に訓練を重んじ機會ある毎に之を行ふこと。

- 3. 普通學科は其の内容に於て常に公民科職業科を中心として農村文化の向上に努むること。
- 4. 實驗實習は生徒の生活體驗に訴へ、以て技術を練磨し農村愛護の精神を體得せしむること。

三、女子補習教育に關して

- 以上の外女子補習教育には、特に左の事項に留意すること。
- 1. 婦徳の涵養につとめ、農村生活を樂しむ精神を養ふこと。
- 2. 農家の家政に長ぜしめ、農家經濟を合理的ならしむるため、農業に關する智識を收得せしめ、之を日常生活に應用し、以て生活の安定を期する實力を養ふこと。
- 3. 農家の生活を改善し、能率増進を圖るため、特に現在の主婦に對して適當なる教育を施すこと。

第二 校風の發揚と訓練

學校は、家庭よりは進んだ小社會であり、教授訓練が積極的に行はれ、直接間接に訓練の行れてる所である。されば學校に於ては、積極的には、進んで學校生活を共同

生活體としての訓練上より考へて施設をなし、これによりて良き校風を馴致するやうに努め、消極的には、この良校風によりて知らず知らずの間の薰化によりて、良き性格を陶冶するやうに致したいものである。されど油斷すると、惡風も浸潤し來る次第故、常に注意を怠らないやうにせねばならぬ。これが爲めには、教師は至誠以て事に當らねばならぬ。一端良校風が作られると、其處に學んだ生徒は、其の良風に化され、其の學校といふ團體の一員として、其の學風を維持し發揚せしむる責務を有することを自覺し、愛校心、犠牲心、同窓に對する同情心、共同心、相互扶助等の精神は、自ら養はれ、自ら訓練される次第である。されば訓練としては、良校風を作る施設に骨折ることが大切である。

次に、學校に於ける訓練上の施設の二三を參考までに述べることにする。

一 學校生活の自治的施設

青年時代は、干渉壓迫を嫌ひ、自治自立を望む時代である。されば學校生活を自治的生活に施設し、青年團、女子青年團と連絡し、就學出席に關することより、學校内の整理に關すること、品評會、運動會、講演會等に關する催す事に關すること、に到るまで、生徒を適當に指導し、自治的に之をなさしむるやうにすることが、訓練の施設と

して第一にとるべきことと思ふ。この施設は既に多くの實業補習學校に於て、採用して居り、何れに於ても良い成績を收めてるのである。

二 實習と訓練

學校に於ける實習、家庭に於ける實習、部落に於ける實習、これは單に實習をなさしめるといふ意味に止めず、又生徒訓練の施設として行はしむるやうに致したいのである。

見學の如きも、訓練を一の目的として行ふ方がよい。生徒には視察要項を與へおき、尙見學せしむべき、篤農家の家庭、臺所改善した家庭、宅地整理した農家、模範の組合、模範の青年團、處女會、優良補習學校等には、豫めそれぞれ依頼しおき、生徒が行つた時には、それぞれ適切なる話をして貰ふやうにし、且つ家庭の狀況等を見せて貰ふやうにすると、多感多情、感奮興起し易い時代の青年にとつては、非常に有効なのである。學校にて行ふ實習見學等は、是非訓練を主として行ふやうにして欲しい。

三 生徒の團體の助成

學校には、生徒に依つて組織されてる種々の團體がある。特に神戸市の實業補習學校には、生徒の團體の發達した學校が多い。學校の授業が終つた後に、修養會とか

文學會(歌、文章等の會合)とか、謠の會とか、武道部の會とか、何々といふやうに開會してゐるのを、殆ど毎夜見ることがあり、又は休日に遠足會とか、庭球會とかを催ふしてゐるものがある。これ等の團體は、適當に助成して訓練に資するやうに致したい。

四 生徒の相互の勸奨誘掖

青年時代になると、教師と生徒との間に行はれる感化に劣らずに、青年相互の感化も少くない力を有してゐるのであるから、學校に於ては、よく生徒相互の勸奨誘掖に關する注意をなし、御互に良感化を受くるやうに注意することを忽にすることが出來ない。これが爲には、學校に於ては、中堅となるべき生徒を見出しおき、校長及び教員は特にそれ等の生徒に接觸し、之を善導して中堅の任に當らしむるやうに努めしめ、卒先して生徒の團體のことに當らしめ、或は學校にて催す事業の援助に當らしめ、農村の補習學校であれば、部落實習地の主任又は役員たらしめ、家庭實習に於ける特別の研究に任せしめ、或は部落毎に自學自修團を作らしめ、或は家庭實習の實習團を作らしめ、或は早起會、讀書會等の修養團を作らしめて、互に勸奨誘掖に努めしむる等、訓練上施設すべきことが多い。

五 訪問

農業補習學校に於ては、家庭實習を課してゐるので、其の實習を指導するために、農業教員は時々家庭を訪問してゐるのであるが、其の他の教員にありても、家庭訪問をなし、また他の補習學校に在りても、教師は時々家庭訪問をして、生徒の家庭に於ける動靜を尋ね、家庭に於ける生活を指導し、獎勵を加へる事は、訓練上また有効のことと思ふのである。

模範家庭篤農家等のところに、學校より見學に行くことに就いては既に述べておいたが、生徒自身にもまたこれ等の家庭を訪問せしめて、指導を受けしむることが、青年生徒の修養上効果が多いことと思ふ。

六 社會奉仕的施設

その地方に適切なる社會奉仕的作業事業等を調査し、青年生徒が之を喜んで行ふやうに致させたい。之に就いては、次節に述ぶる家庭の整理改善及び地方改善の施設等と相俟ちて、適當に指導せらるるやうに致されたい。

第三 家庭の整理改善の助成

家庭は社會の基礎であつて、一小社會をなしてゐるのであるから、訓練の基礎は、全

く家庭にあるのである。我が國の武士道は、武士が母の懷に在りて養はれたとのことであるが、如何にも其の通りであつて、家庭に於ける教育、感化が、子弟の一生を左右するものである。されば出来る丈良い家庭たらしむるやうに、家庭の教育を進むることが大切である。元來兒童少年は模倣性に富み、暗示を受け易く、知らず知らずの間に性格は陶冶されるものであるから、良い家庭たるやうにすることが大切な譯であつて、之が爲には、學校に於て是等の點に關して教授をなすばかりでなく、學校は進んで、戸主會、婦人會、青年團、女子青年團、其の他各種の修養團體の發達を促すやうに努むる外、特に部落を單位とせる組合の發達を促し、部落に於ける生活改善の申合せをなさしめるやうに導き、其の部落に於ける相互扶助心により、その部落の生活改善を進め、家庭の整理改善をなさしめ、形式に於ても精神に於ても美化したる部落を出現するやうに致したい。先年鹿兒島、熊本の兩縣に行つたが、兩縣の補習學校が、臺所改善、住宅整理、部落の開發といふことにまで骨折つてゐるのを見て愉快に感じて歸つた次第だが、その狀況の一端は後に示すことにする。

第四 地方改善と學校の協力

地方社會は、生徒及び青年が、生れてより死に至るまで生活して居るところであり、生徒及び青年は絶えずこの社會の影響を受けるのである。これは恰も作物が風雨寒暑の氣候を、苗床と本圃とを問はずに、絶えず其の作用を受けてるやうなものである。随つて社會の影響は、訓練上偉大の關係があるのである。社會が善良の社會であれば、其の不良な影響を受くるのである。然るに、社會は社會により、また新聞雜誌等により、地方にまで種々の影響を及ぼし、極めて順良な地方にも種々の影響を與へてるのである。されば教師は、常に社會全般の情勢に注意して、生徒青年の思想の善導に努め、殊に新聞雜誌等の記事に就いては、人により意見を異にして居り、殊に新聞は記事の新らしきを競ふるので、事實を十分に調査することなくして掲ぐることある故、往々にして事實に反する記事あり、中には、殊更に人心を攪亂し動搖せしめやうとするやうな記事もあるのであるから、教師は適當な批判を與へ、また讀書に對しても、種々の刊行物のある世なれば、特に深甚の注意を拂ひて、これを指導することに努め、尙進んでは、其の地方の美風良俗を維持するやうに努むると同時に、積極的には、町村役場、農會組合等と聯合して、地方改善の方針を確立し、また前節

に述べたやうに、戸主會、婦人會、青年團、女子青年團、其の他の修養團體の發達に助成し、また學校は農會、産業組合、農事組合等の事業に参加協力し、以て地方改善に努め、また地方開發のために、地方成人に對する講習會、講演會等を催ふすなど、學校が地方文化の中心となるやうに活動せねばならぬ。これ等の運動を學校がなすに當りては、生徒青年に對しても、その分に應じて之に協力せしむるやうに導き、以て地方文化の開發に貢獻せしむるやうに努めしめ、我等の町村をよりよき町村たらしめるやうにし、以て愛郷愛國の精神を涵養せねばならぬ。

地方文化の中心 鹿兒島、熊本兩縣の實業補習教育

一 五月上旬より中旬にかけて、熊本、鹿兒島の兩縣に出張し、鹿兒島縣では、揖宿郡の池田、川邊郡の枕崎、同郡津貫、日置郡の伊集院、出水郡出水の五實業補習學校、熊本縣では、飽託郡の健軍、球磨郡の多良木、同郡黒肥地、上益城郡の廣安、同郡飯野、鹿本郡の山本、玉名郡大原の七農業補習學校とを視察し、尙他校の様子をも探つて見たが兩縣の農村に於ける實業補習學校は、單に生徒の教育をしてるばかりではなく、社會教育にまで及び、教育、自治、産業の開發に努め、所謂實業補習學校が中心となつて、地方文化の向上を圖つて

る。即ち學校内に於ける生徒の教授訓練は勿論、生徒の家庭及び部落に於ける農業實習の指導をなし、地方産業の發達を圖つてのみならず、文庫の設置、青年團處女會の指導、講習會、講話會等の開催、揭示印刷物等による教育、家庭の生活改善、宅地整理等の指導、各部落に於ける小組合（又農事改良組合、農事實行組合、農事小組合等の名稱を用ひてゐる）に於ける諸般の施設活動の指導等に至るまでに及んで居る。即ち小組合を單位として、青年處女の修養娛樂、文化の開發、農事改良各種の共同經營、生活改善等に關する事項等を指導し、所によると、小組合を單位としたる會堂の

設けありて、これ等諸般の活動の便を圖つてゐるところもある。これを視察した學校に就いて述べて見ると、池田校では生徒家庭實習地、小組合の會堂、部落整理、臺所の改善、津貫校では、共同實習地、住宅の改良、出水校では生徒の家庭實習、婦人會の共同實習地、一部部落の住宅の整理、健軍校では、男生徒及び女生徒の部落實習地、同家庭實習地、住宅の整理、臺所の改善、部落の共同整理及び會堂、大原校では神社の境内に於ける部落の會堂、部落實習地、宅地の清潔整頓、廣安校では臺所改善、家庭實習地等を視察し、着々其の實績が現れ、家庭の生活は改善され、住み心地よき農村となりつつあるを見たのである。かく農村生活の向上を促し農村の美化しつつあるを見て、衷心より喜んだ次第である。

二

農村の青年子女の内には、農村生活を喜ばぬ風がある。農村は左様に生活上嫌ふべきところであるか、都人士が生活上の理想とするところは、富の裕かなるものは、海岸に山間に丘陵に河邊にと、田舎の土地を求めて家を作り、土曜日曜日と出かけ、或は夏休冬休に行つて住ふことである。かやうに別荘を設くることの出來ぬやうな人々は、休日には郊外散歩、遠足をすることを樂みとする。即ち都人士の生活の理想はここにあるのであるが、併しこの田舎氣分を味ふことの出來ぬ生活をしてる都人が尠くないのである。されば農村に生活することが不幸な次第ではないのである。ただ今日の我が國

の農村生活は、まだ向上して居ないので、青年子女の喜ばぬところとなつてゐるのである。試に農家の住宅を見ると、光線の入るところ少く陰氣であり、不潔不整頓は農家の常なるが如き風があり、庭園も手入行届かざるところ多く、社交的施設も發達せず、娛樂も少くさびしい所であり、社會の進んだ話も聞く機會も乏しく、味噌をなめ澤庵漬を嗜つてゐる生活である。かやうな次第であるから、都人士から見ると理想的の土地としての農村に生活してゐるとしても、有り難さを知ることは出來ないのである。かかる生活をしてゐるからして却つて都人士の輕蔑を受くるのである。都會の表面の花やかさを慕ふやうになるのである。そこで、地方の民衆の教育では、時勢に遅れぬ見識を養ふが爲めの教育の必要があり、彼等の家庭生活を満足せしむる爲めに、住宅改善整理の指導、各種野菜の栽培及び料理の指導、養鶏養豚及び其の利用の指導、其の他服裝容儀に對する指導をなすと共に、其の經濟生活を満足せしむる爲めに、職業上にも共同經營的指導等の必要があり、尙彼等の社交心を満足せしめ、娛樂を興へ、農村生活がさびしい所でないやうにする爲めに、俱樂部的會堂或は會場を設けしむるやうに指導するの要がある。

農村に於ける民衆の教育をなすに於て、かやうに着眼し、彼等の見識を高めしめ、彼等の生活を向上せしめて其の社交心を満足せしむる丈の餘裕あらしめ、共に樂み共に遊び共に修養するの機會を與ふることが出来るやうになれば、農村生

活が必ずしも嫌なところではなくなり、樂しき住心地よき農村として、其の生活に満足し、其の業に勤しむやうになり、平和なる樂しき農村を建設することが出来やう。かくして初めて都人士より羨まれ、輕蔑されることはなくなると思ふ次第であつて、實業補習教育の主眼點も、ここにあることと信ずるのであるが、兩縣の實業補習教育が、明かに、ここに着眼して歩を進め、既に其の曙光を認むるやうな感があつたので、特に所感を述べたのである。

三

兩縣の實業補習教育は、以上述べたやうに、地方文化の中心となるやうに、社會教育にまで及んでるので、實業補習教育と青年訓練とは極めて圓滑に實行されてる。實業補習教育と青年訓練とは、共に青年教育の機關であつて、其の本旨とするところ、共に國民公民としての素質の向上にあるので、規程の運用よろしきを得れば、更に問題とすべきところはないのに拘らず、兎角兩者の間に於て圓滑を缺き居る地方が尠くない。然るに兩縣に於ては、實業補習學校に、其の市町村の在任青年の多數が就學し居る場合には、青年訓練を充當せしむるやうにし、その未だ實業補習教育の充實せざるところのみ訓練所を設けしむるやうに指導し、力めて實業補習教育の振興を圖り、なるべく早く青年訓練をも併せ行ふことが

出来るやうに進め、以て充實したる青年教育を行ふやうに獎勵してゐる。かやうな次第であるから、兩者の間は極めて圓滑に實行され、兩者の成績は何れも良好である。これ兩縣青年教育のために賀すべきことと信ずるのである。

四

兩縣の青年教育が、かやうに都合よく發達しつつあるのは、兩縣の地方に於ける社會教育は、實業補習學校を中心として行ふやうにしてゐるためである。既に述べたやうに、地方の文化は實業補習學校を中心として開展されるやうに、社會教育關係者が努力してゐるからである。即ち鹿兒島縣では、縣に社會教育主事と主事補二人をおき、地方の各郡には、郡教育會の方に少からぬ縣費を補助して、郡社會教育主事を置き、第一流の小學校長或は社會教育に興味を有してゐる適任者を抜擢してこれに當らしむるやうにし、熊本縣では、縣に社會教育主事の外に、社會教育主事補二郡に付一名づつの割合に置き、受持を定めて指導獎勵の任に當らしめ、主ら實業補習教育の振興を圖ると共に、社會教育發達の指導に任せしめ、統一ある指導獎勵をしてゐるのである。兩縣の實業補習教育が、共に地方文化の中心となりつつある主なる原因は此の點にあることと信ずるのである。(昭和二、六、一〇)

第十二章 實業補習學校設備の充實

第一 獨立校舎の學校か併設校か

實業補習學校は、獨立校舎の學校を主とすべきか、併設校を主とすべきかといふに、理想としては獨立校舎の學校を望むべきであるが、今日の實情より論せば、併設校を主として設置せなければならぬことと思ふ。

今日獨立校舎を有してゐる町村の多いのは、鹿兒島縣であるが、同縣の町村は、他府縣の數町村に相當する町村であつて、戸數三四千戸ある町村は珍らしくはない。かかる町村であるので、從來小學校本位に數校あつた補習學校を、一校にまとめ、村の真中に獨立の校舎を設け、大抵一週一日の晝間教育の學校にし、月曜は前期生、火曜は後期一年、水曜は後期二年、木曜は家庭實習指導日、金曜は後期三年、高等一年、土曜は高等科二、三年といふやうに教授し、青年訓練まで充用してゐるのが多い。かく統一するやうになつたのは、實業補習教育の徹底といふ點よりも來てゐるけれども、他の一因は、小學校本位に補習教育、社會教育を發達せしめて行く間に、大町村であるた

め町村分離運動の兆して來たところあり、町村としての精神統一の機關を要するのを認めたので、獨立校舎を設け、町村自治心の統一機關たらしめるためにしたのであるとの話も聞いたのである。また氣候が暖かで仕事の分配が寒地のやうに多忙の時期が一時に來ないので、晝間一日の學校とし易いのである。かかる事情のところでは、もとより獨立校舎を設けることが適切であると思ふが、かかる學校に於ても、生徒教養上出来る丈完備した設備の充實を望む次第である。

數箇町村の組合立の實業補習學校は、獨立校舎を有してゐることは勿論だが、既に第三章に述べたやうに、實業補習教育機關としての任務に反せざるやうに、其の學校組織に注意して、其の組合町村内在住青年子女全部の教育に當り、以てその設備の充實をはかるべきは勿論である。

都市で、獨立校舎を有してゐる補習學校は、私の知つてゐるのは、横濱、下關、門司等に數校あるのみであるが、將來義務教育にでもなり、一週一日の學校にでもなるやうになれば、都市に於ては、是非獨立校舎を設け、實習の設備を充實し、以て斯教育の徹底を期するやうにせねばならぬことと思ふ。現在のやうに夜學本位の學校であつては、獨立校舎のことは第二として、都市に設立されてゐる各種の中等學校の校舎及び

其他設備を利用することに努め、尙小學校等に併設したるものに對しては、少くも次に述べるやうな、専用の諸室を設けるやうに致されたいものである。

第二 専用の建物及び諸室等

併設校に於ては、都市農村を通じて設備を希望するは、専用の教員室と、特別の實驗室、作業室等とである。尙晝間教授の補習學校であれば、これに相當の専用教室を設備するやうに致されたいものである。尙農村及び漁村の補習學校に在りて、其の實習の設備が、小學校に設備せるもの、補習學校の生徒を指導する上にとりて不十分なるときは、補習學校の方に於て、必要な建物及び實習上の設備を要する次第であるが、今日は小學校の設備も不十分であるから共に之が充實を期せねばならぬ。

第三 教授上の備品

教授上の備品に就いても、學科の教授及び實驗實習に要する設備は、眞に入用のものは、是非なすやうに致したい。

農村の補習學校では實驗の設備を缺いてるものがあるが、學理の理解を得る上に必要の事であるから是非設備して欲しい。また裁縫手藝等の標本のなきもの、又はあつても所謂標本であつて二分一とか四分一とか、小さいものを作つてる學校が多いが、その主要な標本に在りては半身にてよろしき故、實物大のものを標本とし、生徒には自由にその標本を見せしめて、實物を見て自得せしむるやうに致したい。これは私が香川に居た時の經驗で必要を感じてゐるのである。

其の他教授上の標本、掛圖等の備品に在りては、學校にて設備充實に努むることは勿論だが、また教師の努力にて、相應に設備することが出来ることと信ずる。嘗て兵庫縣氷上郡柏原町の崇高實業補習學校に行つて見たのであるが、この學校は、牛まで飼ひ居り、設備も相應によりしく、農業科の教室もありますが、其の教室に入りて見ると、窓の高さに教室の三方のところに棚が拵へてあつて、肥料の標本とか、種物、繭、絲、昆蟲の標本などが澤山並んであるが、これ等は、皆專任の先生が主として生徒と共に拵へたのである。その入物を見ると、色々の壘が集つて居る。香水の壘もあれば、白粉の壘もあり、油の壘もある。或は齒磨粉入もあると云ふ譯で、生徒の家庭に於て廢物になつた物を、生徒に持つて來さして、それを宜く洗つて、その中にちやん

と標本を入れて居るのである。それを見て私は非常に感心した。成程これだ、是でこそ本當の教育が出来る。私共は農學校の校長を長い間やつて居たが、色々の標本を入れる爲に高價な壘を買つて、それに標本を入れ、展覽會とかの時にも出品して、農家の人々に見せたけれども、誰も感心したやうな顔附をした人がない。あれを香水壘とか油壘とかに入れて千も二千を集めて見せたら、どうも偉い、ああ云ふ風にやつて居る、感心であると思ふて見たであらうと思ふた。私はそこで補習學校の教員の方に、戲談のやうであるが、金のないのが仕合せだと言つて居る。金がないからさう云ふ風に努力するのであると、非常に感心したのである。何卒、設備などに付ても、この學校には金がないからなどと云ふことを言はずに、自分の工夫で出来ることが相當にあるのであるから、自分の工夫で之を作り又は蒐集するやうに骨を折つて戴きたいのである。

また、最近に福岡縣に行き、宗像郡田島村、神興村、田川郡安真木村の三實業補習學校を見たのであるが、この三校に行き感じたことは、教授上の掛圖の教師の作つたものが、何百枚とあるのである。また集めてる標本も少くない。よくもかく書かれたものである。よくもかく集められたものであると、これを見た丈でも、私はこれ等の

学校の校長及び職員に對して敬意を拂つたのである。かかる次第であるから、外の學校でも、教員の努力で或る程度までは、教授上の備品は充實することが出来ることと思ふ。

第四 文庫、武道及びクラブ的の施設

實業補習學校には、青年の讀物として適切な圖書、雜誌、新聞を備付け、青年をして自由に讀ましむるやうにして、讀書に對する趣味を助成すると共に、其の讀書心を満足せしめ、猶自學自習の研究をなさしむるやうに指導して欲しい。

かく文庫を設けて讀書に親しむ習慣を高むると共に、擊劍、柔道等の設備をなして心身を鍛錬せしめ、尙砲丸、圓盤、テニス、鐵棒等の運動用具を設備し、且つ碁將棋等の娛樂用具をも備付けて一種のクラブ的の室を設けることが必要と思ふ。かくの如き設備は、讀物に接する機會の少い農村、娛樂的設備に乏しい農村に對して必要なるのみならず、誘惑の多い都市、地方より出て來りて冷き他人の家に居る青年の多い都市に於ても、亦これ等讀書、武道、運動、娛樂を主としたクラブ的の施設は極めて必要のものと思ふ。

香川縣三豊郡笠田の補習學校では、生徒の學習は、學校、圖書館に依りての、個別的指導にまで進んでるのも、この圖書館を設置してある御かげであり、福岡縣の田島校や神興校などの教授が、生徒の自學的的研究を土臺にして進め行くことが出来るやうになつてるのも學校に於ける文庫の充實、各部落に於けるクラブ的施設の青年會館にある文庫の充實してゐるためであり、また青年が如何にも活き活きとして農村生活を喜んでるやうに見えるのは、學校に於ける諸般の指導ももとより力あることながら、またこの文庫、武道、共同作業、娛樂等の設備あるクラブ的の會館に於ける、青年相互の誘接交際が預りて力あることと思ふ。

第五 照明採暖の設備

照明は、近來は電燈になつた所の多いのは詢に喜ばしいことであるが、ただ遺憾なことには、光力の少いことである。大きい室でも小さい室でも、生徒の多い室でも少い室でも、一樣に點燈してゐるものが多いことである。これは電燈を取付けるときに一室何燈といふ風にして取付けた爲と思ふが、併し學校に於ては、室によりて電燈の大小を用ゐるとか、高さを加減するとか、電燈の紐を糸にて引き寄せるとか、同

じ電燈を用ふるとしても工夫をこらせば、尙、明るして勉學せしむることが出來やうと思ふ。少しく工夫して頂きたい。普通の教室で何燭光位が適切かといへば、先づ二百燭光位を標準とすると申されてる。その他出入口、便所等の採光にも注意して欲しい。

ランプに就いても攻究すべきことが多いが、八分芯よりは四分芯の改良ランプを四人に付一個つづ用ひる方がよく、高さも生徒の頭の高さより少し高い方がよく、塗板のところは、教卓にランプをおいて、實驗用の風除のやうなブリキ板を立てて、生徒の方よりランプの見えぬやうにして、下方より反射光線を利用するやうにする。生徒の方よりは、はつきり見えてよろしいから、試して見て頂きたい。

尙寒い地方の補習學校で設備すべきことは、採暖の設備である。併設の學校には設備してあることと思はるるも、念のため一言する次第である。

第六 托兒所の施設

托兒所の施設は、佐渡の金澤校にて初めて見たのであるが、農村の補習學校の施設としては、極めて適切なことと感じたのであつた。農繁休業の頃には、専任の家事

裁縫の女教員及び其の他學校職員の方には餘裕があり、教場も利用し得らるべく、農家にとりては、猫の手も欲しいといふ程多忙を極めてるときのことであるから、稚兒幼童のあるために、勞働を妨げられてるのを助くる爲めの施設としては極めて適切のことと思はる故、一つ工夫して見て頂きたいと思ふ次第である。

第七 實業補習學校設備標準

次に示す一、農業補習學校設備標準は、鹿兒島縣教育調査會に於て調査されたものであり、二の工業補習學校設備標準は、東京市學務局に於て調査されたものであるが、地方の學校の參考とするところ多いと思はれたので、左に録することにした。

一 農業補習學校設備標準

一、教授用設備

(一) 教室

種別	摘要	備考
普通教室	一室 (三〇坪)	合同教授に便し郷土館式の教室とす
家事教室	一室 (二〇坪)	小學校兼用、割烹洗濯に便するもの
圖書兼職員室	一室 (一〇坪)	各教室には電燈の備付けを要す

(二) 教室備品

種別	摘	要	備	考
黑板	三枚		長さ九尺、幅四尺	
教卓	一個		引出付、實驗をなし得る程度の大きさのもの	
机	生徒数に依る		長さ六尺、幅一尺二寸、高さ二尺四寸	
腰掛	生徒数に依る		一人用高さ一尺四寸	
割	八臺		標本用一、書籍用一、家事室用一、生徒用整理戸棚一	
戸棚	四個		高さ幅六尺、深さ一尺五寸	
小黒板	四枚		掲示用、教授用、参考資料貼付用	

(三) 各科に對する設備
(1) 農業科及び理科

種別	摘	要	備	考
作物に關するもの	<p>1. 標本 稻(本縣獎勵品種)、大麥(同上)、小麥(同上)、燕麥、粟(獎勵品種)、稗、蕎麥、大豆(本縣獎勵品種)、小豆、蠶豆、煙草、除蟲菊、草棉、大麻、楮、蘭、杞柳、蓼藍、牧草、其の他</p> <p>2. 掛圖 種子の構造を示すもの。發芽の状態を示すもの。稻麥の花</p>		<p>1. 成るべく教師生徒の作成したるもの</p> <p>2. 標本は其の土地に關係深きものを主とし、根、莖等各部完備したるものを可とす</p> <p>3. 成るべく毎年更新すること</p>	

蔬菜に關するもの

の構造を示すもの。依の編方及び依裝を示すもの。其の他

1. 標本

ダイコン、蕪菁、ニンジン、牛蒡、ツケナ、胡瓜、茄、トマト、葱、葱頭、甘藍、其の他

2. 掛圖

温床の構造を示すもの。軟化室の構造を示すもの。摘心摘芽を示すもの。荷造りの方式を示すもの。其の他

3. 寫眞

青物市場の狀況、蔬菜品評會の狀況、其の他

1. 標本

柑橘、枇杷、梨、柿、其の他

2. 掛圖

接木の種類及び方法を示すもの。果樹の剪定を示すもの。果樹の仕立方を示すもの。挿木及び壓條を示すもの。其の他

1. 標本

菊、百合、コスモス、エゾキク、スキートビー、ヒヤシンス、サイネリヤ、チヌウリツブ、ダリヤ、其の他

2. 掛圖

花壇の様式を示すもの。其の他

1. 標本

ヒメシバ、ヂシバリ、ヒルガホ、ヒエ、エノコログサ、スギナ、タガラシ、アレチノギク、カタバミ、ニシキサウ、スベリヒユ、スイバ、ハ、コグサ、ハコベ、其の他

此の種標本は實習地に播種したる殘品を以て製すること

其の地方に栽培なきものにして有望なるもの

この設備は都市附近に特に必要なり

其の地方にある雜草を採集腊葉すること

雜草に關するもの

花卉に關するもの

果樹に關するもの

病蟲害に關するもの

肥料に關するもの

1. 標本
 - (害蟲)ズイムシ、ウンカ、ヨコバヘ、クサカメムシ、キリウジ、コクゾウ、コメツキムシ、ムギテフ、ヒメコガネ、桑カミキリ、その他
 - (益蟲)シリアゲムシ、ウスバカゲラウ、トンボ、カマキリ、クサカゲラウ、テントウムシ、シホヤアブ、その他
 - (病害)イモチ、麥奴病、瓜類べト病、茄立枯病、葱赤澁病、甘藷黒瘧病、柑橘煤病、同瘡痂病、梨赤星病、その他
2. 掛圖
 - テントウムシの變態を示すもの。ズイムシ、ヨタウムシの生活史を示すもの。
3. 驅除豫防劑
 - 石灰硫黄合劑、銅石鹼液、パリスグリーン、エキゾール、石油乳劑、その他
1. 標本
 - 硫酸アンモニア、智利硝石、石灰窒素、燐礦、硫酸加里、魚肥(各種)、骨粉(各種)、油槽(各種)、綠肥、その他
2. 掛圖
 - 下肥貯藏と窒素の逃散を示すもの。堆肥合及び肥溜の構造を示すもの。肥料の配合を示すもの。その他
3. 標本
 - 碎土、砂土、埴土(粘性、不粘性)、壤土、岩石類
2. 掛圖

1. 其の地方に關係大なるものに就きては成蟲のみならず卵、幼蟲、蛹等其の發生經過を示すに足るものを設備する事
 2. 成るべく教師生徒の作製したるもの
- 其の地方に關係あるものを選択すること

岩石標本は其の地方に關係あるものを採集すること

養蠶に關するもの

畜産に關するもの

養鶏及び養蜂に關するもの

林業に關するもの

- 掛水法を示すもの。土層を示すもの。土中微生物を示すもの。その他
1. 標本
 - 蠶兒(各齡)、繭(本縣獎勵品種)、蛹、蛾、生絲、眞綿、柞蠶絲、天蠶絲、人造絹絲、蠶病模型、各種蠶病病原菌のレバライト、蠶具、桑葉(本縣獎勵品種)
 2. 掛圖
 - 蠶室の構造を示すもの。蠶體解剖圖、人工孵比器及び催青器、消毒用噴霧器、その他
 1. 標本
 - バター、ラード、ヘット、煉乳、粉乳、その他
 2. 掛圖
 - 家畜の品種を示すもの。畜舎の構造を示すもの。その他
 1. 標本
 - 檢卵器、鶏卵(本縣獎勵品種)、蜜蜂(雌雄働蜂)各品種、蜂蜜、蜜蝋、その他
 2. 掛圖
 - 鶏舎の構造、鶏其他家禽の品種、孵卵器及び人工育雛器を示すもの。養蜂東箱の構造を示すもの。その他
 1. 標本
 - (木材)黒マツ、赤マツ、スギ、ヒノキ、トガ、モミ、クス、ケヤキ、シビ、カン、シユロ(各種)、その他
 - (林産物)木炭、椎茸、樟腦

蠶具は改良蠶具とす

其の地方に關係あるものを主とし木材及び枝葉をも備ふること

水産に関するもの	<p>2. 掛圖 造林の様式を示すもの。間伐の方式を示すもの。木炭製造法、樟腦製造法、伐木及び運材法を示すもの。その他</p> <p>1. 標本 漁網模型、釣針各種、鰹節、スルメ、フノリ、乾魚、その他</p> <p>2. 掛圖 漁船構造圖、石油發動機及び蒸汽機關の圖、漁族分布圖、改良漁具類、鰹節製造順序、その他</p>	<p>1. 改良漁具を主とすること 2. 成るべく學校にて作製のこと</p>
農産製造に関するもの	<p>1. 標本 澱粉、蕎麥粉、乾柿、乾葡萄、各種蔬菜切干、甘藷、加工品、漬物類、錠詰、茶、大麻其の他の麻の纖維、砂糖(各種)、その他</p> <p>2. 掛圖 澱粉製法を示すもの。砂糖製法を示すもの。製茶機械を示すもの。その他</p>	
農業手工に関するもの	<p>1. 標本 繩類、藁苞、草履、草鞋、牛沓、苫、鍋敷、麥稈細工、竹細工、金細工、杞柳細工、シユロ細工、經木細工、アケビ細工等</p> <p>2. 掛圖 藁細工製作順序、竹細工製作順序、その他</p>	
農業氣象に関するもの	<p>1. 用具</p>	

の 農具に関するもの 農業經濟に関するもの	<p>寒暖計、乾濕計、雨量計</p> <p>2. 掛圖 天氣豫報及び暴風雨、警報票示、雨量及び其の分配を示すもの。氣温の高低を示すもの。その他</p> <p>1. 掛圖 各種改良農具掛圖、トラクター、ユリチリター掛圖</p>	<p>便宜上公民科設備の欄に廻す</p>
(2) 公民科		
種別 家に關するもの 府縣及び町村に關するもの	<p>摘要</p> <p>一、戸籍に關する届書様式(婚姻届、入夫婚姻届、養子縁組届、出生届、死亡届、隱居届、家督相續届、家督相續人指定届、分家届、住所(居所)寄留届)、死亡埋葬認許證下附申請書、入籍届、氏名變更届</p> <p>二、戸籍謄本、戸籍抄本</p> <p>三、親等一覽表</p> <p>一、掛圖及び標本 縣地圖、町村地圖 町村地目別面積比較圖、民有地々目別反別及地價一覽、土地所有權別一覽、職業別戸數及び人口年齢別人口表、町村人口(男女及び出生、死亡、流入流出増減の各割合を</p>	<p>備考</p>

産業及び經濟に關するもの

示す圖表)

自作及び小作各戸數の割合を示すもの(年度別比較)、耕作及び反別廣狹による農家戸數の割合を示すもの、町村歳入、歳出豫算書同決算書、年度別町村經費一覽、基本財産蓄積狀況、歳入内譯一覽、歳出内譯一覽、本縣財政一覽、村農會歳入歳出豫算書、小學校教育要覽、小學校就學出席の狀況を示す圖表、小學校卒業兒童數年度別一覽、小學校卒業兒童の上級學校へ進む者の割合を示す圖表(年度別)、實業補習學校入學の狀況を示す圖表、選舉投票様式、選舉場圖解

二、統計類

道府縣歳出總額、教育費總額及び教員俸給費總額、公立中等學校市町村公學費及び圖書館費、道路延長直接國稅表、間接國稅表、道府縣歳入出豫算、道府縣稅種別、道府縣雜種稅、外國貿易、內國貿易、各府縣農家戸數、村費、教育費累年統計表

一、證書類雜型

委任狀、印鑑屆、借家屆、借地證書、小作證書、金圓借用證書、受取證、貸借契約證

二、債券及び證券雜型

農工銀行債券、勸業銀行債券、公債證書、株券、生命保險證券、徵兵保險證券、定期預金證書、郵便貯金通帳、銀行預金通帳、小切手、手形、恩給證書、農業金庫證券

國家及び國際に關するもの

社會に關するもの

三、掛圖

教育の程度と勞働能率の關係を示すもの、土地價格の高騰を示すもの(都市附近と農村)、物價指數高低表、簡易保險の概況を示すもの、生命保險其の他保險の概況を示すもの、度量衡表、家計豫算表様式

四、統計類

面積世帯人口及び人口密度、生産額、農家戸數と耕地面積、耕地整理、米の作付反別及び收穫高、麥の作付反別及び收穫高、主要農産物、養蠶及び桑畑、主要水産物、主要工産物、米の用途別消費高、郵便貯金、本村農家生産費統計表、酒、煙草消費統計表、本村農家主要支出入統計表

五、産業組合に關するもの

産業組合臺帳様式、本村産業組合概況、本縣産業組合概況、道府縣別産業組合概況、農業倉庫入庫票

兒童體格検査表、壯丁體格検査成績狀況、町村内傳染病罹病の狀況を示す圖表、病氣の種類別罹病者數、神社の社格一覽、宗派別戸數、宗派一覽表、學校系統圖、婚姻、離婚及び出生死産死亡、人口千に付婚姻離婚出生、死産、死亡、市區の世帯數及び人口、勞働日數、勞働時間、教育の程度と勞働能率、災害防止統計、鐵道事故統計、犯罪者數統計、青年團、處女會概況、小年團概況

我國面積の膨脹を示すもの、列國面積比較、我國の人口、

るもの

列國の人口、我國人口密度、列國人口密度、在外本邦人、在留外國人、列國の婚姻出生死亡、我國の出生率及び死亡率、列國の出生率及び死亡率、我國人口増加率、列國の人口増加率、列國の議員數、列國の選舉有權者、我國の歳入、列國の歳入、我國の歳出、列國の歳出、列國陸軍兵力、國民一萬人に對する陸軍の兵員、國民一人の負擔する軍事費、列國の國富と國民所得、國民貯蓄、我國の國債、列國の國債、一人當國債負擔高、我國の主要生産品(金、銀、銅、鐵、米、小麥、石炭、石油、砂糖、茶、生絲其の他)、列國の主要生産品(同前)、我國の貿易、列國の貿易、我國の相手國別貿易輸出及び輸入額、我國の港別貿易、列國の船舶比較、列國の鐵道比較、我國の鐵道、列國の自動車

二、實驗用設備

(注意) 小學校兼用として、こゝには特に補習學校に必要なもののみを列挙したり

(一) 實驗用器具

種	類	數	種	類	數	種	類	數
試藥	瓶	三〇	湯煎鍋	鍋	一	毒壺	壺	二
漏斗	斗	四	比重計	計	一	保水力試驗器	器	一
漏斗	臺	二	ワグネル氏ポッド	ポッド	一〇	毛細管引力試驗器	器	一

(二) 實驗用藥品

瀝紙	紙	一箱	廓大鏡	鏡	二〇	捕蟲網	網	二
デッキグラス	グラス	三〇	西洋剃刀	刀	一	展翅板	板	一組
オーパーグラス	グラス	五〇	革砥	砥	一	採集箱	箱	二
顯微鏡	鏡	一	解剖器	器	一組	採集箱	箱	三
木栓穿孔器	器	一組	飼育箱	箱	二〇	留針	針	一包
白金線	線	一	昆蟲飼育箱	箱	二	坩堝	坩	二
モリブデン酸アンモニウム	アンモニウム	一オンス	炭酸アンモニウム	アンモニウム	一オンス	鹽化加里	加里	一オンス
ダイフィニルアミン	アミン	同	枸橼酸アンモニウム	アンモニウム	同	硝化加里	加里	同
ネスラー氏試薬	試薬	同	鹽化アンモニウム	アンモニウム	一封度	硝化加里	加里	同
リトマス	マス	同	鹽化バリウム	バリウム	一オンス	硫酸加里	加里	同
ロットセル	セル	同	鹽化カリウム	カリウム	同	硝酸加里	加里	同
ミロン試薬	試薬	同	硫酸加里	加里	同	炭酸カリウム	カリウム	同
硫酸アンモニウム	アンモニウム	一封度	硝酸加里	加里	同	炭酸カルシウム	カルシウム	同
硫酸アンモニウム	アンモニウム	一オンス	硫酸加里	加里	同	炭酸ナトリウム	ナトリウム	同
硝酸アンモニウム	アンモニウム	同	硫酸加里	加里	同	赤血鹽	鹽	同
硝酸アンモニウム	アンモニウム	同	硫酸加里	加里	同	鹽化水銀	水銀	同
硝酸アンモニウム	アンモニウム	同	硫酸加里	加里	同	過酸化水素	水素	同

種類	数量	種類	数量	種類	数量
洗濯用洗面器	五	洗滌用洗面器	八	手洗桶	八
洗濯染色用洗面器	二	洗滌用洗面器	八	手洗桶	八
伸臺	二	伸臺	八	手洗桶	八
摺鉢	八	摺鉢	八	手洗桶	八
摺鉢	八	摺鉢	八	手洗桶	八
鍋	各	鍋	八	手洗桶	八
鍋	各	鍋	八	手洗桶	八
フライパン	三〇對	フライパン	八	手洗桶	八
魚串	八對	魚串	八	手洗桶	八
火箸	八	火箸	八	手洗桶	八
薬	三〇	薬	八	手洗桶	八

二 工業補習學校實業學科設備標準

工業教育に於て各學科の理解を容易にし其の教授の徹底を期するには實驗、實習の設備を必要とす、特に學習上に多くの餘裕を持たざる生徒を收容する補習教育にあつては一層其の緊切なるを認め之を調査したり、然るに本市の經營に係る

補習學校は何れも小學校に併設の現状なるを以て之が設備も小學校の場合を稽へこれに適應する様調査して左の二案を得たり。

第一案

第二案

實驗程度に止むるものにして此の場合に於ては理科教室若くは其の他の特別教室に適當なる設備を施し夜間補習教育に使用し晝間小學校教育に利用せんとするものなり。而して調査の基準は各科に互り最低限度の設備に止めんとし努め之を甲案とし、尙少しく餘裕ある場合には普通程度迄高むるを希望するものにして之を乙案とせり。

實驗設備の他に簡易なる實習設備をなすものにして此の場合に於ては前記教室の他小なるバラック建築をなし或は地下室等を以て實習場に充つるものにして各科實習設備も最少限度に止めんことに努め甲乙二案を計上せり。

科名	第一案		第二案		合計
	甲案	乙案	甲案	乙案	
機械科	七,〇九〇.〇〇	九,一五〇.〇〇	一六,〇五〇.〇〇	三三,〇〇〇.〇〇	三三,〇〇〇.〇〇
電機科	三,〇五八.〇〇	五,四七六.〇〇	一〇,九〇〇.〇〇	二二,〇〇〇.〇〇	二二,〇〇〇.〇〇
建築科	二,一四五.〇〇	三,一一一.〇〇	五,九四〇.〇〇	八,〇八七.〇〇	一〇,八七〇.〇〇
土木科	四,〇四〇.〇〇	五,六七三.〇〇	一〇,〇一三.〇〇	一三,〇〇〇.〇〇	一三,〇〇〇.〇〇
石版印刷科	—	—	—	—	—
活版印刷科	—	—	—	—	—
製圖科	二,一〇三.〇〇	二,一五六.〇〇	六,七四〇.〇〇	二,一〇三.〇〇	二,一〇三.〇〇
合計	一八,四五二.〇〇	二五,五三三.〇〇	五二,六〇〇.〇〇	九七,三三三.〇〇	一三三,九四八.〇〇

第一 機械科

一、機械科教授用實驗設備

(A) 機械學に關するもの	最低限度 一、六二一、〇〇	普通程度 二、四三三、〇〇
(B) 水力學に關するもの	四四、〇〇	七四、五〇
(C) 原動機に關するもの	一、六三三、〇〇	一、七六六、〇〇
(D) 設計製圖に關するもの	二、九一八、〇〇	三、五七〇、三〇
(E) 力學及び材料強弱に關するもの	五〇三、五〇	六二一、五〇
計	七、〇二〇、五〇	九、一四四、一三

二、機械科簡易實習設備

(A) 一學年手仕上實習設備	一、三二七、〇〇	一、五五五、一〇
(B) 二學年工作機械實習設備	一、五三三、〇〇	二、〇〇九、〇〇
(C) 三學年工作機械實習設備	一、六三二、〇〇	二、一六四、〇〇
計	三、四九二、〇〇	三、七二八、一〇

第二 電機科

一、電機科教授用并實驗設備

(A) 弱電流設備	一、〇〇五、〇〇	二、二二五、〇〇
(B) 強電流設備	一、〇〇〇、〇〇	二、五〇〇、〇〇
(C) 照明實驗設備	四四、〇〇	六三三、〇〇
計	三、〇四九、〇〇	五、三五六、〇〇

二、電機科簡易實習設備(一年四十年二年三十名各組循環使用)

最低限度	七、五五〇、〇〇
普通程度	一〇、二四五、〇〇

同上實習工場實驗設備(同上)

最低限度	三、三五六、〇〇	普通程度 五、五三九、〇〇
計	一〇、九六六、〇〇	一五、七四四、〇〇

第三 建築科

一、建築科教授用設備

二、建築科實習用設備

(一學級四十名三四學級共用)

最低限度	二、一四五、〇〇	普通程度 三、一一一、〇〇
計	五、九四三、〇〇	八、八六六、〇〇

第四 土木科

一、土木科教授用兼實習設備(一年四十名二年三十名三四學級共用)

第五 印刷科

最低限度	四、〇一四、〇〇	普通程度 五、六七三、五〇
計	一、一四三、九〇	二、五九一、八〇
計	六、七六六、三〇	八、二六五、三〇
計	一、八一九、三〇	四、八五二、二〇

第六 製圖科設備(各科共用)

最低限度	四、二〇〇、〇〇	普通程度 四、二〇〇、〇〇
計	一、八三三、〇〇	一、八三三、〇〇
計	六、〇三三、〇〇	六、〇三三、〇〇
計	八、一〇〇、〇〇	八、一〇〇、〇〇
計	二、一〇三、〇〇	二、一〇三、〇〇
各科總合計	七、〇一四、〇〇	一三、九四八、〇〇

附錄

機械科の實習を廣汎に互つて爲す場合の參考として附加せり

最低限度	四、四〇〇、〇〇
普通程度	七、七五〇、〇〇

二、鍛工實習
三、鑄工實習

最低限度	四、四〇〇、〇〇	普通程度 五、二一〇、〇〇
計	五、〇五〇、〇〇	六、三三〇、〇〇
計	一三、五五〇、〇〇	一八、〇一〇、〇〇

内 譯

第一、機械科

一、機械科教授用實驗設備

(A) 機械學ニ關スルモノ		案 (最低限度)		案 (普通程度)	
品名	數量	數量	價	數量	價
傘齒車	一	一	一八、〇〇	一	一八、〇〇
ラック及ピニオン	一	一	三三、〇〇	一	三三、〇〇
螺旋嚙合機	一	一	一〇、〇〇	一	一〇、〇〇
ラッチェトギアリング	一	一	三三、〇〇	一	三三、〇〇
補正付ラッチェトホイール	一	一	一〇、〇〇	一	一〇、〇〇
寄セスクリユー模型	一	一	二〇、〇〇	一	二〇、〇〇
ハンヨー氏差動スクリユー	一	一	二八、〇〇	一	二八、〇〇

品名	程 度		案 (最低限度)		案 (普通程度)	
	数量	單 價	數量	單 價	數量	單 價
チャイニスウキンドラス	1	30.00	1	30.00	1	30.00
ツカースドホイールレバリング	1	50.00	1	50.00	1	50.00
モーション	1	110.00	1	110.00	1	110.00
レバリングクラッチ	1	110.00	1	110.00	1	110.00
ベルレバリングモーション	1	80.00	1	80.00	1	80.00
ダブルラックレシプロケーティン	1	50.00	1	50.00	1	50.00
グモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
クイックレタートンモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
マンゲルホイール	1	60.00	1	60.00	1	60.00
トライヤングルカム	1	60.00	1	60.00	1	60.00
グルーブドカムシリンドー	1	60.00	1	60.00	1	60.00
ハートカム	1	60.00	1	60.00	1	60.00
エバン氏ストリートラインモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
ワット氏ストリートラインモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
ハイボサイクロイダルストリート	1	60.00	1	60.00	1	60.00
モーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
エビサイクリックトレイン	1	60.00	1	60.00	1	60.00
スチフェンソン氏リンクモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
ハルドウオースボピンモーション	1	60.00	1	60.00	1	60.00
オルダム氏カップリング	1	60.00	1	60.00	1	60.00

品名	程 度		案 (最低限度)		案 (普通程度)	
	數量	單 價	數量	單 價	數量	單 價
スリークランクカップリング	1	30.00	1	30.00	1	30.00
フレンヂカップリング	1	30.00	1	30.00	1	30.00
フック氏ユニバーサルカップリン	1	50.00	1	50.00	1	50.00
グ	1	50.00	1	50.00	1	50.00
フレッキシブルジョイント	1	50.00	1	50.00	1	50.00
ベルトギアリング	1	50.00	1	50.00	1	50.00
チエーン及チエーンホイール	1	50.00	1	50.00	1	50.00
マルティアルギアリング	1	30.00	1	30.00	1	30.00
デイフェレンシャルギアリング	1	30.00	1	30.00	1	30.00
デイスク及ロー	1	50.00	1	50.00	1	50.00
フォアレバリング	1	50.00	1	50.00	1	50.00
パッドルホキール	1	50.00	1	50.00	1	50.00
フェルグソンバラドックス	1	50.00	1	50.00	1	50.00
ダルトン氏プロー	1	110.00	1	110.00	1	110.00
ルーツ氏プロー	1	110.00	1	110.00	1	110.00
ヨーンブロー	1	30.00	1	30.00	1	30.00
スパーギアリング	1	15.00	1	15.00	1	15.00
マンゲルラック	1	60.00	1	60.00	1	60.00
ハイパーボロイドトランスミッシ	1	150.00	1	150.00	1	150.00
ン	1	100.00	1	100.00	1	100.00
標	1	100.00	1	100.00	1	100.00
小	1	1411.00	1	1411.00	1	1411.00
計	1	1411.00	1	1411.00	1	1411.00
棚	1	1411.00	1	1411.00	1	1411.00

(B) 水力學ニ關スルモノ

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)	
	數量	單價	數量	單價
ブラマ氏水壓機	1	75.00	1	75.00
水通管	1	5.00	1	5.00
比通重計	1	1.00	1	1.00
比比較標本(金屬)	1	1.00	1	1.00
同液體	1	6.00	1	6.00
バカース水車	1	6.00	1	6.00
水車模三	1	15.00	1	15.00
水車種	1	10.00	1	10.00
ベルトン氏水	1	15.00	1	15.00
水力タービン	1	10.00	1	10.00
セントリフューガルポンプ	1	50.00	1	50.00
ロータリーポンプ	1	110.00	1	110.00
自動揚水機	1	10.00	1	10.00
レコードポンプ	1	10.00	1	10.00
水圧計	1	15.00	1	15.00
底本	1	10.00	1	10.00
標本	1	15.00	1	15.00
小計	1	75.00	1	75.00

(C) 原動機ニ關スルモノ

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)	
	數量	單價	數量	單價
フォルチン氏水銀氣壓計	1	10.00	1	10.00
沸騰點試驗器	1	7.50	1	7.50
比熱試驗器	1	7.50	1	7.50
氣壓計	1	7.50	1	7.50
眞空計	1	7.50	1	7.50
蒸氣機關說明器	1	10.00	1	10.00
グリムゼル氏熱ノ仕事當量試驗器	1	10.00	1	10.00
蒸氣機關模型	1	10.00	1	10.00
機關車說明用模型	1	10.00	1	10.00
瓦斯機關說明用模型	1	10.00	1	10.00
ステイムタービン模型	1	10.00	1	10.00
瓦斯發生器模型	1	10.00	1	10.00
小型ガソリン發動機	1	10.00	1	10.00
ピッカリングガバナー	1	10.00	1	10.00
バッファローインデクター	1	10.00	1	10.00
小計	1	10.00	1	10.00

(D) 設計製圖ニ關スルモノ

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)	
	数量	單價	数量	單價
水點試驗器	1	250.00	1	250.00
宮原氏水管式汽鐘截斷模型	1	250.00	1	250.00
スプリング式安全弁	1	80.00	1	80.00
鐵製複式安全弁	1	300.00	1	300.00
ガソリンカブレイター	1	750.00	1	750.00
インヂイケーター	1	150.00	1	150.00
ヤング廻轉計	1	500.00	1	500.00
スタレット廻轉計	1	90.00	1	90.00
標本	1	100.00	1	100.00
小計	16	1660.00	16	1660.00

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)	
	数量	單價	数量	單價
透影畫用說明器	1	50.00	1	50.00
同用双貫體模型	1	50.00	1	50.00
ボルト各種並木製模型(三吋以上)	1	350.00	1	350.00
ナット各種並木製模型(三吋以上)	1	150.00	1	150.00
捻子廻し各種並イギリススパナ	1	5.00	1	10.00
スタット各種	1	5.00	1	5.00
座金(木材用ヲ含ム)各種	1	2.00	1	2.00
ピン各種	1	1.00	1	1.00
ビンジョイント(ナックル)	1	150.00	1	150.00
サッドルキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
サンクキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
フラットキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
ラウンドキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
コーンキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
ウッドラッキイ(並軸)	1	10.00	1	10.00
コッタージョイント	1	150.00	1	150.00
各種リベット模型	1	30.00	1	30.00
各種パイプ標木(ネジ付)	1	10.00	1	10.00
鐵管接手標本	1	350.00	1	350.00
銅管接手標本	1	10.00	1	10.00
パッキン各種	1	5.00	1	5.00

品名	数量	案 (最低限度)		案 (普通程度)	
		単	小計	単	小計
エッグスバンションジョイント	1	50.00	50.00	50.00	50.00
ボックスカップブリング	1	10.00	10.00	10.00	10.00
フレンチカップブリング	1	15.00	15.00	15.00	15.00
フリクションカップブリング	1	10.00	10.00	10.00	10.00
クローカッブリング	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ベルト等ヲ巻キタルカップブリング	1	15.00	15.00	15.00	15.00
横ベアリン	1	10.00	10.00	10.00	10.00
縦ベアリン	1	15.00	15.00	15.00	15.00
押軸承(スラストベリング)	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ベデスタ	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ブラッケット	1	15.00	15.00	15.00	15.00
ハンガ	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ローラーベアリン	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ボールベアリン	1	10.00	10.00	10.00	10.00
軸承金各	1	10.00	10.00	10.00	10.00
給油装置模	1	15.00	15.00	15.00	15.00
商形成説明器	1	15.00	15.00	15.00	15.00

1100

品名	数量	案 (最低限度)		案 (普通程度)	
		単	小計	単	小計
噛合ノ状態ヲ表ス木製模型	1	15.00	15.00	15.00	15.00
スパーギア(インポリユウト)	1	10.00	10.00	10.00	10.00
オーム及オームホイ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
ブーリ(割型)	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ベルト連綴各種	1	15.00	15.00	15.00	15.00
ローブ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
ワイヤーローブ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
鎖各	1	10.00	10.00	10.00	10.00
スプロケットホイ	1	10.00	10.00	10.00	10.00
グランド	1	15.00	15.00	15.00	15.00
スタッフイングボックス	1	10.00	10.00	10.00	10.00
コック各	1	10.00	10.00	10.00	10.00
ストッパ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
コンカルディスクバルブ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
ウオーターゲージ	1	15.00	15.00	15.00	15.00
トラバシシングチャック(八トン)	1	15.00	15.00	15.00	15.00

1101

品名	甲案 (最低限度)		乙案 (普通程度)		備考
	数量	単價	数量	単價	
滑車装置	1	25.00	1	25.00	
輪軸同	1	15.00	1	6.00	
斜面同	1	15.00	1	15.00	
楔同	1	28.00	1	28.00	
螺旋同	1	36.00	1	20.00	
遠心力試験器	1	5.00	1	5.00	
磨擦試験装置	1	18.00	1	18.00	
ジャイロスコープ	1	1.00	1	1.00	
ボルダ氏振り子	1	1.00	1	1.00	
物理學天秤	1	6.00	1	6.00	
材料標本木材	1	15.00	1	15.00	
同金屬	1	5.00	1	5.00	
同其他	1	10.00	1	10.00	
材料試験片各種	1	10.00	1	10.00	
同試験ヲ行ヘル者各種	1	5.00	1	5.00	
同試験機説明圖	1	7.00	1	7.00	
小計	1	50.00	1	62.00	
合計 (實驗用)	1	7,230.50	1	9,154.16	

(E) 力學及ビ材料強弱ニ關スルモノ

品名	甲案 (最低限度)		乙案 (普通程度)		備考
	数量	単價	数量	単價	
慣性試験器	1	25.00	1	5.00	
クレイサント氏力ノ平行四邊形説明器	1	25.00	1	25.00	
複式槓桿裝置 (模型) 桿	1	25.00	1	25.00	
擴大寫眞機	1	500.00	1	500.00	
バンドグラフ	1	50.00	1	35.00	
カリパス (遊尺付)	1	30.00	1	30.00	
實習用工具一揃	2	20.00	2	20.00	
旋盤	2	500.00	2	100.00	
モトル	1	300.00	1	300.00	
標本	1	150.00	1	150.00	
小計	1	2,918.00	1	1,535.00	

(B) 機械科二學年工作機械實習設備 (一學級三十名同上)

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
エンジンレール四呎(英米式)	五呎	二	800.00	二	800.00	
同	六呎	二	800.00	二	800.00	
同	六呎(優良)	一	1,000.00	一	1,100.00	
同	八呎	一	1,000.00	一	1,100.00	
同	八呎(優良)	一	1,000.00	一	1,100.00	
タレットトレース		一	800.00	一	800.00	
ドリリーリングマシン		二	800.00	二	800.00	
ペンチドリリーリングマシン		一	800.00	一	800.00	
ユニバーサルラヂアルドリル		一	800.00	一	800.00	
ボーリングマシン		一	800.00	一	800.00	
フレーニングマシン		一	1,200.00	一	1,300.00	
シェービングマシン		一	800.00	一	800.00	
ユニバーサルミリーリングマシン		一	800.00	一	800.00	
ペンチミリーリングマシン		一	800.00	一	800.00	
メタルハックソー		一	150.00	一	150.00	

モーター 五馬力	一	800.00	800.00	一	800.00	800.00
同 十馬力	一	1,000.00	1,000.00	一	1,000.00	1,000.00
ユニバーサルクラインダー	一組	10.00	10.00	一組	10.00	10.00
ワイヤードリル	一	8.00	8.00	一	8.00	8.00
捻山計	一	2.00	2.00	一	2.00	2.00
センダーゲージ	一	2.00	2.00	一	2.00	2.00
シックネスゲージ	一	2.00	2.00	一	2.00	2.00
ユニバーサルサーフェースゲージ	一	10.00	10.00	一	10.00	10.00
ストリートエッチ	一	15.00	15.00	一	15.00	15.00
マイクロメーター(内外)	一組	20.00	20.00	一組	20.00	20.00
ハンドタコメーター	一	15.00	15.00	一	15.00	15.00
インヂケーター	一	20.00	20.00	一	20.00	20.00
定小道具一式	一式	100.00	100.00	一式	100.00	100.00
鍛工小道具一式	一式	50.00	50.00	一式	50.00	50.00
火床(ワイゴ付)	一	150.00	150.00	一	150.00	150.00
金敷	一	100.00	100.00	一	100.00	100.00
ホルトネチ型	一	20.00	20.00	一	20.00	20.00
英スバナ	二	20.00	20.00	二	20.00	20.00

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考	
		数量	單價	小計	數量		單價
ベシヤブリン	一式	1	1,000.00	1,000.00	1	1,500.00	
カッパ	一式	1	500.00	500.00	1	400.00	
据付	一式	1	1,000.00	1,000.00	1	1,100.00	
戸棚	一式	1	100.00	100.00	1	150.00	
小計			1,500.00	1,500.00		2,100.00	
合計 (實習用)			1,500.00	1,500.00		2,100.00	
總計			3,350.10	3,350.10		5,280.00	

第二、電機科

一、電機科教授用實驗設備

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考	
		數量	單價	小計	數量		單價
磁氣學實驗并説明用器具	同	1	100.00	100.00	1	100.00	
靜電氣學實驗并説明用器具	同	1	10.00	10.00	1	10.00	
電氣	同	1	10.00	10.00	1	10.00	
放電	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
避雷針	同	1	10.00	10.00	1	10.00	
乾電池	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
ウルランセ電池	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
ルクランセ電池	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
ウエストン標準電池	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
標準抵抗器	同	1	5.00	5.00	1	5.00	
鉛蓄電池	同	1	15.00	15.00	1	15.00	
ガルバノスコープ	同	1	50.00	50.00	1	50.00	
正切電流計	同	1	50.00	50.00	1	50.00	
ポケットボルトアンメター	同	1	15.00	15.00	1	15.00	
ボランチーインヂゲター	同	1	15.00	15.00	1	15.00	
ランブ抵抗器	同	1	10.00	10.00	1	10.00	
説明用電信機	同	1	50.00	50.00	1	50.00	
説明用電話機	同	1	50.00	50.00	1	50.00	
電鈴及インヂゲター	同	1	60.00	60.00	1	60.00	

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	單價	数量	單價	
無線電話受信装置		1		1	500.00	
ステューデントポテンシヨメーター		1		1	100.00	
ユニバーサルシヤント		1	50.00	1	50.00	
ボルトボックス		1	50.00	1	50.00	
電圧計		1	50.00	1	50.00	
電流計		1	50.00	1	50.00	
實驗用器具		1	50.00	1	50.00	
小道具		1	50.00	1	50.00	
メッガー (二〇〇ボルト用)		1	50.00	1	50.00	
栓型ホキストンブリヂ		1	100.00	1	100.00	
エレクタトリックベル		1	50.00	1	50.00	
小計			1,000.00		2,100.00	
品名	程度	甲	乙	甲	乙	備考
一キロ直流發電機 (分解用)		1	150.00	1	150.00	
一キロ三相交流發電機 (分解用)		1	150.00	1	150.00	
一馬力誘導電動機 (分解用)		1	150.00	1	150.00	
一キロ變壓器 (同)		1	150.00	1	150.00	
配線材料及住宅設備器具標本		1	100.00	1	100.00	
ハンダ		1	10.00	1	10.00	
實驗實習用小道具		1	100.00	1	100.00	
說明用實物標本 (計器其他)		1	100.00	1	100.00	
實驗臺		1	50.00	1	50.00	
小計			1,200.00		2,500.00	

(B) 強電流設備

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	單價	数量	單價	
標準白熱電球		2	50.00	2	10.00	
標準蠟燭		2	50.00	2	10.00	
フロンゼン光度計		1	150.00	1	100.00	
各種電燈		1	150.00	1	150.00	
小計			400.00		310.00	
品名 <td>程度 <td>甲</td> <td>乙</td> <td>甲</td> <td>乙</td> <td>備考</td> </td>	程度 <td>甲</td> <td>乙</td> <td>甲</td> <td>乙</td> <td>備考</td>	甲	乙	甲	乙	備考
一キロ三相交流發電機 (分解用)		1	150.00	1	150.00	
一馬力誘導電動機 (分解用)		1	150.00	1	150.00	
一キロ變壓器 (同)		1	150.00	1	150.00	
配線材料及住宅設備器具標本		1	100.00	1	100.00	
ハンダ		1	10.00	1	10.00	
實驗實習用小道具		1	100.00	1	100.00	
說明用實物標本 (計器其他)		1	100.00	1	100.00	
實驗臺		1	50.00	1	50.00	
小計			1,200.00		2,500.00	

(C) 照明實驗設備

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	単価	数量	単価	
ワイヤーゲージ	三種	一組	20.00	一組	20.00	
マイクローメーター	ニ	ニ	20.00	ニ	20.00	
ノギス	ニ	ニ	20.00	ニ	20.00	
トラスカ	ニ	ニ	20.00	ニ	20.00	
カトリバ	五	五	10.00	五	10.00	
マグネット	一	一	100.00	一	100.00	
スケール	ニ	ニ	15.00	ニ	15.00	
シクネスゲージ	一組	一組	15.00	一組	15.00	
捲線機	一	一	10.00	一	10.00	
ハンダ	一	一	5.00	一	5.00	
金造	一	一	5.00	一	5.00	
火造	一	一	5.00	一	5.00	
バネ	三	三	5.00	三	5.00	
ハンドリ	一	一	5.00	一	5.00	
モーター	一	一	15.00	一	15.00	
ヤマト	一	一	20.00	一	20.00	
五馬力	一	一	20.00	一	20.00	
連動装置	一	一	5.00	一	5.00	
基礎及据付費	一式	一式	50.00	一式	50.00	

二、電機科簡易實習設備 (一年四十名二年三十名各組循環使用)

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	単価	数量	単価	
六尺旋盤	一	一	200.00	一	100.00	
1/4 噸	一	一	1,000.00	一	1,000.00	
ボルト盤	一	一	200.00	一	200.00	
シユル	一	一	1,000.00	一	1,000.00	
足踏	一	一	100.00	一	100.00	
定盤	一	一	100.00	一	100.00	
ダブ	一組	一組	100.00	一組	100.00	
タブ	一組	一組	20.00	一組	20.00	
合計			3,050.00		1,570.00	

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	単價	数量	単價	
一キロ単相變壓器	ニ	一	100.00	一	100.00	500.00
一キロ單捲變壓器	一	一	150.00	一	150.00	150.00
マダネットセル	一	一	100.00	一	100.00	100.00
交流回路試験裝置	一	一	150.00	一	150.00	150.00
ランプ抵抗器	ニ	一	20.00	一	20.00	20.00
ランプ抵抗器	ニ	一	20.00	一	20.00	20.00
水抵抗器	一	一	20.00	一	20.00	20.00
直流電壓計	ニ	一	50.00	一	50.00	50.00
直流電流計	ニ	一	50.00	一	50.00	50.00
交流電壓計	ニ	一	50.00	一	50.00	50.00
交流電流計	ニ	一	50.00	一	50.00	50.00
力率計	一	一	100.00	一	100.00	100.00
周波力計	一	一	100.00	一	100.00	100.00
交流轉力計	一	一	100.00	一	100.00	100.00
同電計	一	一	100.00	一	100.00	100.00
寒暖計	一	一	50.00	一	50.00	50.00
ハダ計	一	一	50.00	一	50.00	50.00
實驗用小道	一	一	100.00	一	100.00	100.00
配線材料	一	一	100.00	一	100.00	100.00

二ノ内 實習工場實驗設備 (同上)

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		数量	単價	数量	単價	
五馬力直流電動機	一	一	250.00	一	250.00	250.00
三キロ三相交流發電機	一	一	200.00	一	200.00	200.00
同配電盤	一	一	100.00	一	100.00	100.00
七、五馬力三相誘導電動機	一	一	250.00	一	250.00	250.00
五キロ直流發電機	一	一	200.00	一	200.00	200.00
同配電盤	一	一	100.00	一	100.00	100.00
小計		一	750.00	一	1050.00	
共用工具	一	一	200.00	一	200.00	200.00
工臺	一	一	200.00	一	200.00	200.00
乾燥室	一	一	200.00	一	200.00	200.00
青寫眞道具	一	一	50.00	一	50.00	50.00
配線費	一	一	50.00	一	50.00	50.00
小計		一	1050.00	一	1050.00	

品名	程度	数量		備考
		甲	乙	
据付	一式	1	1	
費	一式	1	1	
小計		3,500.00	5,500.00	
合計		10,200.00	15,100.00	
總計		13,500.00	20,200.00	

第三、建築科
一、建築科教授用設備

品名	程度	数量		備考
		甲	乙	
教師用製圖器具	一式	1	1	
同器	一式	1	1	
トランシット(附屬品共)	一式	1	1	
ハンドレベル	一式	1	1	
Yレベル	一式	1	1	
ブレインテーブル	一式	1	1	
小計		5,000.00	5,000.00	
合計		14,000.00	19,000.00	
總計		19,000.00	24,000.00	

品名	程度	数量		備考
		甲	乙	
チエーン(附屬品共)	一式	1	1	
箱	一式	1	1	
布	一式	1	1	
測	一式	1	1	
磁	一式	1	1	
水	一式	1	1	
計	一式	1	1	
セメント	一式	1	1	
力ノ平行四邊形説明器	一式	1	1	
力ノ率ノ説明器	一式	1	1	
梁ノ荷重説明物	一式	1	1	
柱ノ荷重説明物	一式	1	1	
木造家屋模型	一式	1	1	
小	一式	1	1	
軸	一式	1	1	
屋	一式	1	1	
鐵骨家屋模型	一式	1	1	
鐵筋コンクリート家屋模型	一式	1	1	
小計		10,000.00	10,000.00	
合計		20,000.00	20,000.00	
總計		40,000.00	40,000.00	

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
	数量	單價	数量	單價	
同石版石	六	100.00	六	100.00	
同金屬版研磨機(モーター附)	一	500.00	一	500.00	
四六半截手差オフセット印刷機(モーター附)	一	5,000.00	一	13,000.00	
四六四裁石版ロール(モーター附)	一	3,500.00	一	5,000.00	
四六四裁轉寫機械(ハンド一號)	一	3,500.00	一	4,000.00	
同金屬版研磨機(モーター附)	一	500.00	一	500.00	
同石版石	六	100.00	六	100.00	
合 計	一	5,015.00	一	5,675.00	

第五、印刷科

一、印刷石版部實習設備一學級三十名(三四學級循環使用)

品名	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
	数量	單價	数量	單價	
同石版石	二	350.00	二	400.00	
美濃判石版石	五	150.00	五	250.00	
二號三號ハンドプレス	一	950.00	一	1,350.00	
研磨用金盤	一	600.00	一	600.00	
銅版原板	五	100.00	五	500.00	
濕版度計	一	250.00	一	250.00	
マイクローメーター	一	300.00	一	300.00	
大工道具	一	300.00	一	300.00	
製工器具	一	300.00	一	300.00	
三角ペ	五	150.00	一〇	150.00	
三角ペ	二	100.00	一八	100.00	
コキペ	二	100.00	一八	100.00	
水鉢	二	50.00	六	50.00	
西洋鉢	八	50.00	二六	80.00	
手革鉢	二	60.00	六	60.00	
解墨皿	一〇	20.00	五	20.00	
ローラー(黒及色)	一五	80.00	二〇	80.00	
斷裁機	一	250.00	一	250.00	
バケツ	三	60.00	一八	60.00	
井	一〇	150.00	五	150.00	
合 計	一	7,015.00	一	7,675.00	

品名	数量	案(最低限度)		案(普通程度)		備考
		単	小計	単	小計	
機 械 臺	六ヶ	八,五〇〇	五,〇〇〇	二ヶ	一〇,三〇〇	
込 物 箱	三ヶ	一,六〇〇	四,八〇〇	一ヶ	八,〇〇〇	
イ ン ン	三ヶ	一,六〇〇	四,八〇〇	一ヶ	八,〇〇〇	
習 付 ケ ー ス 架	一〇枚	三,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二脚	二〇,〇〇〇	
和 文 ケ ー ス	一〇枚	一,三〇〇	一三,〇〇〇	二枚	二,〇〇〇	
歐 文 ケ ー ス	六枚	二,〇〇〇	一二,〇〇〇	二枚	二,〇〇〇	
眞 鍮 組 ケ ー ス	六枚	二,〇〇〇	一二,〇〇〇	二枚	二,〇〇〇	
置 文 植 字 臺	一	一,六〇〇	一,六〇〇	二臺	三,二〇〇	
歐 文 植 字 臺	一	一,六〇〇	一,六〇〇	二臺	三,二〇〇	
文 撰 箱	一〇ヶ	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇ヶ	一〇,〇〇〇	
銅 撰 箱	一丁	一,五〇〇	一,五〇〇	一丁	一,五〇〇	
裁 縫 コ	一丁	一,八〇〇	一,八〇〇	一丁	一,八〇〇	
鉛 版 用 コ	一丁	一,五〇〇	一,五〇〇	一丁	一,五〇〇	
鉛 版 用 コ	一丁	一,五〇〇	一,五〇〇	一丁	一,五〇〇	
金 版 用 コ	一丁	一,五〇〇	一,五〇〇	一丁	一,五〇〇	
ボ ン コ	三ヶ	八〇〇	二,四〇〇	五ヶ	四,〇〇〇	
ポ ン コ	三ヶ	八〇〇	二,四〇〇	五ヶ	四,〇〇〇	
機 械 臺	一臺	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一	四〇,〇〇〇	
針 金 製 本 器 械 (三分綴)	一臺	四〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一	四〇,〇〇〇	
小 計		六,七六四,二〇〇	一八,一九一,一〇〇		二,三八六九,四〇〇	
合 計					四九,八五二,〇〇〇	

品名	数量	案(最低限度)		案(普通程度)		備考
		単	小計	単	小計	
鉛 熔 解 釜	一臺	一九,五〇〇	一九,五〇〇	一臺	一九,五〇〇	
金 杵 子	三ヶ	八,〇〇〇	二四,〇〇〇	三ヶ	二四,〇〇〇	
組 付 棒	一〇丁	一〇,五〇〇	一〇五,〇〇〇	一〇丁	一〇五,〇〇〇	
山 型 金 棒	一〇本	九,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇本	九〇,〇〇〇	
肌 刷 毛	二五〇本	七五,〇〇〇	一八七,五〇〇	一五〇本	一〇五,〇〇〇	
打 眼 機	二丁	一六,五〇〇	三三,〇〇〇	二丁	三三,〇〇〇	
象 眼 機	一臺	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一臺	一〇,〇〇〇	
昇 切 機	一臺	三,〇〇〇	三,〇〇〇	一臺	三,〇〇〇	
棚 切 機	一臺	三,〇〇〇	三,〇〇〇	一臺	三,〇〇〇	
車 附 斜 切 機	一臺	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一臺	二〇,〇〇〇	
鐵 製 ス テ ッ プ 機	一丁	三,九〇〇	三,九〇〇	一丁	三,九〇〇	
植 字 機	三本	一〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三本	三〇,〇〇〇	
解 版 臺	一臺	二五,〇〇〇	二五,〇〇〇	一臺	二五,〇〇〇	
仕 上 臺	一臺	一六,五〇〇	一六,五〇〇	一臺	一六,五〇〇	
腰 掛 臺	三ヶ	五,〇〇〇	一五,〇〇〇	五ヶ	二五,〇〇〇	
イ ン ン	一ヶ	五,〇〇〇	五,〇〇〇	二ヶ	一〇,〇〇〇	
備 考						

第六、製圖科設備（各科共通）

一、豫科前期製圖用具（一學級五十名）

品名	程度	數量		價額		備考
		甲	乙	甲	乙	
圖板小（二尺一寸）	甲	5	5	6.00	30.00	
丁形定規長二尺	甲	5	5	1.00	5.00	
圖板入	甲	2	2	3.00	6.00	
定規立	甲	2	2	1.50	3.00	
戶棚	甲	1	1	5.00	5.00	
小計				20.00	49.00	

二、教授用具

品名	程度	數量		價額		備考
		甲	乙	甲	乙	
黑板用コンパス	甲	1	1	1.20	1.20	
同三角定規（組）	甲	1	1	3.00	3.00	
同丁形定規	甲	1	1	2.50	2.50	
大形分度器	甲	1	1	5.50	5.50	
小計				12.20	12.20	

三、本科後期製圖用具（一學級四十名）（三四學級兼用）

品名	程度	數量		價額		備考
		甲	乙	甲	乙	
三角形ノ内角ノ和ヲ示ス形體	甲	1	1	6.00	6.00	
ピタゴラスノ定理ヲ示ス器	甲	1	1	6.00	6.00	
各種ノ角ノ角	甲	5	5	2.50	12.50	
各種ノ角ノ角	甲	5	5	2.50	12.50	
各種ノ多面體	甲	5	5	5.00	25.00	
二次曲線説明器	甲	1	1	7.00	7.00	
複雙曲線體	甲	1	1	2.50	2.50	
實體	甲	1	1	3.50	3.50	
同上説明圖	甲	1	1	3.50	3.50	
正射透影用各種切斷及展開形	甲	1	1	3.00	3.00	
教師用製圖器具器械	甲	1	1	10.00	10.00	
小計				83.00	83.00	

第六、製圖科設備 (各科共通)

一、豫科前期製圖用具 (一學級五十名)

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
圖板小 (二尺五寸)	圖板	五	六〇〇	五	三〇〇	
丁形定規長二尺	丁形	五	一〇〇	五	一〇〇	
圖板	圖板	二	三〇〇	二	三〇〇	
定規	定規	二	一五〇	二	一五〇	
戶立	戶立	一	五〇〇	一	五〇〇	
小計	小計	一	一,八〇〇	一	一,一〇〇	

二、教授用具

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
黑板用コンパス	黑板用	一	一八〇	一	一八〇	
同 三角定規 (組)	同 三角	一	三〇〇	一	三〇〇	
同 丁形定規	同 丁形	一	二五〇	一	二五〇	
大形分度器	大形分	一	五五〇	一	五五〇	
小計	小計	一	一,一八〇	一	一,一八〇	

三、本科後期製圖用具 (一學級四十名) (三四學級兼用)

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
三角形ノ内角ノ和ヲ示ス形體	三角形	一	六〇〇	一	六〇〇	
ピタゴラスノ定理ヲ示ス器	ピタゴ	一	二五〇	一	二五〇	
各種ノ角	各種ノ	五	二五〇	五	二五〇	
各種ノ角	各種ノ	五	二五〇	五	二五〇	
各種ノ多面體	各種ノ	五	二五〇	五	二五〇	
二次曲線説明器	二次曲	一	七〇〇	一	七〇〇	
複雙曲線體	複雙曲	一	二五〇	一	二五〇	
實體鏡	實體鏡	一	三〇〇	一	三〇〇	
同上説明圖	同上説	一	三〇〇	一	三〇〇	
正射透影用各種切斷及展開形	正射透	一	三〇〇	一	三〇〇	
教師用製圖器具器械	教師用	一組	二〇〇	一組	二〇〇	
小計	小計	一	一,八六〇	一	一,八六〇	

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
丸鋸	一	一	500.00	一	700.00	
帶鋸	一	一	400.00	一	800.00	
旋盤	三	一	300.00	六	500.00	
平刨	一	一	300.00	一	200.00	
金剛砂砥	一	一	100.00	一	200.00	
工作臺	二	一	500.00	一	100.00	
工具	三	一	300.00	一	100.00	
共用工具	三	一	300.00	一	300.00	
電動機 (三馬力)	一	一	150.00	一	250.00	
其他附屬品 (据着共)	一	一	200.00	一	200.00	
小計			4,400.00		7,500.00	

二、鍛工實習

品名	程度	甲 案 (最低限度)		乙 案 (普通程度)		備考
		數量	單價	數量	單價	
製圖機	一	一	150.00	一	150.00	
同機	一	一	50.00	一	40.00	
戶棚	一	一	50.00	一	50.00	
小計			2,100.00		2,250.00	

四、製圖教室設備 (同上)

附錄 機械科ノ實習ヲ廣汎ニ互ツテ爲ス場合ノ參考トシテ附加セリ
一、木型實習

品名	数量	案(最低限度)		案(普通程度)		備考
		単價	小計	単價	小計	
ニューマチックハンマー1U	1	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	
ハマクソウマシン	1	150.00	150.00	150.00	150.00	
金床	1	500.00	500.00	500.00	500.00	
送風機	1	100.00	100.00	100.00	100.00	
同 装 置	1	300.00	300.00	300.00	300.00	
工 具 分 類	3	150.00	450.00	150.00	450.00	
共 用 工 具	1	300.00	300.00	300.00	300.00	
小 計			5,050.00		5,210.00	

三、鑄工實習

品名	数量	案(最低限度)		案(普通程度)		備考
		単價	小計	単價	小計	
砂	10	20.00	200.00	20.00	200.00	
キ ュ	1	200.00	200.00	200.00	200.00	
ル ー ヅ	1	200.00	200.00	200.00	200.00	
同 装 置	1	100.00	100.00	100.00	100.00	
小 計			700.00		700.00	

品名	数量	案(最低限度)		案(普通程度)		備考
		単價	小計	単價	小計	
電動機(三馬力)	1	150.00	150.00	150.00	150.00	
クレーン(1/4トン)	1	100.00	100.00	100.00	100.00	
工 具	3	50.00	150.00	50.00	150.00	
型 乾 器	1	100.00	100.00	100.00	100.00	
梓 大 小 器 具	3	100.00	300.00	100.00	300.00	
雑 具	1	300.00	300.00	300.00	300.00	
シャフト、調革、ベルト、各共通	1	800.00	800.00	800.00	800.00	
小 計			2,550.00		2,550.00	
合 計			5,210.00		5,210.00	

第十三章 實業補習學校の教員

第一 實業補習學校教員の任務

實業補習學校の改善振興を期するには、結局は教員其の人を得る如何の問題に歸することと思ふ。

實業補習學校長としては、斯の教育の使命任務を十分に理解し、専任教員をして十分に腕を振はしめ得る人でなければならぬ。補習教育に理解なき人は、補習學校

の教育と小學校の教育と同じやうに考へ、専任教員をして學校内に於てのみ働かしむるやうにし、小學校の方の補缺教授等に當らしめたりして、家庭實習部落實習などの指導に當らしめてゐないといふやうなことを聞くことあり、折角置いた専任教員をやめたといふことも耳にしたことがある。このやうでは、實業補習教育の振興も期することが出來ない。すべて成績の優良なる實業補習學校には、優良な専任の教員も居るけれども、必ず實業補習教育に理解あり、熱心なる校長が居るのである。苟も實業補習學校長となられたならば、今日の我が國の現状に鑑みて、青年大衆の此の教育の如何に大切なるものであるかを十分に研究し、此の教育の使命任務等を十分に知り、一層の努力を捧げられんことを希望して止まぬ次第である。

専任教員は、其の學校の教育の中心となりて活動せねばならぬことを覺悟し、率先して研究をなし、その實業補習學校の専任教員としての職責を十分に理解し、自己の活動すべき部面をよく知り、校長の諒解を得て、思ふ存分活動せねばならぬ。然るに専任教員でありながら、實業補習教育の何たるを知らず、如何に活動すべきか、如何に生徒青年を指導すべきかを知らずに居らるる人も少くはないのである。かかる専任教員に對しては、校長は、實業補習教育に關する研究の方法を指導し、専任

教員としての任務を達せしむるやうに鞭撻されたい。

兼任教員の方々には、單に受持學科を教授すれば、自分の職責を盡したやうに思はれてる方も少くないやうであるが、かかる方々に對しては、校長より實業補習教育の性質を説明し、其の受持學科の教授に對しても、青年に對する教授は、小學校兒童の指導とは同一に取扱ふべきでないことを理解せしめ、全校職員は、心を一にして生徒を教育せねばならぬことを十分に理解せしめたい。特に農村の補習學校に於ては、この考が必要である。

特殊の技能を有してゐる方を、地方長官の認可を得て、學校の助教諭に任命し、或は教授の囑托をなすことがあるが、かかる方々は、技能には長じてるのであるけれども、教育教授の事は知らぬ次第故、校長又は教務の方より、教材に關し教授に關して、かくかくして頂きたいと種々の依頼をなして、適切に教授指導して貰ふやうにせねばならぬ。

第二 實業補習學校教員の執務事項

以上述べたやうに、其の執務事項を知らぬために、手腕ありながら十分の成績を

擧ぐる事が出来ないで居る場合もあるから、學校に於て校長及び教員の執務事項を攻究して、之を定むる事が必要のことと思ふ。
次に示したる實業補習學校教員執務標準は、奈良縣添上郡實業補習教育研究會で研究せられたものであるが、研究資料の一とすることが出来ると思はれたので、左に掲げることにした。

實業補習學校教員執務標準

第一、學校長の執務事項

一、一般的方面

- 1. 校務全般の總攬に關する件
- 2. 學校教職員の統督に關する件

二、教務方面

- 1. 職業教育と公民教育との連絡及び系統案の作製に關する件
- 2. 各學科目教授要目並に教授細目の編成加除訂正に關する件
- 3. 教授案調製及び直接教授に關する件
- 4. 成績調査に關する件
- 5. 教授の進度及び結果記録に關する件
- 6. 生徒風紀に關する件
- 7. 暖房、照明等の設備に關する件

三、庶務方面

- 8. 見學、旅行、遠足等校外訓練に關する件
- 9. 生徒賞罰に關する件
- 1. 奉安室に關する件
- 2. 校印保管に關する件
- 3. 學級編成に關する件
- 4. 學校事務分掌に關する件
- 5. 校内警備に關する件
- 6. 親展文書に關する件
- 7. 職員進退に關する件
- 8. 儀式執行に關する件
- 9. 學則等規程變更改廢に關する件
- 10. 參觀人、視察者に關する件
- 11. 毎月行事制定に關する件
- 12. 生徒の入退學、卒業、修業等の認定に關する件

13. 教科書の選擇、採否に關する件

四、會計方面

- 1. 備品、消耗品購入廢棄に關する件
- 2. 校舎等の修繕に關する件
- 3. 學校豫算編成に關する件

五、社會的方面

- 1. 町村理事者等との折衝に關する件
- 2. 町村有志有力者其他各種團體との連絡提携に關する件
- 3. 一般民衆への學校紹介に關する件
- 4. 教育の進路開拓を企圖するため學校教育系統上局との連絡に關する件

第二、専任教員の執務事項

一、教務方面

- 1. 實業科教授要目並に教授細目の編製加除訂正に關する件
- 2. 教授案作製並に擔任の學科教授に關する件
- 3. 生徒訓練指導に關する件
- 4. 成績考查實施に關する件
- 5. 教授の進度及び結果記録の實施に關する件
- 6. 實習課程表、實習指導細目の調製、訂正に關する件
- 7. 生徒實習事項の選定設計實施整理に關する件
- 8. 生徒實習に關し左記表簿調製整理に關する件

二、庶務方面

- 11. 生徒賞罰調製整理に關する件

一、作付設計書及び同上實施書

二、飼育設計書及び同上實施書

三、何々製作設計書及び同上實施書

四、何々製造設計書及び同上實施書

五、生産物出納明細帳

六、金錢出納明細帳

9. 家庭實習の實地指導に關する件

10. 家庭實習實施に關し次の表簿編製並に整理に關する件

一、家庭實習日誌

二、家庭實習指導曆

三、家庭實習設計標準表

四、校外指導日記

五、質疑應答並に問題用紙綴

六、家庭實習地設置届書綴

七、家庭實習地臺帳

八、家庭實習地分布圖

九、家庭實習設計書綴

一〇、品評會等に關する諸規程並に諸綴

二、生産物處分に關する書類綴

三、各種農事試験に關する書類綴

部落實習を課するとき以上に準すること

1. 郷土調査に關する件
 2. 學校一覽表作製に關する件
 3. 生徒出席簿の調製整理並に統計に關する件
 4. 公文書の處理並に報告の主旨に關する件
 5. 教務に關する立案教授時間配當案等に關する件
 6. 職員會並に研究會の記録に關する件
 7. 生徒役員選定の件
 8. 大正九年十二月縣令第九十一號奈良縣實業補習學校規程第七章諸帳簿第二十七條の各種帳簿の處理に關する件
- | | |
|---------|----------|
| 一、學籍簿 | 九、生徒出席簿 |
| 二、學則 | 二〇、例規綴 |
| 三、教授細目 | 二一、時間配當表 |
| 四、成績考査簿 | 二二、職員出勤簿 |
| 五、履歷書綴 | 二三、視察簿 |
| 六、修了者名簿 | 二四、卒業者名簿 |
| 七、學校沿革誌 | 二五、學校日誌 |
| 八、資産簿 | 二六、諸統計 |

第三 實業補習學校教員の養成

1. 販賣購買の實施に關する件
 2. 教具教具實習用具保管に關する件
- 四、社會的方面
1. 小學校實業科教授に關する件
 2. 小學校實業科實習に關する件
 3. 小學校實業科教授細目編製に關する件
 4. 小學校實業科に對する諸表簿調製整理に關する件
 5. 小學校學校園の設計に關する件
 6. 學校に於ける動物飼育植物栽植に關する件
 7. 郡村農會等學校實業科に關係ある各種團體との連絡提携に關する件
 8. 青年團處女會在郷軍人會等に於ける勤業的施設經營に關する件
 9. 一般當業者指導啓發に關する件
- 第三、兼任教員の執務事項
1. 學校長專任教員の立案遂行に關し翼賛助成に關する件
 2. 自己の長所に應じて教務校務の一部分擔に關する件
 3. 生徒の訓練指導に關する件

實業補習學校教員の養成は、今日は府縣にて設立したる實業補習學校教員養成所に於てなされてる。而して養成所は、男子は四十三、女子は三養成所あるが、男子は何れも農業補習學校の教員養成を目的としたものであつて、商業、工業、水産等の補習學校教員養成を目的としたものは一校もない。これは農業教員のやうに一府縣にては需要も少いため、設立を見ない次第と思ふが、少數ながら各府縣とも、商業、工業、水産の適切なる教員を得るに就いては困つてゐる狀況であるから、これ等の教員養成に就いては、國に於て行はねばならぬことと思ふ。また女子の教員に就いても、主として家事裁縫の教員であるが、今日は僅に三縣にある丈であつて、其の他の府縣に在りては、東京其の他で學んで來た人を採用してゐる狀況であるが、これ等の方は、實業補習學校の教員として養成されたものでないから、地方の處女を教育してゐる實業補習學校教員としては、適任の方は少く、轉退することが多いので、女子の良教員を得ることに就いて困つてゐる學校が多く、到るところに於て、女子實業補習學校教員養成の必要を聞く次第であるから、各府縣にこれが設置の實現を見たい次第である。

今日殆ど各府縣に設置されてゐる實業補習學校教員養成所を見ると、修業年限初

めは殆ど一年のもののみであつたが、本年度になりて、一年のもの三十、二年のもの十三となつて、年々二年に延長されるもの増加して行くのは詢に喜ばしい次第であるが、其の設備を見ると、福島、和歌山の二養成所を除いては併設であり、愛知は併設の形であるも殆ど獨立同様の設備を有してゐるが、その他にありては、併設校の教室及び設備を利用して間に合せにしてゐるやうの状況であり、教員も多くは専任教員一名に過ぎないやうな有様で、これまた十分とは申されない状況である。今日は、所長を初め關係職員の努力によりて相當の卒業生を出し、尙縣下實業補習教育研究の中心となつてゐるやうな養成所もあるけれども、尙不十分なところが多い次第である。されば設備に於ては、併設の場合でも、専用教室、研究室、實驗室等を設け、教員は専任を二名以上とし、尙兼任の教員の方々にも今日の實業補習教育の精神を諒解して貰つて、地方の實際を基礎としての教授をして貰ふやうにし、一般的抽象的に流れないやうに致したい。尙生徒に對しては、在學中より、市町生活、地方實業に關する事項の調査研究を指導し、實業補習學校經營、教授法、實習指導上の演習をなすの要あるにより、附屬實業補習學校を設くるの必要がある。若しこれを設くることが出來なければ、代用の附屬實業補習學校を是非設くるやうに致したい。かくし

て附屬實業補習學校は、縣下實業補習學校の範たるやうに施設し、名實共に養成所は、縣下實業補習教育の研究の中心機關として活動するやうに致したい。

尙新に設くる場合に、現在農學校、師範學校、農事試驗場の三ヶ所に併設されてゐるので、何れが適切であるかとの問を聞くのであるが、これは一長一短があつて、何れがよいと斷定することが出來ないけれども、今日のやうな師範學校では、寧ろ農業學校の方がよろしいやうに思ふが、農業の實驗實習の指導がよく出來るやうになつて居れば、師範學校の方が、教員の養成を本體とするところであり、且つ補習學校も小學校に併設されてゐる學校のみといふ場合のこと故、師範學校生徒の方にも實業補習學校を知らしむる便があり、卒業後互に協力する上に利するところ多いかと思はれる。

次に猶一言したいことは、入所資格のことである。鹿兒島の養成所は、創立の時は縣下の小學校長或は首席教員の優秀なるもののみを選抜して入所せしむることにしたので、極めてよい成績を擧げるやうになつたが、今日は師範卒業生及び専科正教員として、三年以上の實務についたものかを入所せしむることにして、第一回以來の聲價を保つてゐる。その外に於ても卒業生が教員として評判の良いのは、學校

卒業後數年間實務に就いて經驗あるものを入れてるやうにしてる所に多いやうである。しかも短期の修業年限で、二十歳以上の青年まで指導する任に當る教員の養成としては、年少の學校卒業生を入れるよりは、社會の波風に當つた人を入れる方が一般によいやうに思はれる。

實業補習學校教員養成所 (昭和三年四月調)(四十五所)

配屬校名	稱	學科	年修業年限	生徒定員	現在生徒數	經常費	月一平均費	創立年月	備考
北海道廳立農業補習學校教員養成所		農業	一年	四〇	一八	四、三〇〇	一〇	三二	設立空知農業學校=併設
岩手縣立實業補習學校教員養成所		農業	一年	二〇	三三	四、四〇〇	八	三五	盛岡高等農林學校内=併設
宮城縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	三三	八、〇〇五	一五	三五	師範學校=併設
秋田縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	二〇	二五	二、三三八	二〇	三二	縣立農事試驗場=併設
山形縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二七	二、四七二	二〇	三二	縣立農事試驗場=併設
福島縣立實業補習學校教員養成所		農業	一年	四〇	二六	二、二九	二〇	三二	獨立設置
茨城縣立實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二七	二、七四九	二〇	三二	獨立設置
栃木縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二五	七、五五三	二〇	三二	縣立農學校=併設
群馬縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二九	七、九六六	二〇	三二	師範學校=併設
埼玉縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	四〇	三〇	一〇、〇三三	二〇	三二	縣立熊谷農學校=併設
千葉縣實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二九	八、四六三	二〇	三二	縣立茂原農學校=併設

配屬校名	稱	學科	年修業年限	生徒定員	現在生徒數	經常費	月一平均費	創立年月	備考
東京府立農業補習學校教員養成所		農業	二年	四〇	三三	七、一三四	二〇	三二	府立農林學校=併設
神奈川縣立實業補習學校教員養成所		農業	二年	六〇	二四	九、七六六	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
新潟縣立農業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二五	七、五三四	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
富山縣立實業補習學校教員養成所		商業	二年	八〇	二五	一五、五五三	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
石川縣立實業補習學校教員養成所		農業	一年	三〇	二二	六、八二〇	二〇	三二	縣立農林學校=併設
山梨縣實業教員養成所		農業	一年	三〇	二二	三、七五三	二〇	三二	縣立農林學校=併設
長野縣實業補習學校教員養成所		農業	二年	七〇	二九	二〇、九〇〇	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
岐阜縣實業補習學校教員養成所		農業	二年	六〇	二五	九、三九九	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
靜岡縣立農業補習學校教員養成所		農業	一年	四〇	二四	四、〇七〇	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
愛知縣實業教員養成所		農業	二年	四〇	二五	三、五五六	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
三重縣立實業教員養成所		農業	二年	四〇	二六	二〇、〇四五	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
滋賀縣實業補習學校教員養成所		農業	二年	三〇	二五	六、六六六	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
京都府實業補習學校教員養成所		農業	二年	三〇	二五	七、七二二	二〇	三二	昭和二年四月ヨリ修業年限二年=變更
大阪府立農業補習學校教員養成所		農業	二年	二〇	二五	八、八六六	二〇	三二	府立農學校=併設
兵庫縣立農業補習學校教員養成所		農業	二年	二〇	二五	四、四〇〇	二〇	三二	縣立磯城農學校=併設
奈良縣實業補習學校教員養成所		農業	二年	二〇	二五	四、四〇〇	二〇	三二	縣立磯城農學校=併設

備考 一、東京、岐阜、和歌山、香川ノ卒業者ハ修業年限一年ノモノナリ。
 二、小學校就職者ハ概ネ實業補習學校ヲ兼務セルモノナリ。

計	鹿宮大熊長佐福高愛香徳山廣岡鳥														
	鹿	宮	大	熊	長	佐	福	高	愛	香	徳	山	廣	岡	鳥
兒															
	島	崎	分	本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口	山	取	島
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	三	三	三	四	三	五	九	五	一	三	三	六	三	三	二
就	二	二	七	三	六	五	七	三	一	八	三	三	一	三	一
職	五	一	六	七	七	一	一	一	二	八	五	九	七	一	六
狀	五	一	六	七	七	一	一	一	二	八	五	九	七	一	六
其															
他															
就															
職															
當															
時															
ノ															
給															
料															
月															
額															
均															

所	和奈兵大京滋三愛靜岐長山石富新神東																
	和	奈	兵	大	京	滋	三	愛	靜	岐	長	山	石	富	新	神	東
名	山	良	庫	阪	都	賀	重	知	岡	阜	野	梨	川	山	湯	川	京
卒	四	三	五	一	五	三	元	三	元	三	三	一	五	七	四	三	三
業																	
者																	
就																	
職																	
狀																	
其																	
他																	
就																	
職																	
當																	
時																	
ノ																	
給																	
料																	
月																	
額																	
均																	

第十四章 改善されたる實業補習學校の實際

以上、十一章に互りて實業補習教育の改善すべき要點を述べたが、併し全國多數の學校の中には、既に文部大臣より表彰された學校も、大正十一年十一月二十八日と、本年(昭和三年)二月十一日の二回で百五十一校あり、尙この外にも、これ等選賞學校に準すべき學校も尠くないので、私の申したやうに改善されてる學校も尠くないのだから、これ等の學校に就いて、其の成績の由つて來りたる點を十分に攻究して欲しいと思ふが、尙私が最近視察した學校に就き、參考となるやうな事項を抄録して、研究の資料に供することにする。

第一 東京府豊島師範學校併設豊島農業補習學校

本校は新宿驛の前より京王電車にて二十分にて達する松澤村(下高井戸下車)にあり、東京府下農業補習學校經營の範を示す爲に松澤小學校に併設されてる。本村に開校されたのが大正九年十月からであるが、主任鈴木君の經營よろしきを得たので、教材の選擇、教授の方法、實習の指導、學校中心としての地方改善施設等、實績を

挙げ範を示し、今日は全國的に稱揚されてる學校である。ここには、地方との關係を示すために外部との關係、教授の實際を察するために家事理科教授要綱、農業科實習指導の實際を窺ふために、農業科實習指導の一部を抄録して示すことにする。

一 外部との關係

1. 小學校との關係 本校職員は小學校教員を兼ねて小學校の實際授業にたづさはり、又小學校よりは本校の授業を囑託して、兩者相協力して教授に當つてゐる。
2. 農會との關係 農會に於て計畫する事業は、直接間接に本校と相關係を有するので、本校職員は農會技術員を兼ね、専ら當業者の指導に従事し、學校の方針と相俟つて農事改良に努力してゐる。
3. 家庭との關係 學校の教授は生徒を通じて家庭の農事改良に盡し、又直接指導に従事し、且つ生徒の訓育上家庭と協力して向上を圖る。
4. 青年團、處女會との關係 生徒の大部分は青年團員又は處女會員であるので、小學校長が兩者の長を擔つて統帥し、又職員は其の役員となつて青年團及び處女會の向上に努力してゐる。
5. 當業者との關係 學校を産業の中心として當業者の職業指導をなすと共に、

講演會等を催して公民的指導をする。

6. 在郷軍人分會との關係 分會長は本校の商議員に依囑し、又職員は時に壯丁に關する指導をする。

7. 商議員の設置 本村名譽職、青年團役員、駐在巡查、篤農家等を商議員に依囑し、生徒の出席督勵、風儀取締等に關すること、及び學校長の諮問に應じて、學校教育の効果を大ならしめることに努めてゐる。

8. 農業研究會 當業者の熱心なるもの及び研究生を以て組織し、學校が中心となつて、農業に關する諸般の研究をなす。學校に集合する場合と四支部に分つて各支部に於て集合する場合とある。

9. 講演會 農閑期又は休日を利用して思想問題、時事問題等に關して講演會を開き聽講せしめる。

二 家事理科教授要綱

家事理科 前期に於ける家事科はその概要を知らしめ、理科は後期に於ける家事科を修めるに基礎となる事項を授ける趣旨に基き、家事科と理科とを單獨的に授けるよりも、此の兩者を結合して取扱ふが適切と認め、此の兩者を結合按配して

家事理科の名稱のもとに立案したものである。

前篇は主として家事科の衣服及び住居に關する事項、後篇は食物、看護衛生、育兒教育に關する事項を材料とし、それに適當なる理科的材料を結合せしめた。

一年間六十時教授するものとし、大體一課を二時間に宛て、その間多少の餘裕を置いて排列した。

實際教授に際しては、家事教材はその概要を説きて家事科の概念を與ふる程度に止め、理科教材は専ら家事の基礎をなすやう、いはゆる家事的に取扱ふことに留意しなければならぬ。

家事科 本科は農家の生活に適切なる生徒の生活そのものたらしめるため、その内容を衣服の部、食物の部、住居の部、看護衛生の部、育兒教育の部、農家經濟の部の六類に別ち、各内容を専ら農家の實際たらしめることに留意し、且つその各部類につきは、その歸結を何れも現在に於ける農家の生活改善に努め、殊に農家經濟は、生徒をして經濟思想を養ひ且つ經濟的知識を授けるにある。

一年間九十時教授し、二年間に終るものとし、何れの部類より教授するもさしたる不便の起らないやうに考慮した。

家事理科教授要項

前 篇 (六〇時)		後 篇 (六〇時)	
課 題 目	要 項	課 題 目	要 項
一 衣服	一、目的 一、地質 一、色合	一 食物	一、種類 一、成分
二 織物	一、反物 一、絲 一、織り方	二 蛋白質と脂肪	一、蛋白質、一、脂肪
三 織維	一、種類 一、性質	三 炭水化物と灰分	一、炭水化物 一、灰分
四 染料	一、見分け方 一、染色法	四 消化	一、炭水化物 一、消化作用
五 洗濯	一、洗濯と用水 一、洗濯劑	五 血液の循環	一、消化器 一、消化作用
六 漂白	一、漂白粉 一、漂白法	六 呼吸と排泄	一、血液 一、心臓 一、循環
七 衣服の保存	一、手入 一、保存法	七 傳染病	一、呼吸 一、排泄
八 家庭用具	一、種類 一、手入	八 微とバクテリア	一、種類 一、傳染 一、注意
九 鐵器、銅器	一、鐵器 一、銅器	九 腐敗と醗酵	一、人類との關係
一〇 硝子器、陶磁器	一、硝子器 一、陶磁器	一〇 蠅と蚊	一、蠅 一、蚊 一、驅除法
一一 建具と敷物	一、建具 一、敷物	一一 飲料	一、飲料水 一、飲料
一二 井戸と釣瓶	一、井戸 一、釣瓶	一二 消毒	一、消毒劑 一、消毒劑
一三 ボンブ	一、構造 一、原理	一三 幼兒	一、幼兒の取扱
一四 噴霧器と消化器	一、噴霧器 一、消火器	一四 眼と神經	一、眼 一、神經
一五 熱	一、熱の移動 一、熱の利用	一五 眼と耳	一、眼 一、耳

家事教授の要項

衣 服 之 部 (三〇時)		看 護 衛 生 の 部 (三〇時)	
課 題 目	要 項	課 題 目	要 項
一 衣服	一、衣服の概要	一 健康と衛生	一、人生と健康
二 和服と洋服	一、和服 一、種類 一、洋服	二 疾病	一、病氣 一、種類
三 地質	一、絹織 一、麻織	三 病人の手當	一、病人と手當 一、病人の介抱
四 色合、柄	一、毛織 一、交織	四 病室、病床	一、病室 一、病床 一、病衣
五 仕立	一、衣服と仕立 一、大人物	五 病者の食物	一、病人の榮養 一、食物
一六 温度、湿度	一、温度と湿度 一、雨と風	一七 病氣と看護	一、遊戯 一、玩具 一、撲方
一七 天候	一、豫防 一、探光	一八 救急法	一、病人 一、看護者の心得
一八 換氣、採光	一、換氣 一、電燈	一九 滋養と嗜好	一、外傷 一、中毒
一九 電燈	一、燈光 一、湯殿	二〇 食物の貯藏	一、應急手當 一、嗜好品
二〇 室内設備	一、各室の設備 一、湯殿	二一 獻立、調理	一、食品の選方 一、嗜好品
二一 臺所	一、位置 一、設備	二二 獻立、調理	一、種類 一、方法
二二 家屋	一、住宅 一、其他の建物	二三 臺所道具	一、獻立の必要 一、獻立
二三 住宅地	一、修理保存 一、整理保存	二四 一家の經濟	一、カマドとコンロ
二四 一家の整理	一、整理 一、女子の務		一、薪の整理 一、木炭 一、石炭
			一、收入の經濟 一、支出

住居之部 (110時)		農家經濟 (115時)	
課題	要目	課題	要目
一 住居	住居 一、生活と住居	一 農家の經濟	農家の經營的目的
二 家屋	位置 一、大きさ 一、構造	二 農家の收入	農家の收入の種類
三 間取、照明	間取 一、照明	三 農産物の販賣	農産物の種類と価格
四 建具、敷物	建具敷物の手入	四 農業費	農業費の種類
七 魚貝	魚貝 一、調理 一、乾燥	七 離乳食物	離乳食物 一、時期
八 鳥獸肉	鳥獸肉 一、鶏肉	八 食物、衣服	食物 一、選定
九 牛乳と鶏卵	牛乳 一、鶏卵	九 運動と睡眠	運動 一、睡眠
一〇 味噌、醬油	味噌 一、醬油	一〇 小兒の病氣	小兒の健康状態
一一 調味料	調味料 一、香料	一一 小兒の病氣	小兒病 一、種痘
一二 食物の調理	調理の必要 一、調理法	一二 小兒の病氣	小兒病 一、種痘
一三 飲料	飲料 一、清涼飲料	一三 小兒の病氣	小兒病 一、種痘
一四 献立	献立の必要 一、献立の心得	一四 家庭と學校	習慣と癖 一、躰け方
一五 食物と栄養	食量 一、食物の栄養價		就學 一、學校と家庭との連絡
一六 食器、食事	食器と庖厨具 一、食事		
一七 養應	養應の心得 一、調膳		
一八 農家と食物	農家の食物の改善		

食物之部 (三五時)		育兒教育之部 (三〇時)	
課題	要目	課題	要目
一 食物	人體と食物 一、栄養	一 育兒	育兒 一、母の務
二 米	米 一、飯 一、糲	二 胎兒と母體	胎兒の保護
三 麥、雜穀	麥 一、麥飯 一、雜穀	三 出出	準備、一、産後の心得
四 豆類	豆類 一、煮豆 一、雜穀	四 初出	入浴 一、躰帶
五 蔬菜果實	蔬菜 一、果實 一、海藻	五 哺乳	衣服と襦袢 一、臥床
六 菌藻	菌藻 一、調理 一、海藻	六 生齒と手當	哺乳器 一、牛乳哺育
六 仕事着、平生着	材料 一、仕立 一、用水 一、用劑		
七 洗濯	洗濯法 一、用劑用法	六 吸入、薬用	病氣と薬用 一、内用
八 漂白と汚點拔	漂白法 一、染料 一、方法	七 吸入、薬用	吸入 一、薬法
九 色張物と湯伸	染色法 一、染料 一、方法	八 緇帶用法	緇帶 一、用法
一〇 整理と保存	整理 一、保存	九 創傷、急症	創傷 一、急症
一一 整理と保存	整理 一、保存	一〇 救急用品	救急用品 一、急症
一二 整理と保存	整理 一、保存	一一 看護者の心得	看護者の心得
一三 整理と保存	整理 一、保存	一二 病者の慰安	病者の慰安
一四 整理と保存	整理 一、保存	一三 種類 一、症状 一、手當	種類 一、症状 一、手當
一四 衣服の經濟	衣服の經濟 一、衣	一四 豫防法 一、消毒法	豫防法 一、消毒法
一三 寝具	寝具の心得 一、寝具の手入	一五 農家と衛生	農家と衛生
一二 衣服	衣服の心得 一、衣服の手入	一六 衛生と保健	衛生と保健
一一 整理と保存	整理 一、保存		
一〇 整理と保存	整理 一、保存		
九 整理と保存	整理 一、保存		
八 整理と保存	整理 一、保存		
七 整理と保存	整理 一、保存		
六 整理と保存	整理 一、保存		
五 整理と保存	整理 一、保存		
四 整理と保存	整理 一、保存		
三 整理と保存	整理 一、保存		
二 整理と保存	整理 一、保存		
一 整理と保存	整理 一、保存		

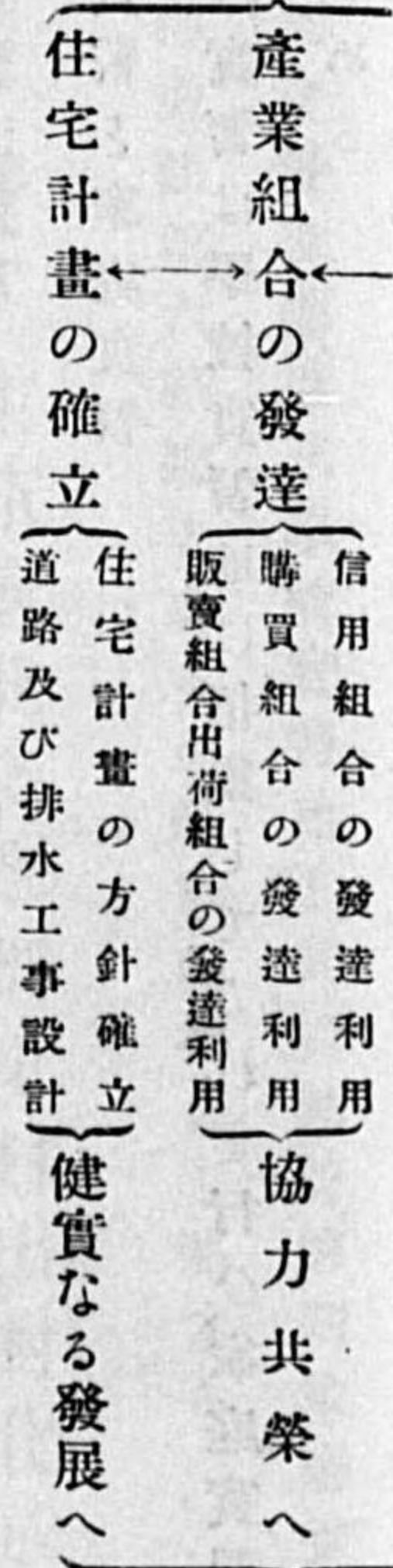
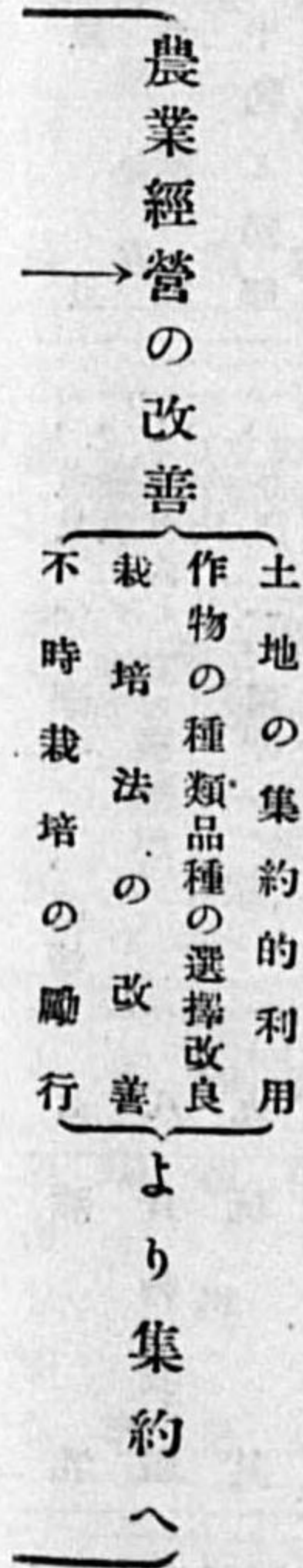
課	題目	要	項
五	家 具	一、種類	一、購入
六	臺 所、井 戸	一、設備	一、井戸
七	納 厩、肥料 舎	一、肥料 舎	
八	修 理 保 存	一、家屋 保存	
九	宅 地	一、宅地 整理	
一〇	農 家 住 宅	一、農家 の住宅 改善	

課	題目	要	項
五	生 計 費	一、生計 費	一、費目
六	節 約 と 利 用	一、節約	一、利用
七	物 品 の 購 入	一、物品 の種類	一、購入 法
八	收 入 と 支 出	一、收入 と支出	
九	豫 算 と 決 算	一、豫算 と決算	
一〇	家 計 簿 記	一、帳簿 の種類	一、記載 法
一一	貯 蓄 と 財 産	一、貯蓄 と財産	
一二	農 家 の 生 計	一、農家 の生活 の改善	
一三	農 家 の 主 婦	一、農家	一、農家 の主婦

三 農業科實習指導の實際

第一 緒 論

1. 松澤村産業是



2. 農業實習方針

- 一、學理を實地に應用して農業を有利に經營せしむること。
- 二、技術を練磨して生産能率の増進を圖らしむること。
- 三、農業に關する趣味農村生活に對する信念を養ひ、その研究心を旺盛ならしむること。
- 四、農業を通じて公民的教養の實を擧ぐることに。

3. 實習教材選擇の標準

- 一、農業科教授と連絡を保ち、産業是實習方針に基き選定すること。
- 二、重要にして代表的のものなること。
- 三、現在の産業状態に鑑み、改善の急を要すべきもの。
- 四、趣味多く收益大なるもの。

五、作業困難にして特別なる指導を要するもの。
 六、多数の協力又は相互研究を必要とし、若くは便とするもの。
 七、現在栽培され居らずとするも、將來有望にして之が普及を圖るべきもの。

4. 實習の種類

一、栽培實習(作物、蔬菜、花卉) 露地フレイム栽培
 播種 苗の育成 移植 施肥 病蟲害豫防驅除 其の他管理 收穫 調製
 荷造り。

二、農産製造實習 漬物其の他。

三、農業手工實習 簡易農具製作 農具修理 垣根作り コンタリット打方等。

四、土地改良實習 堤防築き 芝植付 地均し 排水工事 簡易なる測量製圖等。

五、堆肥製造實習。

5. 學校實習と家庭實習

學校實習は學校實習地に招集してこれを行ひ、家庭實習は各家庭に於いて行はしめる。

尙第二實習設備、第三學校實習地と其の經營、第四家庭實習地と其の經營、第五實習指導の方法、第六結論とあるが、紙數の都合で略する。

第二 東京府北多摩郡東村山村化成農業公民學校

本校は、東京市より電車の便ある稍、遠い郊外とも認めらるる東村山村にあつて、東村山の池と共に名が高く、明治四十三年十月の創立で、學校は大正十一年に、校長は大正十三年に文部大臣より表彰されて居り、衆議院議員の團體視察、最近には東久邇宮殿下の御視察を賜つた榮譽の學校である。

修業年限は前期二年、後期三年、研究科二年で、其の生徒數は男子三百十一名、女子百十三名、専任教員四名あるが、其の施設の一端である就學出席に關する施設と、地方に及ぼせる實績とを示さう。

一 就學出席に關する施設

甲、町村の就學出席督勵方法

本校設置以來、青年會は規約を設けて二十歳未滿の者は義務的に就學することとし、尙町村理事者、在郷軍人分會役員等の盡力により、其の就學出席は比較的良好

である。

三六〇

(一)大正七年以來特に補習教育學齡簿を作製し、其の不就學の者に對しては、其の事由を調査してこれに記入することとし、町村は之を通知すること。

(二)町村長は同時に公民學校に入學すべきことを督勵すること。

(三)學務委員は部内青年の補習教育を受くべきものの就學、又は缺席し居るものを督促す。

(四)本村教育會に於ても、之が督勵をなす。

(五)本村兵事係は、村内青年にして二十歳の徴兵適齡に達したるものを調査し、其の就學を特に督勵し居れり。

乙、學校の就學出席督勵の方法

(一)授業開始の期日を村内各所に掲示すること。

(二)町村學事係より受けたる人名と青年會に於て調査したる人名とにより、實業補習教育を受くべき者等を調査し、各個に通知書を發して督勵すること。

(三)不就學者並に一週間以上引續き缺席し居るものは、之を督勵すると同時に學務委員、青年會、同窓會役員に通知して其の督勵を促すこと。

(四)尙引續き缺席し居る者に對しては、學校より直に其の家庭を訪問して出席を促がすこと。

(五)毎月の出席歩合を各字別に表示して、互に競争的に就學出席を獎勵すること。

(六)精勤者には精勤證書並に賞牌を授與すること。

丙、東村山村青年會に於ての督勵方法

(一)東村山村青年會は規約中に「會員にして二十歳未満の者は補習教育を受くべき義務あるものとす」と定めて、之を勵行して居る。

(二)東村山村青年會は毎年補習學校開始期前に二十歳未満の會員を調査し、其の氏名職業等を學校長に通知すること。

(三)補習學校の開始期前に役員會を召集し、各部内の會員にして補習教育を受くべき義務あるものの家庭につき其の就學出席を督勵して居る。

(四)學校配付の出席歩合表を廻覽又は掲示して其の出席を督勵して居る。

丁、其の他實業家備主等をして補習教育の必要と効果とを知らしめ、被雇人の丁年未満の者を補習學校に入學せしむるの方法を講じ、且つ被雇人に對しては一層の懇切を以て教授しつつあるを以て、次第に其の數を増加し、被雇人にして入學

を希望するもの甚だ多きを加ふるに至つた。就中大正八年以來被雇人又は勞働者は何れも其の雇傭主との契約中に補習學校に入學の許否を條件とするに至つた。

尙學校よりは通學上の便を計るため勤勉提灯を貸與してゐる。かかる狀況なので、近來其の就學の歩合は頗る良好となり、日雇、出稼或は他家へ雇れ居るもの一部を残すのみとなつた。

生徒數及び就學歩合

要項	昭和二年度		大正十五年度		大正十四年度		大正十三年度		大正十二年度	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
生徒數	122	123	101	98	112	73	112	73	113	73
就學歩合	93.5	93.5	93.6	93.6	96.7	96.7	96.7	96.7	96.7	96.7
出席歩合	1	1	93.6	93.3	93.0	93.3	93.7	93.0	93.0	93.0

二 地方教化及び産業改善に及ぼせる實績

本校の開催以來町村當事者學校職員共力協心其の隆昌發展を圖り、通學生徒の

數は漸次増加を見るに従ひ、就學せざるもの次第に其の數を減じた。

時に本校は青年會と協力して地方風紀の改善に努めたれば、其の効果は現今に至りて大いに現はるるに至つた。就中大正の初年以來村内に東京市大貯水池の設けらるる時、其の工事に従事する土工其他非常に入り込み、多きときは二千餘人に達したるを以て、風紀のみだれん事を慮り、自治警察的に警戒したる結果、惡思想惡傾向の侵入少なかりしを得た。

而して其の産業上に及せる影響にして著しく顯はれたものは、製茶業の改善で、明治四十五年以來農商務省農事試験場技師田邊貢氏を聘して毎年二回宛講習を續けたため、品質は一層改善せられ、古來の狭山茶の名聲を挽回して、價格の如きも在來製のものよりも二倍三倍の貴きものとなつた。

大正六年十一月には、東京府特産品共進會に出品して一、二等金銀牌を授與せられ、其の他各地の品評會、共進會、博覽會等に出品して、金、銀、銅牌等を受くるもの十數回に及び、大正九年には全國茶業組合品評會に出品して、二等賞を得、大正十一年東京府平和記念博覽會に於て二等賞を得た。

尙本村は農村なるにもかかはらず、蔬菜の栽培少く、蔬菜類は東京より逆輸入す

るの奇觀を呈し居たので、補習學校に於ては蔬菜栽培の必要なことを唱導し、大正元年十二月以來、毎年十二月一日より三日間に涉り蔬菜品評會を開催し、之が獎勵をなしたる爲め、現在にありては村内の需要を充すばかりでなく、各地に輸出するの盛況を見るに至つた。尙近時速成栽培法の氣運を促進してゐる。

又養蠶業は主要産額の第一位を占むるが故に、之が改良に盡力し、養蠶組合の設立を見るに及び、年と共に其の成績の顯はるに至つたので、其の收益も亦大いに増進した。其の他甘藷の増收法を講じ、年々摘心法其の他赤澤式等の講習を開いて、苗床の改良を計つたので、往々、段千貫以上の收穫あるものあるやうに至つた。尙麥の多收穫獎勵等、着々其の效果の顯著ならんとするの傾向を示してゐる。

第三 宮城縣登米郡米川公民學校

本校は、昭和三年二月十一日文部省より表彰された學校の一つで、通年部高卒入學二年程度のもので、前期後期高等科、研究科とある季節的教授のものとなつて青年訓練所と一致せしめてゐる。當校所在村は山間で相當に大村であるが、生徒男子百五十一名、女子九十名合計二百四十一名あり、就學歩合九七・六、出席歩合九五・五の優

良な成績を示してゐるので、其の就學出席の督勵方法と、本校と他團體等との連絡及び其の地方に及ぼしたる効果を同校一覽より抄録して示すことにする。

就學出席の狀況

(一) 就學督勵の方法

イ、小學校六學年に於ける豫備教育 尋常科六年以上の兒童に對し、毎年第三學期に於て青年團女子青年團公民學校青年團訓練所の性質組織等必要な事項を説明し置き、卒業後此等の團體學校に入學すべき義務あることを悟らしむ。

ロ、小學校終學年の父兄會に於ける周知 尋常科六年以上の父兄會に於て前項の周知をなすものとす。

ハ、入學願書の提出 小學校卒業と同時に公民學校入學願書用紙を配布し、其の月末迄に提出せしむ。

ニ、村當局より通達 村當局より入學すべきものの保護者に就學義務の通知を發するものとす。

ホ、學校當局より青年團幹部に依頼 毎年三月末日青年團幹部に入學義務者

氏名を報告し督促を計りつつあり。

へ、補習教育必要の宣傳 部落講話、成績展覽會、通俗講演會、教育會、父兄會等に於て宣傳をなして、其の必要なる理由を一般に周知せしむ。

ト、民謡宣傳會 補習教育振興に適切なる民謡を作歌し、之を青年處女に知らしめ、宣傳の一助となす。

チ、學務委員の家庭訪問 學務委員は毎年三月に入學義務あるものの家庭を訪問し、父兄と懇談裡に就學を督促し居れり。

(二) 出席督促の方法

イ、前各項により就學出席を督促す。

ロ、出席状況の發表 毎學期(外)に夜間教授のみを纏めて(出缺状況を保護者に發表するものとす。

ハ、職員の家門訪問 隨時巡回を兼ね家庭を訪問して出席を促がす。

ニ、出席督促狀發送 三日間以上缺席せる生徒は督促狀を發送して出席を促がす。

ホ、通學團組織 通學區内を二十餘の通學團に組織し、生徒相互に出席を促が

さしむ。

へ、提灯の携帯 各通學團に提灯を有せしめ、通學團長之を所持し團長中心に通學せしむ。

ト、表彰 個人又は團體として賞狀を授與す。

特に夜間出席督促の一助として、個人には種々考案せる手拭、團體には考案せる提灯を授與す。

チ、村内に公表 年度末に皆勤者氏名及び通學團の出席歩合を村内掲示板に公表並に村内各種團體長、村會議員、區長、有志等に公表す。

學校と營業者及び各種團體との連絡關係

(一) 家庭との連絡關係

イ、巡回指導其の他に於て家庭を訪問懇談す。

ロ、學校に於て生産せる種苗を配布す。

ハ、補習教育及び産業上の印刷物を配布す。

ニ、出席勤惰表を告知す。

ホ、部落に於ける生徒青年の會合に父兄を招待す。

へ、學藝會、運動會、其他會合に父兄を招待す。

ト、年一回村内補習教育研究會を開き、生徒の保護者を招待す。

(二) 青年訓練所青年團女子青年團との連絡關係

イ、第一部後期生以外は男女青年團員なり。

ロ、職員は男女青年團の顧問又は役員とす。

ハ、各種の催しは男女青年團青年訓練所と連絡開催す。

ニ、男子部生徒の大部分は青年訓練所の生徒なり。

(三) 軍人分會との連絡關係

イ、教練擔任の職員は軍人分會員なり。

ロ、教練實施度毎に分會員交互に出席援助するものとす。

ハ、軍事上の講話は學校と聯合開催す。

(四) 農會との連絡關係

イ、實業教員二名は村農會の技手を兼務す。

ロ、農會にて獎勵の事項は生徒をして卒先實行せしむ。

ハ、學校にて印刷せる産業的のものは農會及び農會總代に配布す。

(五) 地方との連絡關係

イ、學校主催の各種の催しは村民に周知す。

ロ、各部落實習地に世話係を置く。

ハ、専任教員巡回接觸す。

ニ、印刷物種苗等を配布す。

ホ、各區に農事協議會農談會を開催懇談す。

へ、各區の揭示場に公民的職業的資料を掲げて民衆の便に供す。

ト、農産物品評會、教育品展覽會の縦覧を圖る。

チ、生徒を引卒業農家の耕作地を見學説明を聴取す。

リ、農事機關雜誌「郷土」を配布す。

ヌ、學校主催にて麥作桑園の立毛品評會を繼續事業として實施す。

實業補習教育の効果(地方教化並に地方産業に及ぼしたる実績等)

(一) 教育的方面(德育方面)

- イ、児童生徒青年男女に農業の趣味と勤勞心とを多分に増長せしめたり。
 ロ、青年男女の氣風漸次緊張し、額に汗して働くものに多きを加へつつあり。
 ハ、青年に卑猥なる俗謠全く絶え、夜間猥りに外出するものなく、風紀一變し他町村青年の羨望する所となれり。
 ニ、職業的に自覺し、自己の天職に喜んで従事するもの多きに至れり。
 ホ、讀書修養の念高まり、特に農産業の書籍を好愛し、思想堅實を加へるに至れり。
 ヘ、青年は農業を愛好し、農村に安住するもの多く、他出するものほとんどなきに至れり。
 ト、青年男女は勿論、一般村民は補習教育の効果の大なるを知り、學校を村の最高學府とし尊重するに至れり。
 チ、小學校教育と家庭との連絡交渉に當り、一般村民の思想を善導し、村民は「教育第一」の念を高潮するに至れり、従つて學校の批難を云ふものなく、舉村一

致して教育の援助をなし、児童生徒の成績漸次良好になりつつあり。

リ、毎年壯丁検査に於ける青年の學科成績は勿論、態度氣風は優秀なるに至れり。

(二) 産業方面(技術方面)

イ、農産業に精勵し、優良種苗を生産又は購入して栽培するもの多くなりたり。

ロ、特に經濟的に地方産業に及ぼしたる効果は左の如し。

- 優良品種の普及統一
- 結球白菜、茄子、馬鈴薯、葱等の自給自足
- 麥作の増收、苗木の自給自足
- 綠肥栽培の普及、桑葉の増收
- 稻作の増收

ハ、畜力機械の利用漸次多く、能率増進に意を用ふるもの日に多きを加ふるに至れり。

ニ、養豚、養鶏、養兔盛んに向ひ、一面堆肥原料に資し、其の精製に意を用ふるに至れり。

ホ、一般作物の栽培は、時期を勵行し成績漸次良好に赴きつつあり。
 ヘ、養蠶の飼育は漸次埋薪法より條桑育をなすに至れり。

ト、農家經營法は合理的に赴き收支計算等をなすに至れり。

チ、職業に對する知識慾旺盛になり、他村他郷に視察見學し採長補短するもの漸次多きに至れり。

以上教育的產業的に地方を教化しつつあるを以て村民は學校を感謝す、經費の如きも小學校に比し頗る多く近き將來は獨立の學校たらしめ眞に學校を農村教育教化の源泉たらしめんと希望するもの漸次多きに至れり。

第四 山形縣東村山郡豊田農業補習學校

本校は、明治二十七年に、各字毎に開始せる夜學會に始まり、同三十年岡、柳澤の二私立實業補習學校、同四十二年に金澤私立實業補習學校の設置を見、三校共小學校卒業後適齡までの青年全部を收容し、稻試験地を設けて共同實習をなし、只管補習教育の發展をはかりしも、設備其の他の不完備のため、其の成績は舉らない。かくて大正三年に全村統一の豊田村青年會の設立を見たので、大正五年に至り比較的通

學に便なる柳澤、土橋、岡の三部落の設立にかかる私立豊田村聯合實業補習學校が生れ、この學校の成績如何は、全村補習教育に影響するところ大なので、村當局並に學校關係者は大に苦心し、就中生徒の出席獎勵には幾多の方法を講じたのであつた、且つ郡の獎勵もあつたので、青年團幹事は奮起して全村立の補習學校設置の事に全力を注ぎて生徒督勵に任すべきを協議するに至り、機が熟したので、村當局、學校關係者、學務委員等、之が設立の實行に努めたので、金四百圓を計上し、村會の決議を経て大正六年四月二十七日知事の認可を得て設立されるやうになつた。

本校は初め各部落に於ける私立學校として初まり、青年及び有志の力によつて統一して生れたので、青年團幹部及び有志は生徒の就學出席に骨折つてゐるので、大正六年の開校以來青年男子は壯丁に達するまで皆就學、殆んど皆出席の成績を示し、大正十一年十一月二十八日、文部大臣より選奨され、大正十四年に晝間部を設け、同十五年より女子部を設け、現在男子夜間部初等科一、二年二三名、高等科一、二、三年七十五名、研究科一、二年四十七名、計百四十二名、晝間部本科一、二年四十五名、研究科一年十一名、計五十六名と、女子部初等科一、二年十三名、高等科一、二、三年六十七名、計九十名、合計二百八十八名の生徒あり、經常費三千二百六十二圓を支出し、教授期間

第一學期 自四月一日 至十一月十五日	男子部	每週夜間二時間 (夜間部は水曜、晝間部生は火曜日とす)	四月十六日間毎日六時間
第二學期 自十一月十六日 至三月卅一日	女子部	晝間部 每週六夜十二時間 夜間部 每週六日十八時間	十二月より三月までに 八十八日間毎日六時間

但し男子研究科は、第三學期は每週三夜とす。

と定め、男子夜間部百十日二百二十時、晝間部百十八日三百五十四時、研究科八十三日百六十六時、女子本科は百四日六百二十四時教授してゐる。

毎日毎夜の始業時には、始業の會合をなし、陛下の彌榮を稱へ、神宮を遙拜し、簡単な談話報告、十分間體操をなし、元氣よく教室に入りて授業するやうにしてゐる。其の他教授訓練上の施設及び實習上の施設は、他の優良な學校と大した變つたことはないが、擊劍柔道即ち武道を正課として課し、練習は每週二回定期に開會して心身を鍛鍊し、尙寒稽古、土用稽古等を一週間位催し、又年一回武道大會を開き、近郷の青年團選手と共に斯道名士の指導を受けてゐる爲、相當に腕の出來てゐるものがある。勿

論武道を課してゐる學校は外にも多いが、本校でも面白く見たのであつた。依りて教授訓練實習等に關することは、特に紹介することをやめて、就學出席の督勵と青年訓練との關係を紹介するに止めおく。

一、出席督勵法

本校生徒の出席は常に優良の成績を示す。これ一に青年會後援の然らしむる處なり。其の方法を次に示さん。

(一) 機關

1. 青年會長
2. 青年副會長
3. 幹事長
4. 組長(各大字の幹事より大字毎に一名を置く合計六名)
5. 評議員(大字の大小により二名乃至四、五名を置く)
6. 出席督勵委員(大字の大小により四、五名を置く二十五人長)
7. 班長(五人長)

(二) 方法

1. 授業日の合圖 第一學期授業日の合圖は、各方面の役員順番に喇叭又は法螺貝を鳴す。
2. 學校出勤 授業日には組長評議員出席督勵委員及び督促等、輪番に二名宛出勤し、各部落の出席状況を見、學團日誌を檢閲し、出席及び缺席を出勤簿に

記載し、缺席者あれば歸宅後班長若しくは自ら家庭を訪問す。

3. 通學團 生徒の最寄のもの五、六名を以て通學團を組織せしめ、一名を團長に任じ、提灯を配布し、學校にては通學團日誌に記載せしむ。

4. 茶話會 青年團幹部と學校側との會合及び生徒側と青年團幹部との會合。

5. 父兄懇談會 教員と父兄との出席督勵に關する會。

6. 賞與 イ、學校賞一學年以上の皆出席者に賞狀賞品を授與す。ロ、青年團賞、副賞として出席優良なる通學團に等級を附し賞與す。ハ、字賞、大字賞として多少賞金を投じ、生徒の出席の優良なるものを賞す。

二、山形縣東村山郡豐田農業補習學校と青年訓練との關係

本補習學校は、大正六年より青年會の義務として青年會員の學齡にある者全部を收容し、其の修業年限の如きも初等科二年、高等科三年、更に研究科二年を置き、合計七年とす。

而して各科の教授時數を訓練所の分類により表示せば左の如し。

初等科	夜	間	部	晝	間	部
	高等科					

修身及び公民	三	一四	六	六	六	六
普通科	二〇	三〇	六	四	八	八
職業科	四	一三	一三	六	三	三
體操	六	六	一	六	三	三
武						
道						

之れによつて見れば、教練を除き各科は青年訓練所の要求する時數は、大多數入所期即ち高等科二年一月より計算するも十分なり。故に青年訓練所と補習學校との目的並に生徒各家庭の事情を考慮し、教練科以外の學科は、一面に於て補習學校と見なし、又一面に於ては青年訓練所の授業と見なし、以て兩者の目的を達せんとしつつあり。

而して補習學校の職員は、指導員を兼務しつつあり。

第五 茨城縣那珂郡大賀農業公民學校

本校は明治四十一年の創立で、大正十三年より晝間部と季節教授部の二部を設けて、青年子女の教育の徹底に努め、其の成績優良なるにより、大正十五年に茨城縣より、昭和三年の紀元節に文部省より表彰せられた學校である。左に本校教育の効